

工 事 名		令和8年度 穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事						設計書			
施 工 箇 所		安曇野市 穂高会館		金抜き設計書							
設 計 概 要				施 工 方 法		請 負					
【工事概要】 ○穂高会館の非常用電源・消防設備更新等工事 ・消防設備更新工事 (スプリンクラー用ポンプ、消火栓用ポンプ、圧力タンク等) ・上記に伴う非常用電源設備更新工事 ・蓄電池設備更新工事等				施 工 期 間		日 間					
				契 約 予 定 年 月 日		令 和		年		月 日	
				竣 工 予 定 年 月 日		令 和		9 年		3 月 25 日	
				契 約 保 証 方 法		金 銭 的 保 証					
				・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。							

番号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	A 共通仮設費						
	i 率仮設						
	準備費	┘					
	仮設物費						
	電力用水光熱費						
	工事施設費						
	環境安全費	└───	式	1.0			
	機械器具費						
	屋外整理清掃費						
	その他 試験調査費等	┘					
	ガードフェンス	90日	m	39.0			
	ガードフェンス運搬		式	1.0			
	キャスターゲート	W3000*H1800 片開き 3ヶ月	箇所	1.0			
	仮設鉄板敷	設置期間 3か月	m ²	162.0			
	仮設敷鉄板運搬		m ² 往復	162.0			
	小 計						
	A - 計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
I-2	非常用電源設備工事						
	防災設備用ディーゼル発電装置	260kVA寒冷地仕様超低騒音	式	1.0			
	運送及び据付工事	アンカー施工	式	1.0			
	試運転・消防検査立会・取扱説明	燃料満タン含む	式	1.0			
	自家発電設備搬入	260kVA	式	1.0			
	ネットフェンス設置	6500*2 + 4000 + 1000 H1800	m	18.0			
	縁石設置	L6500	m	6.5			
	発電機基礎打設	3500 X 1600X GL+200, GL-600					
	根切	機械	m3	11.7			
	埋戻し	機械	m3	7.2			
	残土処分	場内敷きならし	m3	4.5			
	砕石地業	土間下 再生材	m3	1.8			
	捨テコンクリート	18-N-15	m3	0.3			
	土間コンクリート	24-N-18	m3	4.5			
	人力打設	特殊作業員 歩掛り	m3	4.8			
		器材費	式	1.0			
		その他 25%	式	1.0			
	型枠	普通型枠	m2	8.2			
	型枠運搬費		m2	8.2			
	鉄筋 D10	加工組立て共 材工 90.50m	kg	50.7			
	鉄筋 D13	加工組立て共 材工 19.60m	kg	19.5			
	コンクリート同時コテ押え		m2	8.7			
	面木	標準20mm程度	m	10.2			
	機械運搬費		往復	1.0			
	合 計						

番号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
I-4	幹線・動力設備工事						
	電線管	E19露出塗装	m	8.0			
	電線管	E 25露出塗装	m	17.0			
	電線管	G 70露出塗装	m	8.0			
	電線管	PF16隠ぺい	m	11.0			
	金属可とう電線管	F2 #17	m	4.0			
	金属可とう電線管	F2 #24	m	8.0			
	金属可とう電線管	F2 #76	m	4.0			
	電線管	FEP 30 地中	m	21.0			
	電線管	FEP 50 地中	m	21.0			
	電線管	FEP100 地中	m	42.0			
	金属ダクト	上部水切り勾配 L型 D550 AS500 X 200-Z35 支持ブラケット共	式	1.0			
	ケーブルラック	ZM-500B 直線	m	5.0			
	ケーブルラック	ZM-500B 垂直ベンドラック	本	1.0			
	電線	EM-IE 2sq 管内	m	13.0			
	電線	EM-IE 2sq ビット	m	7.0			
	電線	EM-IE 2sq ダクト・盤内	m	8.0			
	電線	EM-IE 22sq 管内	m	13.0			
	電線	EM-IE 22sq ビット	m	9.0			
	電線	EM-IE 22sq ダクト・盤内	m	8.0			
	電線	EM-IE 60sq FEP内	m	21.0			
	電線	EM-IE 60sq ビット	m	4.0			
	電線	EM-IE 60sq ダクト・盤内	m	6.0			
	電線	EM-IE 60sqラック	m	5.0			
	電線	再取付 IV 22sq相当	m	4.0			

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	ケーブル	EM-CE 3.5sq-2C FEP内	m	21.0			
	ケーブル	EM-CE 3.5sq-2C ビット	m	4.0			
	ケーブル	EM-CE 3.5sq-2C ダクト・盤内	m	8.0			
	ケーブル	EM-CE 3.5sq-2C ラック	m	5.0			
	ケーブル	EM-FP-C 2sq-3C 管内	m	13.0			
	ケーブル	EM-FP-C 2sq-3C ビット	m	7.0			
	ケーブル	EM-FP-C 2sq-3C ダクト・盤内	m	8.0			
	ケーブル	EM-FP-C 5.5sq-2C FEP内	m	42.0			
	ケーブル	EM-FP-C 5.5sq-2C ビット	m	9.0			
	ケーブル	EM-FP-C 5.5sq-2C ダクト・盤内	m	14.0			
	ケーブル	EM-FP-C 5.5sq-2C ラック	m	10.0			
	ケーブル	EM-FP-C 14sq-3C ビット	m	5.0			
	ケーブル	EM-FP-C 14sq-3C 盤内	m	3.0			
	ケーブル	EM-FP-CT 100sq 管内	m	13.0			
	ケーブル	EM-FP-CT 100sq ビット	m	9.0			
	ケーブル	EM-FP-CT 100sq ダクト・盤内	m	11.0			
	ケーブル	EM-FP-CT 200sq FEP内	m	42.0			
	ケーブル	EM-FP-CT 200sq ビット	m	8.0			
	ケーブル	EM-FP-CT 200sq ダクト・盤内	m	16.0			
	ケーブル	EM-FP-CT 200sq ラック	m	10.0			
	ケーブル	EM-CEE 2sq-6C 管内	m	14.0			
	ケーブル	EM-CEE 2sq-6C ダクト・盤内	m	10.0			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-5P FEP内	m	21.0			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-5P ビット	m	4.0			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-5P ダクト・盤内	m	5.0			
	ケーブル	EM-FCPEE 0.9-5P ラック	m	5.0			
	ケーブル	EM-HP 1.2-2C PF	m	10.0			
	ケーブル	EM-HP 1.2-2C 盤内	m	1.0			
	ケーブル	再取付 FP 22sq-2C	m	4.0			

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	新金属プレート	5連	枚	5.0			
	端子台	10P	個	2.0			
	ブランクプレート	SUS 0.06m2程度	枚	3.0			
	電動機等結線作業	1.5kW	台	2.0			
	電動機等結線作業	45kW	台	2.0			
	壁面開口	e38壁厚300程度鉄筋探査共	箇所	1.0			
	壁面開口	e63壁厚300程度鉄筋探査共	箇所	1.0			
	壁面開口	175X125壁厚300程度 鉄筋探査共	箇所	1.0			
	配線ビット蓋配線孔加工	縞鋼板0.1m2以下	箇所	2.0			
	壁面開口塞ぎ	e 80程度壁厚250程度	箇所	1.0			
	壁面開口塞ぎ	e 80程度壁厚350程度	箇所	1.0			
	壁面開口塞ぎ	e120程度壁厚250程度	箇所	1.0			
	壁面開口塞ぎ	e120程度壁厚350程度	箇所	1.0			
	埋設標識シート	W150 (電力・通信)	m	34.0			
	埋設表	金属製	個	3.0			
	根切り	BHO. 13m3	m3	21.4			
	埋戻し	BHO. 13m3	m3	21.4			
	土工機械運搬	BHO. 13m3	往復	2.0			
	パーキングブロック	再取付	個	2.0			
	アスファルト補修	車道部 密粒度AC A-5-15 再生	m2	18.2			
	駐車区画線補修	4区画分 5m*5=20m	m	20.0			
	壁面タイル補修	700X2800 227*60 接着貼り	m ²	2.0			
	水切り(枠)設置	3方 L6300	m	6.3			
	配管根巻きコンクリート	300X600XGL+200	カ所	1.0			
	合 計						

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
I-5	電灯設備工事						
	電線管	E19露出塗装	m	11.0			
	ボックス	E19露出丸ボックス1方出塗装	個	1.0			
	ボックス	E19露出スイッチボックス1個用1方出塗装	個	1.0			
	プルボックス	SS150X 150X 150 ㌦丁付 塗装	面	1.0			
	電線	EM-IE 2.0 管内	m	33.0			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C 天井ビット	m	45.0			
	ケーブル	EM-EEF 2.0-3C 盤内	m	3.0			
	配線用遮断器	電灯分電盤[L-1]改修材 MCCB2P50AF20AT	台	1.0			
	電線	電灯分電盤[L-1]改修材 EM-IE 2.0 盤内	m	1.0			
	ケーブル	電灯分電盤[L-1]改修材 EM-EEF 2.0-2C 盤内	m	2.0			
	配線用遮断器	[電灯分電盤L-3]改修材 MCCB2P50AF20AT	台	2.0			
	電線	[電灯分電盤L-3]改修材 EM-IE 2.0	m	2.0			
	ケーブル	[電灯分電盤L-3]改修材 EM-EEF 2.0-2C	m	9.0			
	ケーブル	[電灯分電盤L-3]改修作業 VVF 2.0-2C移設(撤去・再取付)	m	5.0			
	盤内蓋開口	[電灯分電盤L-3]改修作業 プレーカー2台増設部分0.1m2以下	式	1.0			
	負荷調査・回路表示作業	[電灯分電盤L-3]負荷	人	3.0			
	埋込スイッチ	1P4ALX1(金属 P)	個	1.0			
	壁面開口	φ25壁厚250程度鉄筋探査共	箇所	2.0			
	合 計						

番号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
I-7	撤去・発生材処分						
I-7-1	自家発電設備撤去						
	パーキングブロック撤去	再利用する	個	2.0			
	自家発電設備撤去	再利用しない 200kVA 電工	台	1.0			
	// 撤去	再利用しない 200kVA普通作業員	台	1.0			
	自家発電設備搬出	200kVA	式	1.0			
	カッター入れ	カッター切断: 人力 集積共	m	31.5			
	アスファルト撤去	再利用しない	m ³	3.6			
	ネットフェンス撤去	再利用しない 5810X2+4000+1000XH1800フェンス基礎共	m	16.6			
	縁石撤去	再利用しない L 約 5000	m ³	0.1			
	発電機基礎撤去	再利用しない 3220X 1370XGL+200,想定GL-600	m ³	3.5			
	壁面タイル撤去	再利用しない 700X2800XD100 ~150	m ²	2.0			
	水切り撤去	再利用しない L700	式	0.7			
	小計						
I-7-2	幹線・動力設備撤去						
	電線	再利用する IV 22sq相当	m	4.0			
	ケーブル	再利用する FP 22sq-2C	m	4.0			
	電線管	再利用しない E 19	m	3.0			
	電線管	再利用しない E 75	m	12.0			
	電線管	再利用しない G 104	m	8.0			
	電線管	再利用しない PE 28	m	13.0			
	電線管	再利用しない PE 54	m	13.0			
	電線管	再利用しない PE 104	m	13.0			
	金属可とう電線管	再利用しない F1 #17	m	5.0			
	金属可とう電線管	再利用しない F1 #63	m	4.0			
	金属可とう電線管	再利用しない F1 #76	m	6.0			
	金属可とう電線管	再利用しない F1 #101	m	2.0			

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	電線管	再利用しない FEP 30	m	5.0			
	電線管	再利用しない FEP 50	m	5.0			
	電線管	再利用しない FEP 100	m	5.0			
	電線	再利用しない IV 2sq 管内	m	30.0			
	電線	再利用しない IV 2sq ダクト・盤内	m	24.0			
	電線	再利用しない IV 38sq 管内	m	12.0			
	電線	再利用しない IV 38sq ダクト・盤内	m	14.0			
	電線	再利用しない IV 60sq 管内	m	23.0			
	電線	再利用しない IV 60sq FEP	m	5.0			
	電線	再利用しない IV 60sq ピット	m	5.0			
	電線	再利用しない IV 60sq 盤内	m	1.0			
	ケーブル	再利用しない CV 2sq-2C 管内	m	10.0			
	ケーブル	再利用しない CV 2sq-2C ピット	m	4.0			
	ケーブル	再利用しない CV 2sq-2C 盤内	m	3.0			
	ケーブル	再利用しない CV 3.5sq-2C 管内	m	23.0			
	ケーブル	再利用しない CV 3.5sq-2C FEP	m	5.0			
	ケーブル	再利用しない CV 3.5sq-2C ピット	m	5.0			
	ケーブル	再利用しない CV 3.5sq-2C 盤内	m	3.0			
	ケーブル	再利用しない CV 8sq-3C ピット	m	6.0			
	ケーブル	再利用しない CV 8sq-3C 盤内	m	4.0			
	ケーブル	再利用しない FP 2sq-2C ピット	m	4.0			
	ケーブル	再利用しない FP 2sq-2C 盤内	m	2.0			
	ケーブル	再利用しない FP 22sq-3C 管内	m	16.0			
	ケーブル	再利用しない FP 22sq-3C ピット	m	12.0			
	ケーブル	再利用しない FP 150sq-ICX3 管内	m	10.0			
	ケーブル	再利用しない FP 150sq-ICX3 ピット	m	7.0			

番号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	ケーブル	再利用しない FP 150sq-ICX3タぐクト盤内	m	23.0			
	ケーブル	再利用しない FP-C 2sq-2C 管内	m	23.0			
	ケーブル	再利用しない FP-C 2sq-2C FEP	m	10.0			
	ケーブル	再利用しない FP-C 2sq-2C 盤内	m	1.0			
	ケーブル	再利用しない FP-C 250sq-ICX3 管内	m	23.0			
	ケーブル	再利用しない FP-C 250sq-ICX3 FEP	m	5.0			
	ケーブル	再利用しない FP-C 250sq-ICX3 ビット	m	5.0			
	ケーブル	再利用しない FP-C 250sq-ICX3 盤内	m	3.0			
	ケーブル	再利用しない FCPEV 0.9-5P 管内	m	23.0			
	ケーブル	再利用しない FCPEV 0.9-5P FEP	m	5.0			
	ケーブル	再利用しない FCPEV 0.9-5P 盤内	m	1.0			
	ケーブル	再利用しない 通信ケーブル0.9-5Pビット	m	5.0			
	ケーブル	再利用しない 通信ケーブル0.9-5P盤内	m	2.0			
	スプリンクラーポンプ制御盤	再利用しない 45kW制御盤内器、不要配線	式	1.0			
	消火栓ポンプ制御盤	再利用しない 45kW制御盤内器、不要配線	式	1.0			
	排煙ファン制御盤	再利用しない 0.1kW制御盤内器、不要配線	式	1.0			
	制御盤銘板	再利用しない アクリル板 200 X 50程度	式	1.0			
	制御盤電源表示灯	再利用しない 配線共	個	3.0			
	制御盤前面プレート	再利用しない 機器、配線共	組	3.0			
		プレート、AMX1、SLX3 (G、R、0) BSX2、COS XI					
	制御盤前面プレート	再利用しない 機器、配線共	組	2.0			
		プレート、SLX2 (W)					
	電動機等離線作業	45kW	台	2.0			
	小計						

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
I-7-5	発生材処分建設廃棄物処理						
	廃プラスチック類		t	0.01			
	安定型混合廃棄物		t	0.44			
	金属くず		t	0.59			
	コンクリート塊	30cm以下無筋	t	0.03			
	廃油		t	0.06			
	解体廃材処分(有価物処分)	金属干地屑(銅)	t	1.1			
	アスファルト	1.48t/m3 18.2*0.15=2.73m3	t	4.0			
	ネットフェンス・水切り	11.8kg/m	t	0.2			
	緑石・発電機基礎		t	0.1			
	壁面タイル	2.3t/m3	t	0.2			
	収集・運搬	4tダンプ車片面道概ね25km	回	6.0			
	収集・運搬	10t深ダンプ車片面道概ね25km	回	1.0			
	小 計						
I-7-6	発生材処分蓄電池設備処理費						
		整流器(600kg)	式	1.0			
		蓄電池(21.5kg X 54セル)	式	1.0			
		管理費	式	1.0			
		運搬費	式	1.0			
	小 計						
	合 計						

番号	名称	规格	单位	数量	単価	金額	摘要
I-8	配電盤改修工事						
	配線用遮断器	MCCB3P400/400A	台	2.0			
	配線用遮断器	MCCB3P400/300A	台	2.0			
	配線用遮断器	MCCB3P400/250A	台	1.0			
	配線用遮断器	MCCB3P225/225A	台	1.0			
	配線用遮断器	MCCB3P225/200A	台	3.0			
	配線用遮断器	MCCB3P225/175A	台	3.0			
	配線用遮断器	MCCB3P225/150A	台	3.0			
	配線用遮断器	MCCB3P100/100A	台	8.0			
	配線用遮断器	MCCB3P100/75A	台	1.0			
	配線用遮断器	MCCB3P50/50A	台	2.0			
	配線用遮断器	MCCB2P50/50A	台	1.0			
	配線用遮断器	MCCB2P50/15A	台	1.0			
	母線分岐電線類		式	1.0			
	消耗品雑材料		式	1.0			
	施工費		式	1.0			
	撤去費		式	1.0			
	既設配線用遮断器	MCCB3P400/400A	2台				
	既設配線用遮断器	MCCB3P400/300A	2台				
	既設配線用遮断器	MCCB3P400/250A	1台				
	既設配線用遮断器	MCCB3P225/225A	1台				
	既設配線用遮断器	MCCB3P225/200A	3台				
	既設配線用遮断器	MCCB3P225/175A	3台				
	既設配線用遮断器	MCCB3P225/150A	3台				
	既設配線用遮断器	MCCB3P100/100A	8台				
	既設配線用遮断器	MCCB3P100/75A	1台				
	既設配線用遮断器	MCCB3P50/50A	2台				
	既設配線用遮断器	MCCB2P50/50A	1台				
	既設配線用遮断器	MCCB2P50/15A	1台				
	既設母線分岐銅バー		一式				

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	撤去品積込費	20kg	式	1.0			
	撤去品運搬費		式	1.0			
	撤去品処分費	混合廃棄物	m ³	0.5			
	法定福利費		式	1.0			
	合 計						
I-9	アスベスト除去工事						
I-9-1	(仮設工事)						
	安全施設	表示看板設置	式	1.0			
	資機材搬出入		式	1.0			
	床・壁養生	飛散防止	箇所	3.0			
	清掃・片付け		箇所	3.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						
I-9-2	(機材等設備費)						
	真空掃除機		日	2.0			
	噴霧器	湿潤養生用	日	2.0			
	集塵機付きハンマードリル		日	2.0			
	機材組立・養生・清掃		式	1.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						
I-9-3	(飛散防止剤)						
	湿潤剤・硬化剤		kg	1.0			
	小計						

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
I-9-4	(除去作業費)						
	湿潤剤吹付		箇所	3.0			
	除去作業 塗材外壁		箇所	3.0			
	集積・小運搬		箇所	3.0			
	固化剤吹付作業		箇所	3.0			
	2重袋詰め・固化剤散布		箇所	3.0			
	清掃作業		箇所	3.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						
I-9-5	(副資材、消耗品)						
	半面マスク損料		組	2.0			
	保護衣・シューズカバー・各種フィルター		組	2.0			
	その他消耗品	(2重袋・Pシート・ダイヤモンドカッター)	式	1.0			
	小計						
I-9-6	(特別管理産業廃棄物処分)						
	特別管理産業廃棄物処分費		m3	0.1			
	特別管理産業廃棄物運搬費	県外搬出	m3	0.1			
	搬出作業費		式	1.0			
	小計						
	合 計						

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
I-10	停電及び仮設電気設備工事						
I-10-1	停電対応費						
	主任技術者停電立会検査費		式	1.0			
	小計						
I-10-2	仮設電気設備工事(3日予定)						
	ケーブル	CVT38 コロガシ	m	22.0			
	ケーブル	CVT60 コロガシ	m	20.0			
	発電機	45KVA	日	3.0			
	発電機	60KVA	日	3.0			
	同上敷材	角材	式	1.0			
	運搬費	4tトラック	式	1.0			
	軽油		L	456.0			
	安全対策費	コンコンバー20m	式	1.0			
	消耗品雑材料		式	1.0			
	撤去費		式	1.0			
	小計						
	合 計						

番号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
II-2	スプリンクラーポンプ更新工事						
II-2-1	閉鎖型スプリンクラー設備工事						
	消火ポンプユニット	KTY1256A3ME45TP	基	1.0			
		125φ × 125φ × 1800L/min × 70m					
		3φ 200V × 45.0kW					
	補助加圧ポンプ	DPK2-15E10K	台	1.0			
	メーカー送料		式	1.0			
	機器搬入据付費		式	1.0			
	既存機器撤去搬出費		式	1.0			
	消火用外面被覆鋼管	SGP-VS 125A	m	5.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 125A	m	6.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 65A	m	7.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 50A	m	7.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 25A	m	8.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 20A	m	5.0			
	配管継手		式	1.0			
	配管支持金物類		式	1.0			
	配管固定金具類		式	1.0			
	雑金物類・消耗品		式	1.0			
	ストラップカップリング(消防認定品)	125A	個	1.0			
	フレキシブルジョイント(消防認定品)	10K 125A 400L	本	1.0			
	フレキシブルジョイント(消防認定品)	10K 65A 300L	本	1.0			
	フレキシブルジョイント	10K 25A 300L	本	1.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小 計						

番号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
II-2-2	屋内消火栓・開放型スプリンクラー設備工事						
	消火ポンプユニット	KTY1506B2ME45TP	基	1.0			
		150φ × 150φ × 2350L/min × 63m					
		3φ 200V × 45.0kW					
	補助加圧ポンプ	DPK2-15E10K	台	1.0			
	メーカー送料		式	1.0			
	機器搬入据付費		式	1.0			
	既存機器撤去搬出費		式	1.0			
	消火用外面被覆鋼管	SGP-VS 150A	m	5.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 150A	m	6.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 65A	m	9.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 50A	m	7.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 25A	m	9.0			
	配管炭素鋼管 白鋼管	SGP 20A	m	5.0			
	配管継手		式	1.0			
	配管支持金物類		式	1.0			
	配管固定金具類		式	1.0			
	雑金物類・消耗品		式	1.0			
	ストラップカップリング(消防認定品)	150A	個	1.0			
	フレキシブルジョイント(消防認定品)	10K 150A 400L	本	1.0			
	フレキシブルジョイント(消防認定品)	10K 65A 300L	本	1.0			
	フレキシブルジョイント	10K 25A 300L	本	1.0			
	スルース弁	10K 80A	個	1.0			
	スモレンスキバルブ	10K 80A	個	1.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						

番号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
Ⅲ-1	消火ポンプ基礎撤去工事						
	既存基礎①解体	2.51*0.729*0.2	m3	0.4			
	既存基礎②解体	2.8*0.692*0.2	m3	0.4			
	既存基礎③解体	0.5*0.55*0.2	m3	0.1			
	既存基礎①～③積込		m3	0.9			
	既存基礎①～③運搬	2.4t/m3	t	2.2			
	既存基礎①～③処分		t	2.2			
	合 計						
Ⅲ-2	消火ポンプ基礎新設工事						
	新設基礎A	3200*2170*200					
	コンクリート	FC=21 S=18	m3	1.4			
	コンクリート打設手間	基礎コンクリート	m3	1.4			
	目荒らし		m2	6.9			
	発生材	集積・積込 コンクリート・モルタル	m3	0.1			
	普通型枠		m2	0.5			
	コンクリート同時押さえ	金ゴテ	m2	6.9			
	異径棒鋼 D10	0.56kg/m	m	72.2			
	鉄筋加工組立		kg	40.4			
	同上運搬費		kg	40.4			
	合 計						

現場説明書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称） 令和8年度 穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事
2. 工事場所： 安曇野市 穂高会館
3. 工事概要： ○穂高会館の非常用電源・消防設備更新等工事
 - ・消防設備更新工事
(スプリンクラー用ポンプ、消火栓用ポンプ、圧力タンク等)
 - ・上記に伴う非常用電源設備更新工事
 - ・蓄電池設備更新工事 等

4. 工期： 契約日 から 令和9年3月25日

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2) 工事工程については、下記事項を考慮し、詳細は監督員と協議・調整を行うこと。

- ・穂高会館（公民館）及び穂高総合体育館（体育館部分）の一般利用停止期間は、令和8年11月1日から令和9年3月31日の5カ月間を予定しており、現場着手は原則

として令和8年11月以降とする。

- ・事務室・受付ロビー・事務室前のトイレにおいては職員及び施設貸出予約等の一般利用者が利用するため、施設の利用計画を配慮した計画とすること。
- ・テニスコート及びテニスコート利用者用トイレは通常通り利用できるようにすること。
- ・停電等で施設の利用に支障がでる場合は、事前に施設利用者及び監督員と協議を行うこと。
- ・7.に記載する別途発注工事と工程等調整し工事を行うこと。

(3)排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

(4)工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(5)夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。

(6)周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。

(7)感染症対策は十分に講じること。

(8)各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(9)残土関係

~~本工の施工において生じる発生主の処分については、下記の処分先を想定して処分費運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

○建設発生主

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

~~距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。~~

(10) この工事は執務並行型の工事ではない。

(11) 本工事は、「安曇野市週休2日工事実施要領」の通期の週休2日工事の対象である。

(12) 機器発注後の工場製作のみを実施している期間（約4.5カ月間）については休工扱いとし、週休2日及び工事期間の対象外とする。

(13) 耐震安全性の分類

構造体 II類 建築非構造部材 A類 建築設備 乙類

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考
安曇野市	令和8年度 穂高総合体育 館空調設置工 事	契約日 から 令和9年3月 25日（予定）	穂高総合体育 館 柔剣道室及 び卓球室の空 調設置工事、 キュービクル 改修工事	令和8年11月 以降現場着手
安曇野市	令和8年度 穂高総合体育 館床補強工事	契約日 から 令和9年3月 23日（予定）	メインアリー ナの一部の床 補強支持脚設 置 等	令和8年11月 以降現場着手

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関				

・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。

8. 安全対策関係

①交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

②安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後14日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

- (1) 公共事業労務費調査等
- (2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

- (1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。
- (2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- ① 工事受注時契約締結後10日以内
- ② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内
- ③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

- (1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。
- (2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
- (3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。
 - ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
 - ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
 - ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- (2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときには、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によ

り、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めると。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」いう。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

○報告書の記載内容

①アスベスト材料の種別

②アスベスト形状、飛散可能性の有無

③製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

(1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化（平

成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認証を受けた工場)で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者(コンクリート主任技士等)が置かれ、良好な品質管理が行われている工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

○添付書類

- ・ 工事記録(工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報)
- ・ 工事打合わせ記録簿(当月分)
- ・ 工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

①完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

②以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複製させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者(随意契約の場合にあっては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

25. 設計変更による工事費について

設計変更に伴い算出する変更請負額は、次式により算出する。

[変更請負額] = {[変更設計工事価格] × [当初請負比率]} ※1 + [消費税相当額]

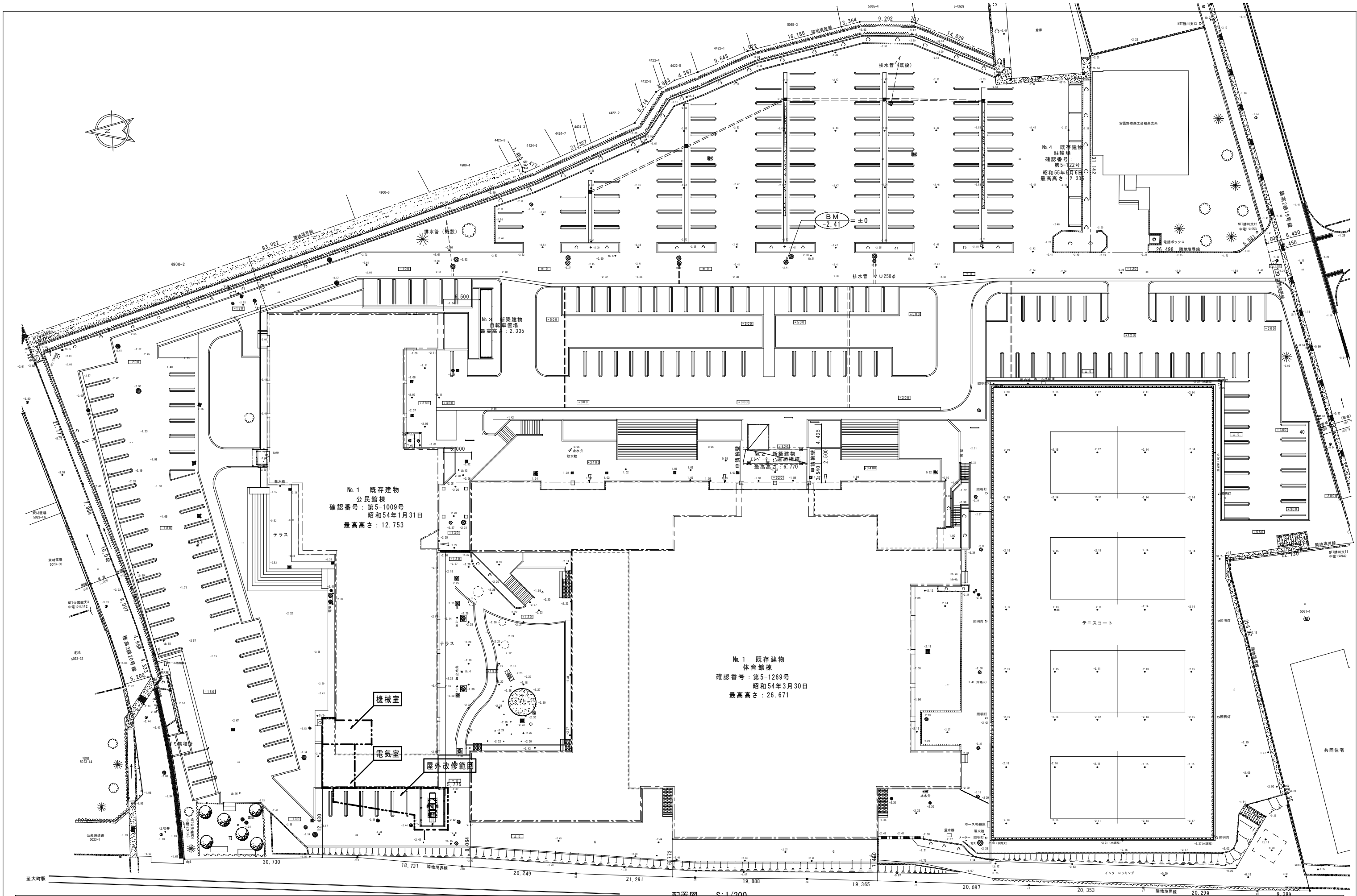
当初請負比率 : [当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額] / [当初設計額の工事価格]

※1 有効桁上位 4 桁、5 桁目以降及び一千万円未満の場合は一万円単位となるよう切り捨て

令和 8 年 4 月 1 日 適用版

令和 8 年度

穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事



低圧電灯盤 No.1 改修後

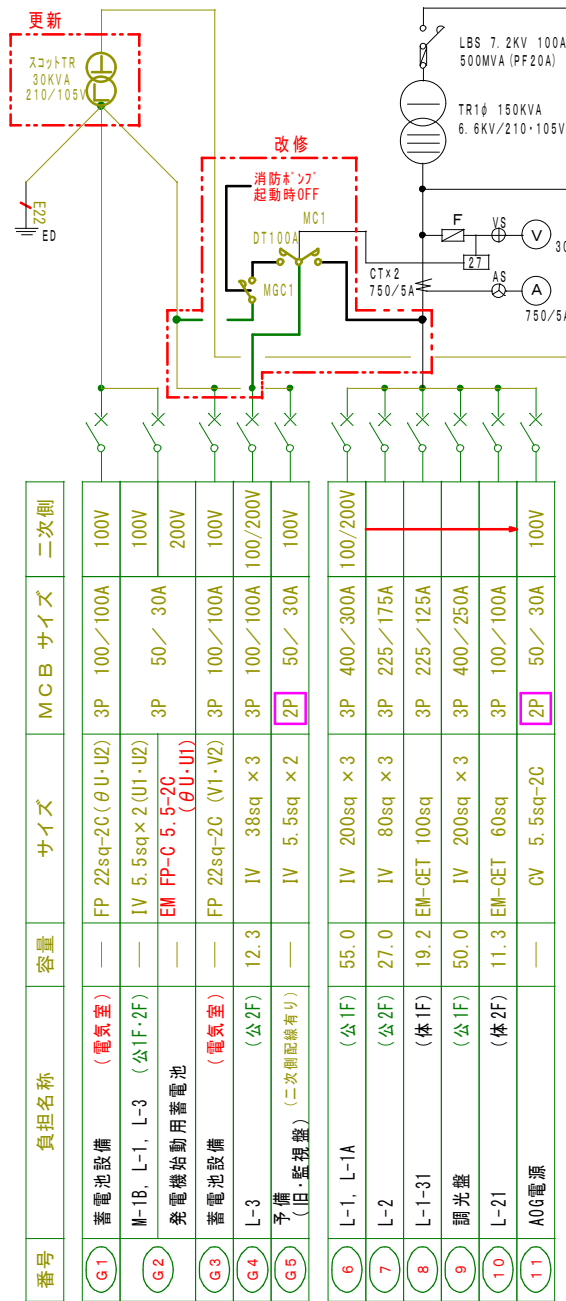
発電機回路 幹線No.G4 (L-3)の電源供給

状態	停電の有無	無し	無し	停電	停電
	火災の有無 (消防ポンプ運転の有無)	無し	火災 (ポンプ運転)	無し	火災 (ポンプ運転)
電源	商用 単相150kVAトランス ※1	○	○	△	△
	商用 三相200kVAトランス ※2	△	△	○	○
	自家発電設備 ※3	△	△	○	○

※ ○印の付いたものを適用する。
 ※1 商用 単相150kVAトランス → 幹線No.G4(L-3)
 ※2 商用 三相200kVAトランス → スコトトランス → 幹線No.G4(L-3)
 ※3 自家発電設備 → スコトトランス → 幹線No.G4(L-3)

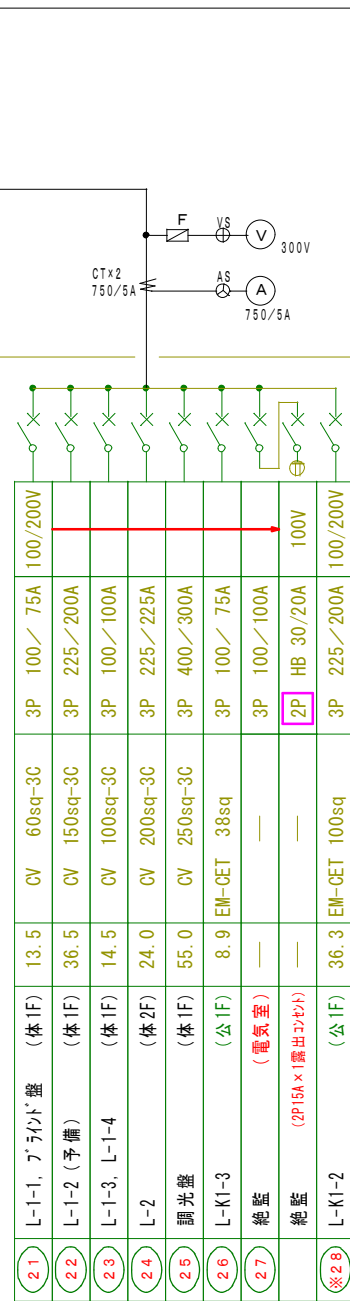
凡例

G**	自家発電設備回路 (G回路)
**	受変電設備低圧盤面に回路No.記載無し
OFF	ブレーカーOFF回路



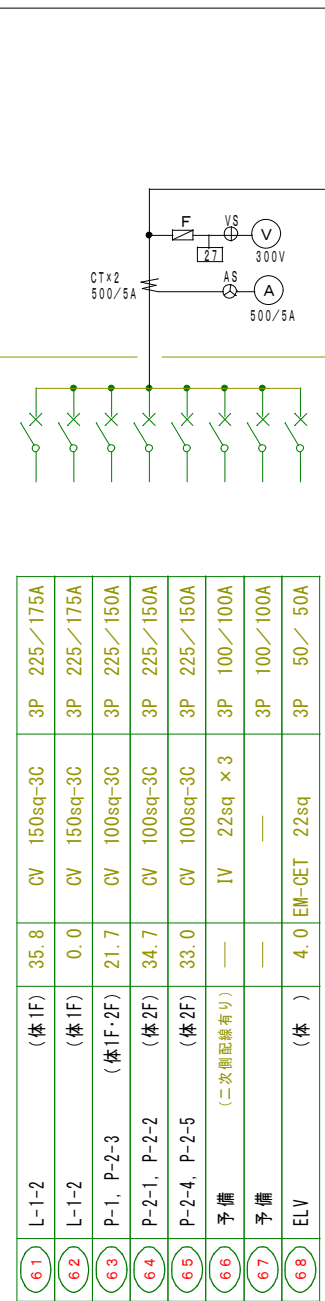
番号	負担名称	容量	サイズ	MCB サイズ	二次側
G1	蓄電池設備 (電気室)	—	FP 22sq-2C (θU-U2)	3P 100/100A	100V
G2	M-1B, L-1, L-3 (公1F・2F)	—	IV 5.5sq x 2 (U1-U2)	3P 50/30A	100V
G3	発電機始動用蓄電池	—	EM FP-C 5.5-2C (θU-U1)	2P	200V
G4	蓄電池設備 (電気室)	—	FP 22sq-2C (V1-V2)	3P 100/100A	100V
G5	L-3 (公2F)	12.3	IV 38sq x 3	3P 100/100A	100/200V
	予備 (旧・監視盤) (二次側配線有り)	—	IV 5.5sq x 2	50/30A	100V
6	L-1, L-1A (公1F)	55.0	IV 200sq x 3	3P 400/300A	100/200V
7	L-2 (公2F)	27.0	IV 80sq x 3	3P 225/175A	—
8	L-1-31 (体1F)	19.2	EM-OET 100sq	3P 225/125A	—
9	調光盤 (公1F)	50.0	IV 200sq x 3	3P 400/250A	—
10	L-21 (体2F)	11.3	EM-OET 60sq	3P 100/100A	—
11	AOG電源	—	CV 5.5sq-2C	2P	100V

低圧電灯盤 No.1



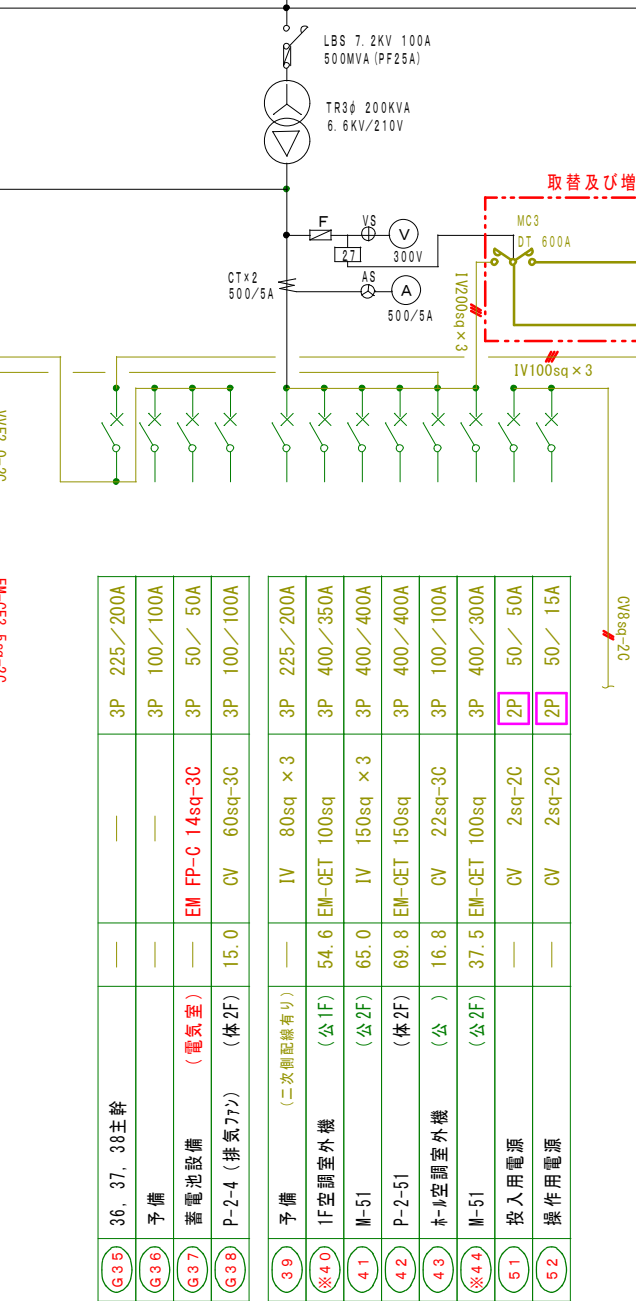
21	L-1-1, 7'ライティング (体1F)	13.5	CV 60sq-3C	3P 100/75A	100/200V
22	L-1-2 (予備) (体1F)	36.5	CV 150sq-3C	3P 225/200A	—
23	L-1-3, L-1-4 (体1F)	14.5	CV 100sq-3C	3P 100/100A	—
24	L-2 (体2F)	24.0	CV 200sq-3C	3P 225/225A	—
25	調光盤 (体1F)	55.0	CV 250sq-3C	3P 400/300A	—
26	L-K1-3 (公1F)	8.9	EM-OET 38sq	3P 100/75A	—
27	絶監 (電気室) (2P15A x 1露出コネクタ)	—	—	3P 100/100A	100V
※28	絶監 (公1F)	36.3	EM-OET 100sq	3P 225/200A	100/200V

低圧電灯盤 No.2



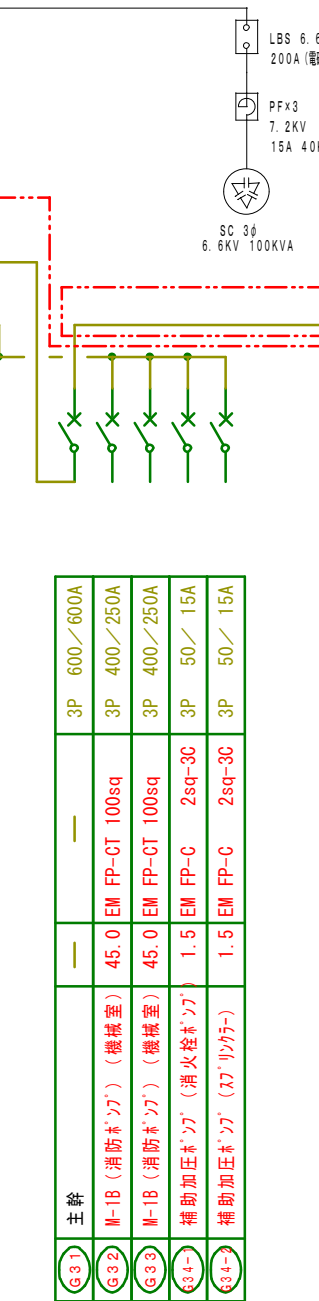
61	L-1-2 (体1F)	35.8	CV 150sq-3C	3P 225/175A	—
62	L-1-2 (体1F)	0.0	CV 150sq-3C	3P 225/175A	—
63	P-1, P-2-3 (体1F・2F)	21.7	CV 100sq-3C	3P 225/150A	—
64	P-2-1, P-2-2 (体2F)	34.7	CV 100sq-3C	3P 225/150A	—
65	P-2-4, P-2-5 (体2F)	33.0	CV 100sq-3C	3P 225/150A	—
66	予備 (二次側配線有り)	—	IV 22sq x 3	3P 100/100A	—
67	予備	—	—	3P 100/100A	—
68	ELV (体)	4.0	EM-OET 22sq	3P 50/50A	—

低圧動力盤 No.1



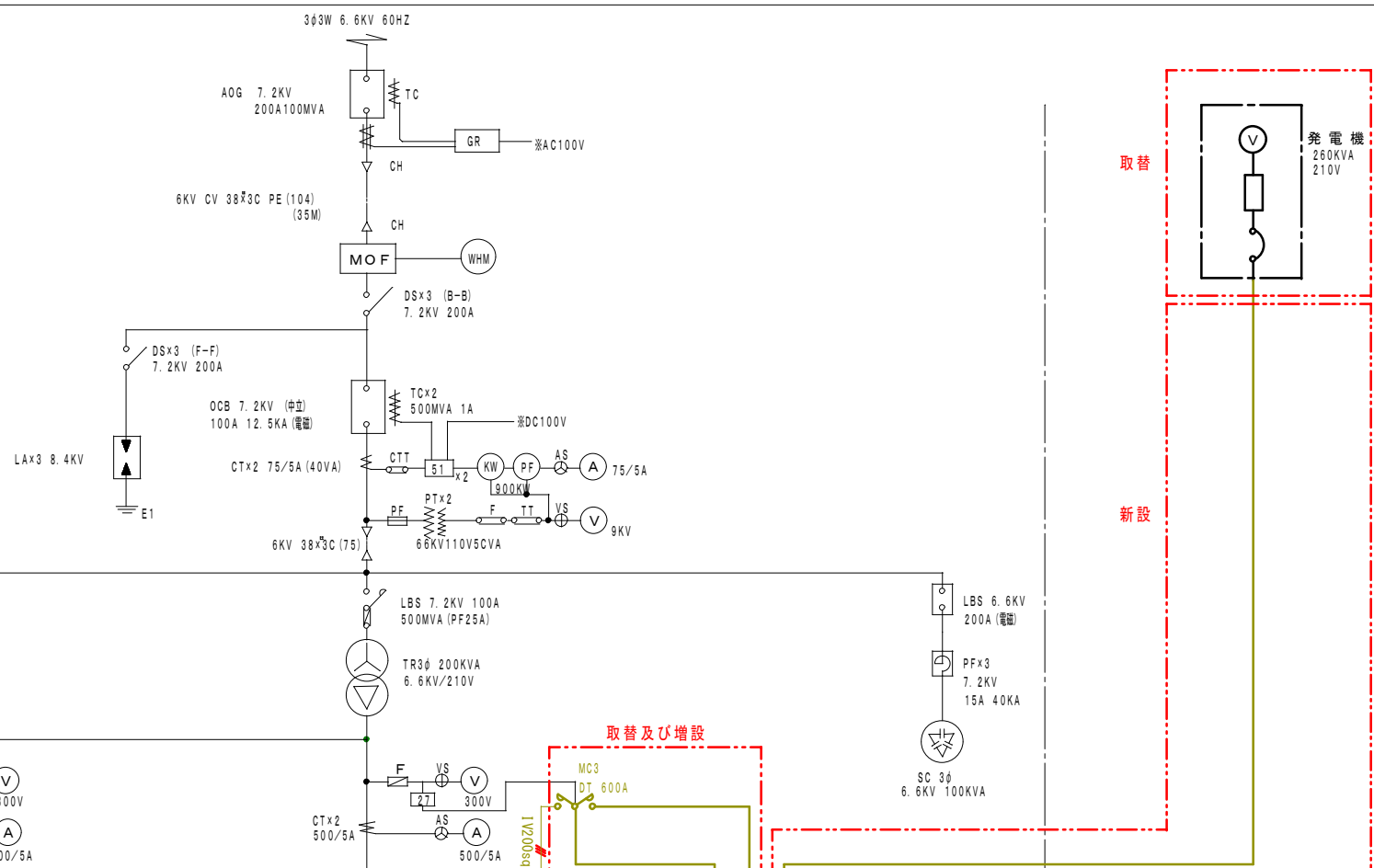
G35	36, 37, 38主幹	—	—	3P 225/200A	—
G36	予備	—	—	3P 100/100A	—
G37	蓄電池設備 (電気室)	—	EM FP-C 14sq-3C	3P 50/50A	—
G38	P-2-4 (排気77)	15.0	CV 60sq-3C	3P 100/100A	—
39	予備 (二次側配線有り)	—	IV 80sq x 3	3P 225/200A	—
※40	1F空調室外機 (公1F)	54.6	EM-OET 100sq	3P 400/350A	—
41	M-51 (公2F)	65.0	IV 150sq x 3	3P 400/400A	—
42	P-2-51 (体2F)	69.8	EM-OET 150sq	3P 400/400A	—
43	ホーミング調整室外機 (公)	16.8	CV 22sq-3C	3P 100/100A	—
※44	M-51 (公2F)	37.5	EM-OET 100sq	3P 400/300A	—
51	投入用電源	—	CV 2sq-2C	2P 50/50A	—
52	操作用電源	—	CV 2sq-2C	2P 50/15A	—

低圧動力盤 No.2



G31	主幹	—	—	3P 600/600A	—
G32	M-1B (消防ポンプ) (機械室)	45.0	EM FP-CT 100sq	3P 400/250A	—
G33	M-1B (消防ポンプ) (機械室)	45.0	EM FP-CT 100sq	3P 400/250A	—
G34	補助加圧ポンプ (消防栓ポンプ)	1.5	EM FP-C 2sq-3C	3P 50/15A	—
G34	補助加圧ポンプ (37'リフト)	1.5	EM FP-C 2sq-3C	3P 50/15A	—

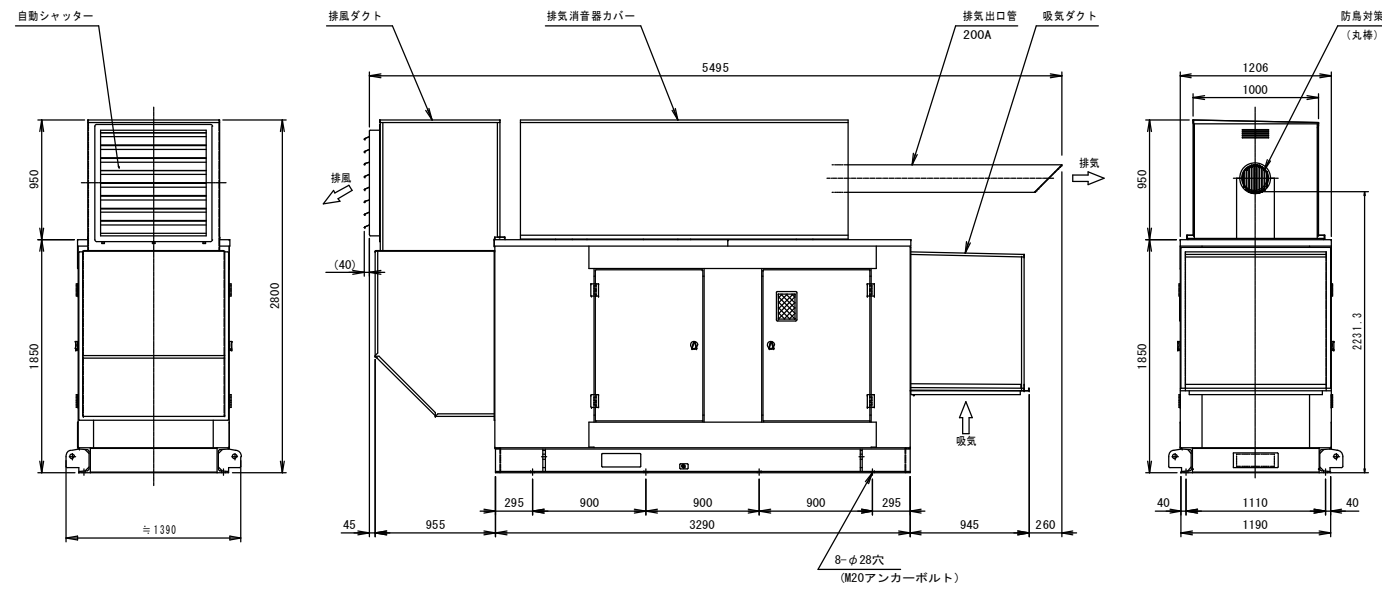
低圧動力盤 No.3



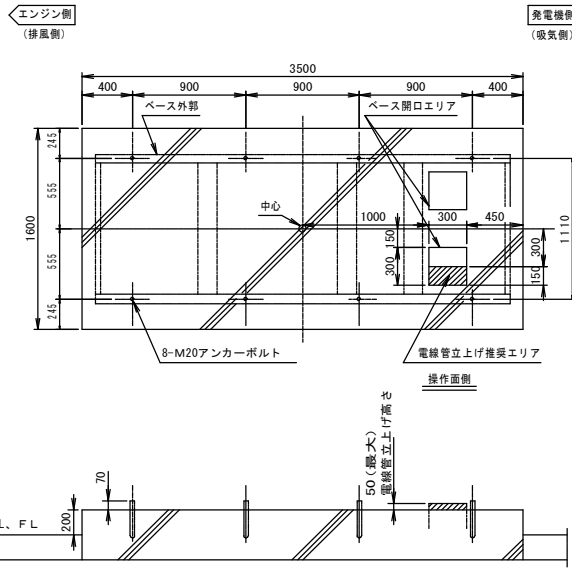
取替

新設

外形図
S=1/30



基礎図
※建築工事



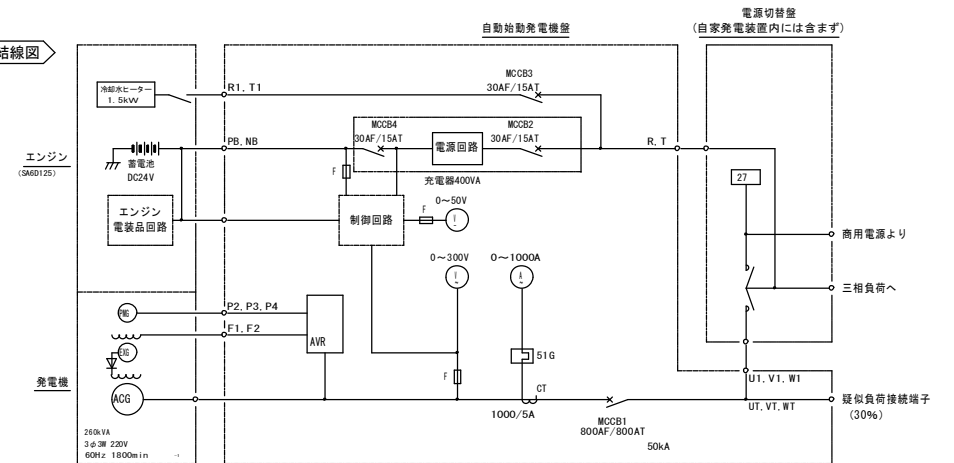
仕様書

仕様書				
用途	消防法適合品・非常用予備電源・長時間形			
設置場所	屋外			
運転方式	全自動・手動方式及び試験スイッチ採用			
使用条件	周囲温度	-5~40℃		
	湿度	最高相対湿度 85%		
	高度	150m迄		
騒音値	本体より1mにて 75dB (Aスケール) 平均値			
発電機盤構成	自動始動停止装置・保護装置・励磁装置			
	主回路開閉装置・計測装置			
計測装置	発電機側	交流電圧計・交流電流計・直流電圧計		
	エンジン側	潤滑油圧力計・潤滑油温度計		
	冷却水温度計・排気ガス温度計			
保護・警報装置	項目	動作状態	警報	エンジン停止
	油圧低下	49±20kPa以下	○	○
	水温上昇	105±2℃以上	○	○
	始動渋滞	始動失敗	○	○
	過回転	115%以上	○	○
	過電流	115±5%以上	○	—
	燃料油最低油量	燃料タンク下面より 3.5±0.5cm以下	○	○
	緊急停止	緊急停止押鈕を押した時	○	○

エンジン発電機仕様書			
エンジン		発電機	
形式	4サイクル水冷頭上弁式	容量	260kVA/208kW
燃焼室形式	直接噴射式	電圧	220V
給気方式	排気ターボ過給式	電流	682.3A
冷却方式	ラジエータ方式	定格	1時間超(過負荷110%30分間)
シリンダー数	6	相数	3相3線
定格出力	284kW	極数	4P
回転速度	1800min ⁻¹	周波数	60Hz
始動方式	セルモーター	回転速度	1800min ⁻¹
充電方式	自動充電方式	力率	0.8 (遅れ)
蓄電池	消防法認定品UP-100Ah-24V	耐熱クラス	180(H)
使用燃料	JIS2号軽油150L搭載	始動	40秒
装置質量	約4340kg	塗装色	5Y7/1全艶

※特記仕様:保守運転タイマー付
:キュービクル~溶融亜鉛メッキ鋼板使用
:ベース~溶融亜鉛メッキ処理

単線結線図



記号	名称	記号	名称	記号	名称
ACG	三相交流発電機	51G	サーマルリレー	F	ヒューズ
EXG	励磁用発電機	MCCB1	主回路用遮断器	27	停電検出器
AVR	自動電圧調整器	MCCB3	常時予熱用遮断器		
V	交流電圧計	MCCB2	充電器入力用遮断器		
V	直流電圧計	MCCB4	充電器出力用遮断器		
A	交流電流計	CT	計器用変流器		

自家発電設備出力計算書

令和8年度 穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事

Table with 2 columns: (1) 対象負荷機器 (2) 発電機 特性 (3) 原動機 特性 (4) 負荷機器. Includes parameters like KG, xdg, ΔE, ηg, ε, γ, α, **D, **d.

Table with 2 columns: (1) 種類 (2) 形式番号 (3) 発電機出力 (4) 原動機出力 (5) 整合比. Includes details like 260.0 kVA, 220 V, 4極, 226.1 kW, 1,800 min⁻¹.

** : 1.000未満の場合は、消防設備出力算定には使用できません。

様式-2 <最大最終> 件名：令和8年度 穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事

自家発電設備出力計算シート (負荷表). Large table with columns for load name, type, capacity, and calculation results. Includes a summary row for total load K=150.00.

<A> := ks/Zm × mi := (ks/Zm × d / (ηb × cos θ b)) × mi <C> := (ks/Zm × cos θ s × (ε - α) × d / η b) × mi <D> := (ks/Zm × cos θ s × d / η b) × mi

様式-2(2) <最大最終> 件名：令和8年度 穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事

自家発電設備出力計算シート (負荷表). Similar to table 2, but with additional columns for high-order harmonics and power factor.

hh = 1.3 / { 2.3 - min(1, R/K) } = 1.3 / { 2.3 - min(1, Σ① / K) } = 0.586
hph = 1 - 0.413 × RB / RA = 1 - 0.413 × min(Σ②, Σ③) / max(Σ②, Σ③) = 1.000
H = hh × √{ Σ① × (RB1 × hki) / (η1 × cos θ 1) }^2 + Σ② × (RB31 × hki) / (η1 × cos θ 1) × lph }^2 = hh × √{ Σ①^2 + (Σ② × lph)^2 } = 5.07
RAF = 0.800 × min(H, Σ⑥) = 0.00

様式-3 <最大最終> 件名：令和8年度 穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事

自家発電設備出力計算シート (発電機). Table with columns for BG, BGa, BGs, BGg and their respective calculation formulas and values.

備考：GはG'の値の95%以上の値とする。

様式-4 <最大最終> 件名：令和8年度 穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事

自家発電設備出力計算シート (原動機、整合). Table with columns for RE, REa, RE, E', E, MR', MR and their respective calculation formulas and values.

備考：EはE'又はE*の値以上の値とする。

電源装置一般仕様

参考装置形式 TR-SNTR10050
参考電池形式 MSEX-200 ゼル数 54
(MSE-200)

1 適用規格
この仕様書に記載のない事項は下記の規格などに準拠とする。
日本産業規格 (JIS)
電気規格調査会標準規格 (JEC)
日本電機工業会規格 (JEM)
電池工業会規格 (SBA)
国土交通省大臣官庁官庁官務部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和7年版)

消防法適合品

図面一覧表

Table with columns: No., 図面名称, 項目 No., 図面名称. Lists various drawings like A11 一般仕様, A21 性能仕様, B11 単線結線図, etc.

2 使用環境
設置は下記の環境で使用されるものとする。
周囲温度 -10~40℃
相対湿度 25~85% (但し結露しない事)
高さ 最大1000m以下
設置場所 有害ガス・塵分・ほこりの少ない室内
耐震 設計震度 水平:1.0, 鉛直:0.5

3 温度上昇 (温度計法, 周囲温度40℃を基準とする。)
主変圧器 耐熱クラスB 70K以下
リアクトル } コイル部 耐熱クラスF 90K以下
耐熱クラスH 115K以下
サイリスタ 65K以下
シリコン整流素子 90K以下
シリコンダイオード 110K以下
パワートランジスタ 90K以下

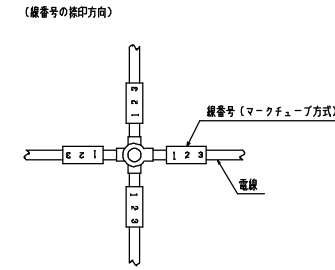
4 絶縁
絶縁耐力 交流回路-アース間 50/60Hz AC1500V 1分間
直流回路-アース間 50/60Hz AC1500V 1分間
交流回路-直流回路間 50/60Hz AC1500V 1分間
絶縁抵抗 5MΩ以上 (DC500Vメガーによる)

5 付属品
6 付属品
ヒューズ 埋用X100%
遮断ボルト M16金属拡張アンカー
補修塗料 1/12リットル
吊金具 1式

配線仕様

- ユニット内、コネクタ部、制御回路、蓄電池収納部を除き下記に基づき配線とする。
1 管内配線方式
(1) 配線方式
(2) 配線の固定部の構造
(3) 配線の可動部の構造
(4) 配線の端子接続方法
(5) 配線の分岐

端末処理
用途 端末色別 (絶縁キャップ) 線番号
主回路 全部 全部
制御回路 なし 全部



4 配線色及び線径
電線の種類 回路の種類 主回路 制御回路 VT・CT2次側 接地回路 電子回路 消防法回路 備考
耐火性色絶縁電線 (WLI)
ビニル絶縁電線 (1V/K1V)
耐火電線
架橋ポリエチレン電線 (KQE)
ツルム線 (MVVS)
2種ビニル絶縁電線 (H1V/HK1V)
耐火性フッ化ポリethylene絶縁電線
難燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-1E/EM-K1E)
耐火機室配線用ビニル電線 (UL1007)

4 配線色及び端末色別
回路の種類 相 主回路電線色 端末色 制御回路電線色 端末色 備考
三相交流 第1相 (R, U, A)
第2相 (S, V, B)
第3相 (T, W, C)

性能仕様

電気的性能
機器の電気的性能は下記の通りとする。
1 交流電源

Table with columns: 項目, 仕様, 備考. Lists specifications for AC power like 相数 3Ph 3W, 電圧 210V±10%, 周波数 60Hz±5%, etc.

3 負荷電圧補償装置
項目 仕様 備考
方式 ツリコフロイバ
入力電圧 DC120.4V max
出力電圧 定格出力電圧まで補償
負荷電圧 DC 90V~110V
設定 L: 95V H: 110V
負荷電流 DC 1A~10A
構成 約 8V 2段

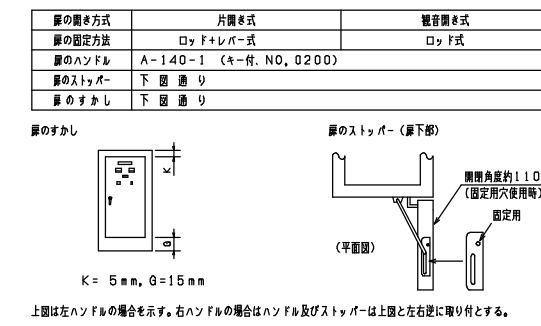
2 整流器
項目 仕様 備考
冷却方式 自冷
定格 100%連続
整流方式 三相全波整流
制御方式 サイリスタ自動電圧制御
浮動充電電圧 120.4V (定格電圧)
出力電圧調整範囲 ±3%以上
(入力電圧定格±10%, 出力電流 0~100%)
出力電圧精度 浮動 ±1.5%以内
入力電圧定格±10%
出力電流 0~100%
定格電流 50A
最大垂下電流 定格電流の120%以下
効率 85%以上
定格入出力時
力率 75%以上 定格入出力時

外観構造仕様

1 構造材料
鋼板は型つうな鋼板製とし、収納部品の質量及び動作による影響に十分耐える構造とする。
2 鋼板厚及び塗装・点検扉

Table with columns: 構造 板厚(mm) 固定方法 挿入部 点検扉 備考. Lists structural details for the cabinet doors and panels.

3 扉の構造
扉の開き方式 片開き式 複音響式
扉の固定方法 ロッド+レバー式 ロッド式
扉のハンドル A-140-1 (キー付, NO. 0200)
扉のストッパー 下 図 通り
扉のすかし 下 図 通り



4 塗装
塗装色 (モノシール記号) 塗装 備考
配電盤 箱外面 5Y7/1 キツク 焼付塗装
配電盤 箱内面 5Y7/1 焼付塗装
ベース 5Y7/1 焼付塗装
計器枠・器具取付台 N1.5
制御操作として N1.5

注1. 内面パネル、部品取付後面の塗装色は箱内面色とする。なおユニットはメーカー標準色可。
注2. 箱外面の塗装膜厚は平均値 40μm以上、且つ最低32μm以上とする。

5 銘板
銘板には下記の銘板を取り付ける事。
名称銘板 アクリル 地色 黒 文字色 黒 丸ゴシック体
定格銘板 フィルム 乳白 黒 扉裏面取付
用途銘板 アクリル 乳白 黒 扉表面取付
受注者銘板 アクリル 乳白 黒 扉裏面取付

注1. 操作・監視する部位には用途銘板を取り付ける事。
注2. 部品表示銘板等にはフィルム貼付可。
注3. 受注者銘板の記入文字は「受注者」とする。

6 その他
配線口の処理
配線口には分別板(2.3mm)製のふたを設ける事。
扉の接地端子
扉には外部端子のある面に接地端子を設ける事。
M8 ボルト付 (ボルト頭は緑色塗装)。接地端子配線サイズは14sq以下
扉裏面に図面ケース (A4サイズ) を設ける事。

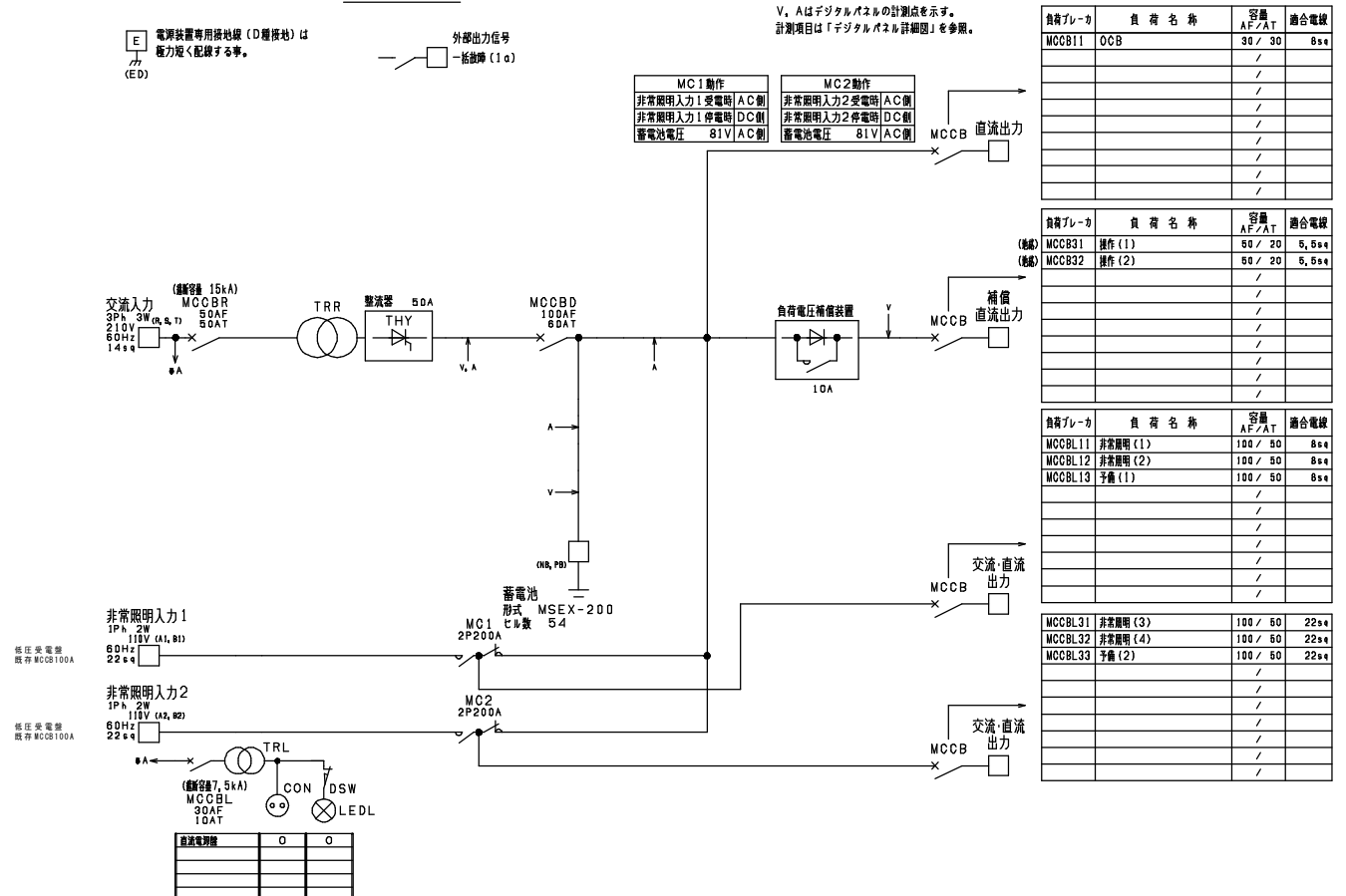
警報回路仕様

警報項目	自己保持		ブザー鳴動		LED故障表示		外部出力信号	保護機能	警報設定		警報動作条件
	表示	外部信号	連続音	断続音	故障	一巡1a			設定値	遅延時間(秒)	
1 整流器過電圧	○	○	○	○	○	○			130V	8	整流器出力の過電圧異常 (定格出力電圧 + 8%)
2 負荷低電圧	○	○	○	○	○	○			90V	5	負荷電圧補償装置出力の低電圧異常 (負荷定格電圧 - 10%)
3 負荷高電圧	○	○	○	○	○	○			112V	60	負荷電圧補償装置出力の高電圧異常 (負荷定格電圧 + 12%)
4 負荷過電圧	○	○	○	○	○	○			115V	5	負荷電圧補償装置出力の過電圧異常 (負荷定格電圧 + 15%)
5 放電終了予告											蓄電池放電可能容量の80%を消費した時
6 蓄電池電圧低下	○	○	○	○	○	○			90V	5	蓄電池電圧が低下
7 蓄電池異常放電	○	○	○	○	○	○					計算上蓄電池容量が残っている状態で蓄電池電圧低下警報が発報した時
8 蓄電池異常充電									60A	30	整流器運転中の蓄電池異常充電 (ノルメライズ規格の10%)
9 蓄電池温度上昇	○	○	○	○	○	○					蓄電池温度が50℃以上昇 (遅延2秒)
10											
11											
12 逆流+地絡	○	○	○	○	○	○			6kΩ		逆流(+)回路に地絡が発生 (遅延2秒、2・6・10kΩから選択)
13 逆流-地絡	○	○	○	○	○	○			6kΩ		逆流(-)回路に地絡が発生 (遅延2秒、2・6・10kΩから選択)
14 蓄電池寿命予告	○										蓄電池残存寿命の計算値が1年以下に達した時
15 蓄電池寿命	○										蓄電池残存寿命の計算値が0年に達した時
16 整流器故障	○	○	○	○	○	○					整流器ヒューズ断
17 MCCBトリップ	○	○	○	○	○	○					MCCB (R. D. 負荷) のトリップ
18 LMD基盤異常	○	○	○	○	○	○					負荷電圧補償装置・MC制御基板の異常
19											
20											
21											
22											
23											
24 警報回路異常・制御電源断		○	○	○	○	○	○				警報回路異常・制御電源断

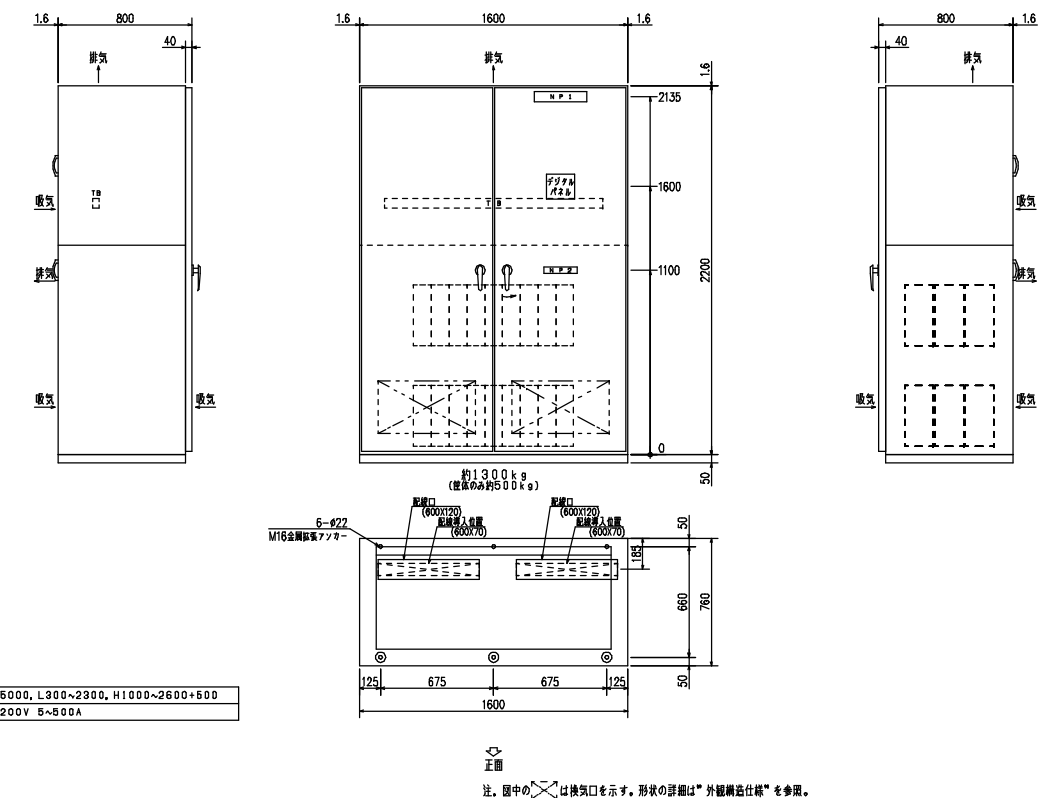
備考1. 自己保持項目の警報解除は、故障原因除去の後、「リセット」キーにより解除。
 2. パネルの操作により、パネル上のLED及びブザーの点灯鳴動試験が可能。
 3. 故障発生時、ブザー(電子ブザー)が鳴動。(3分後ブザーは自動停止。)
 重要時は連続音、軽微時は断続音。(放電終了予告、蓄電池寿命予告及び蓄電池寿命が故障区分無し)
 4. ブザー警報の停止は、「ブザー停止」キーにより行える。
 5. 外部警報接点の容量は、DC30V 1A, AC125V 1A (低負荷)。
 6. 外部警報接点は全て開電圧接点。

注1 蓄電池温度上昇警報と同時に充電電圧を2.15V/セルに低減させる。

単線結線図



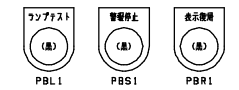
外形図



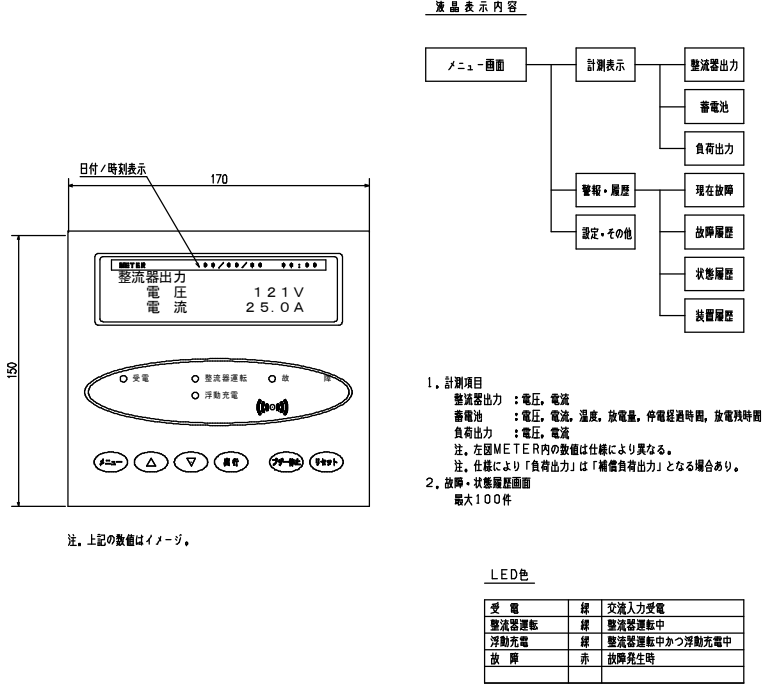
型式記号	RLE	測定範囲	寸法(mm)	質量(kg)
型式決定番号	24A2478		W400×500, L300×2300, H1000×2600×500	DC12~200V 5~500A

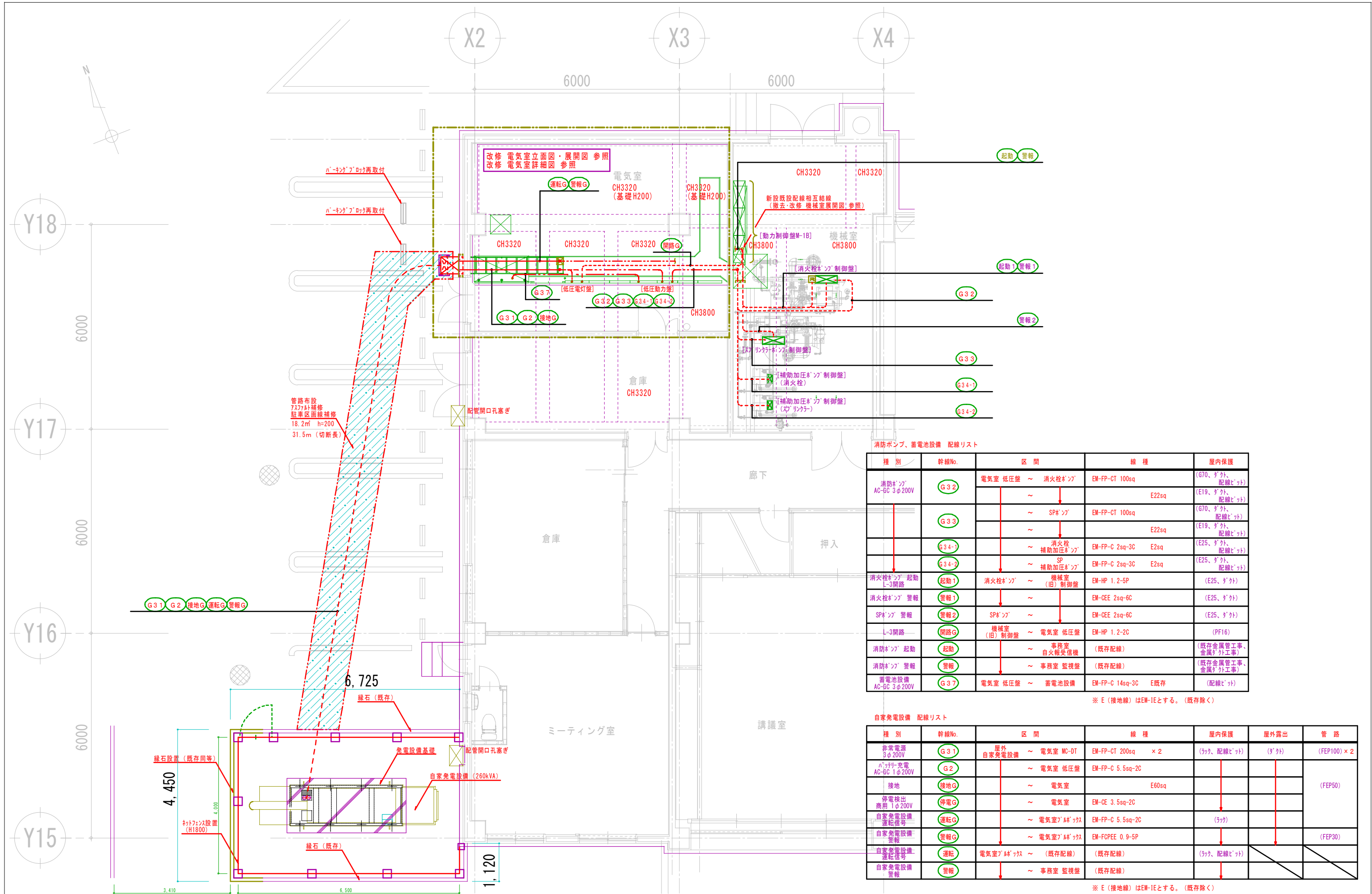
盤面銘板一覧表

NP番号	部品	記入文字	寸法(mm)	固定方法	備考
NP1	名称NP	直流電源	315×63×5	ナイロソケット止め	
NP2		蓄電池情報	200×40×0,1	貼付	



デジタルパネル詳細図





消防ポンプ、蓄電池設備 配線リスト

種別	幹線No.	区間	線種	屋内保護
消防ポンプ AC-BC 3φ200V	G3.2	電気室 低圧盤 ~ 消火栓ポンプ	EM-FP-CT 100sq	(G70、ダクト、配線ビッド)
		~	E22sq	(E19、ダクト、配線ビッド)
		~ SPポンプ	EM-FP-CT 100sq	(G70、ダクト、配線ビッド)
		~	E22sq	(E19、ダクト、配線ビッド)
消火栓ポンプ 起動 L-3開路	起動1	消火栓ポンプ ~ 機械室 (旧) 制御盤	EM-HP 1.2-5P	(E25、ダクト)
		消火栓ポンプ 警報	EM-CEE 2sq-6C	(E25、ダクト)
SPポンプ 警報	警報2	SPポンプ ~	EM-CEE 2sq-6C	(E25、ダクト)
		L-3開路	開路G	EM-HP 1.2-2C (PF16)
消火ポンプ 起動	起動	~ 事務室 自火報受信機	(既存配線)	(既存金属管工事、金属ダクト工事)
消火ポンプ 警報	警報	~ 事務室 監視盤	(既存配線)	(既存金属管工事、金属ダクト工事)
蓄電池設備 AC-BC 3φ200V	G3.7	電気室 低圧盤 ~ 蓄電池設備	EM-FP-C 14sq-3C E既存	(配線ビッド)

※ E (接地線) はEM-IEとする。(既存除く)

自家発電設備 配線リスト

種別	幹線No.	区間	線種	屋内保護	屋外露出	管路
非常電源 3φ200V	G3.1	屋外 自家発電設備 ~ 電気室 MC-DT	EM-FP-CT 200sq × 2	(ダクト、配線ビッド)	(ダクト)	(FEP100) × 2
バッテリー充電 AC-BC 1φ200V	G2	~ 電気室 低圧盤	EM-FP-C 5.5sq-2C			(FEP50)
接地	接地G	~ 電気室	E60sq			
停電検出 商用 1φ200V	停電G	~ 電気室	EM-CE 3.5sq-2C			
自家発電設備 運転信号	運転G	~ 電気室ダクト	EM-FP-C 5.5sq-2C	(ダクト)		
自家発電設備 警報	警報G	~ 電気室ダクト	EM-FOPEE 0.9-5P			(FEP30)
自家発電設備 運転信号	運転	電気室ダクト ~ (既存配線)	(既存配線)	(ダクト、配線ビッド)		
自家発電設備 警報	警報	~ 事務室 監視盤	(既存配線)			

※ E (接地線) はEM-IEとする。(既存除く)

非常電源 撤去・改修内容

- 倉庫A (旧発電機室)の排気ファン(1台)の電源を、非常電源から一般商用電源に変更する。
- 電灯分電盤[L-1]の非常電源回路(AC-GC発電機室 回路)の負荷を、非常電源負荷から一般商用電源負荷に変更する。

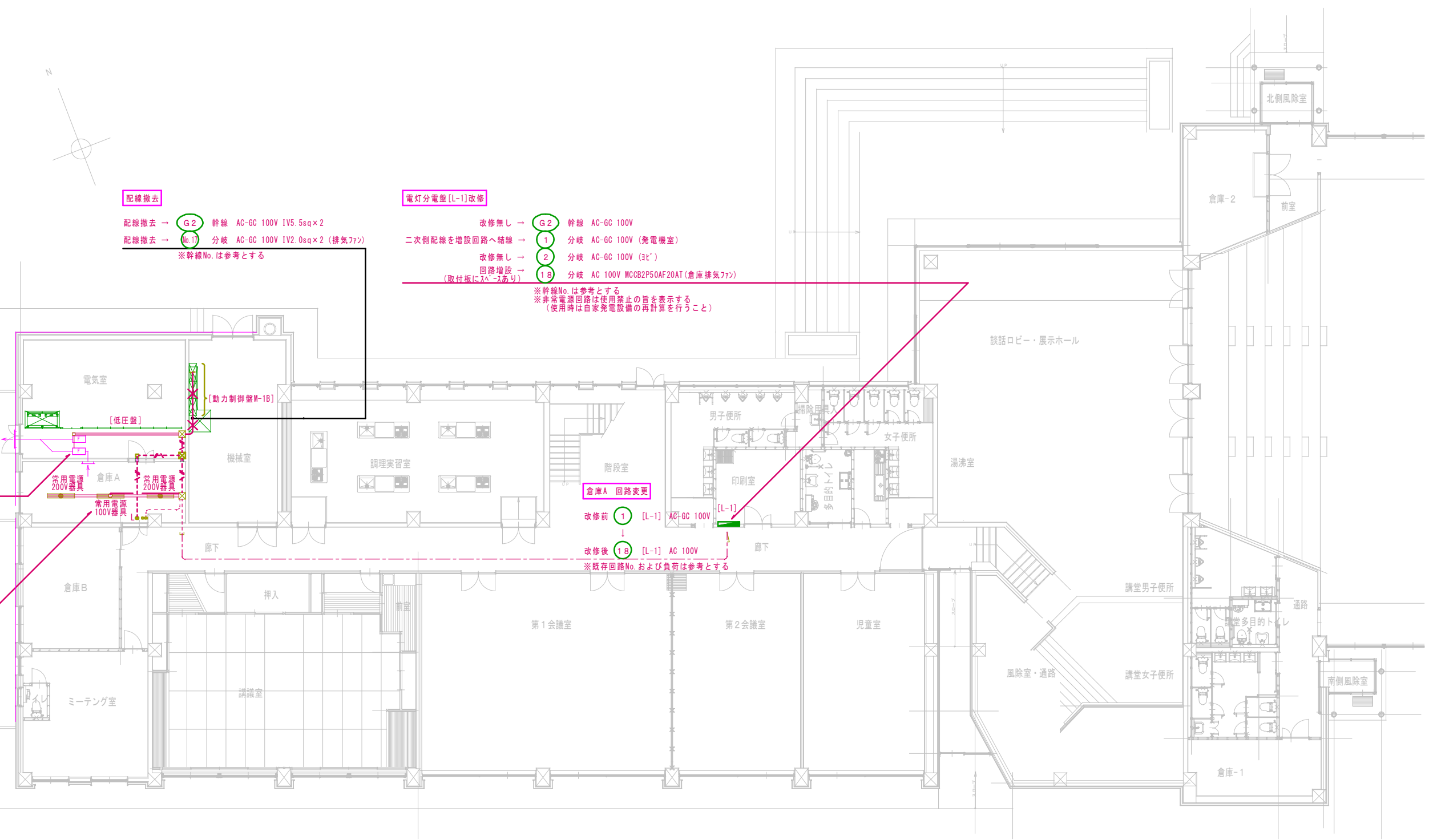
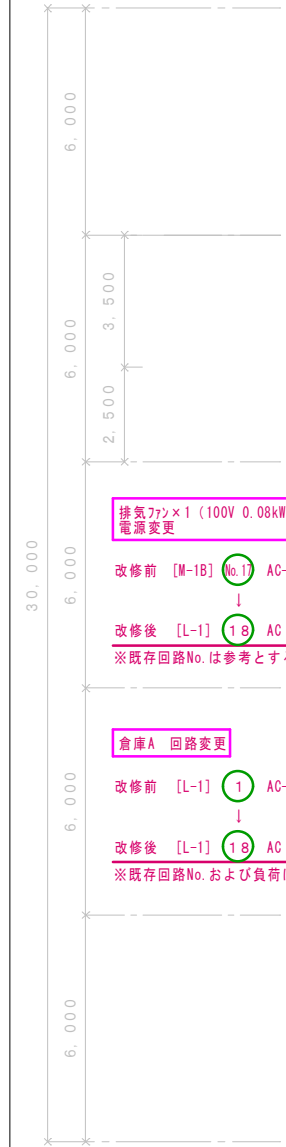
凡例

✕ 配管配線の撤去を示す(撤去品は再利用しない)

特記無き配管配線は下記による

EM-1E2.0×2 + E2.0(保護管:E19)

※E(接地線)はEM-1Eとする。



配線撤去

配線撤去 → G2 幹線 AC-GC 100V 1V5.5sq×2

配線撤去 → No.1 分岐 AC-GC 100V 1V2.0sq×2 (排気ファン)

※幹線No.は参考とする

電灯分電盤[L-1]改修

改修無し → G2 幹線 AC-GC 100V

二次側配線を増設回路へ結線 → 1 分岐 AC-GC 100V (発電機室)

改修無し → 2 分岐 AC-GC 100V (3E')

回路増設 → 1.8 分岐 AC 100V MCCB2P50AF20AT (倉庫排気ファン)

(取付板にスペースあり)

※幹線No.は参考とする

※非常電源回路は使用禁止の旨を表示する

(使用時は自家発電設備の再計算を行うこと)

排気ファン×1 (100V 0.08kW 3.2A) 電源変更

改修前 [M-1B] No.17 AC-GC 100V

改修後 [L-1] 1.8 AC 100V

※既存回路No.は参考とする

倉庫A 回路変更

改修前 [L-1] 1 AC-GC 100V

改修後 [L-1] 1.8 AC 100V

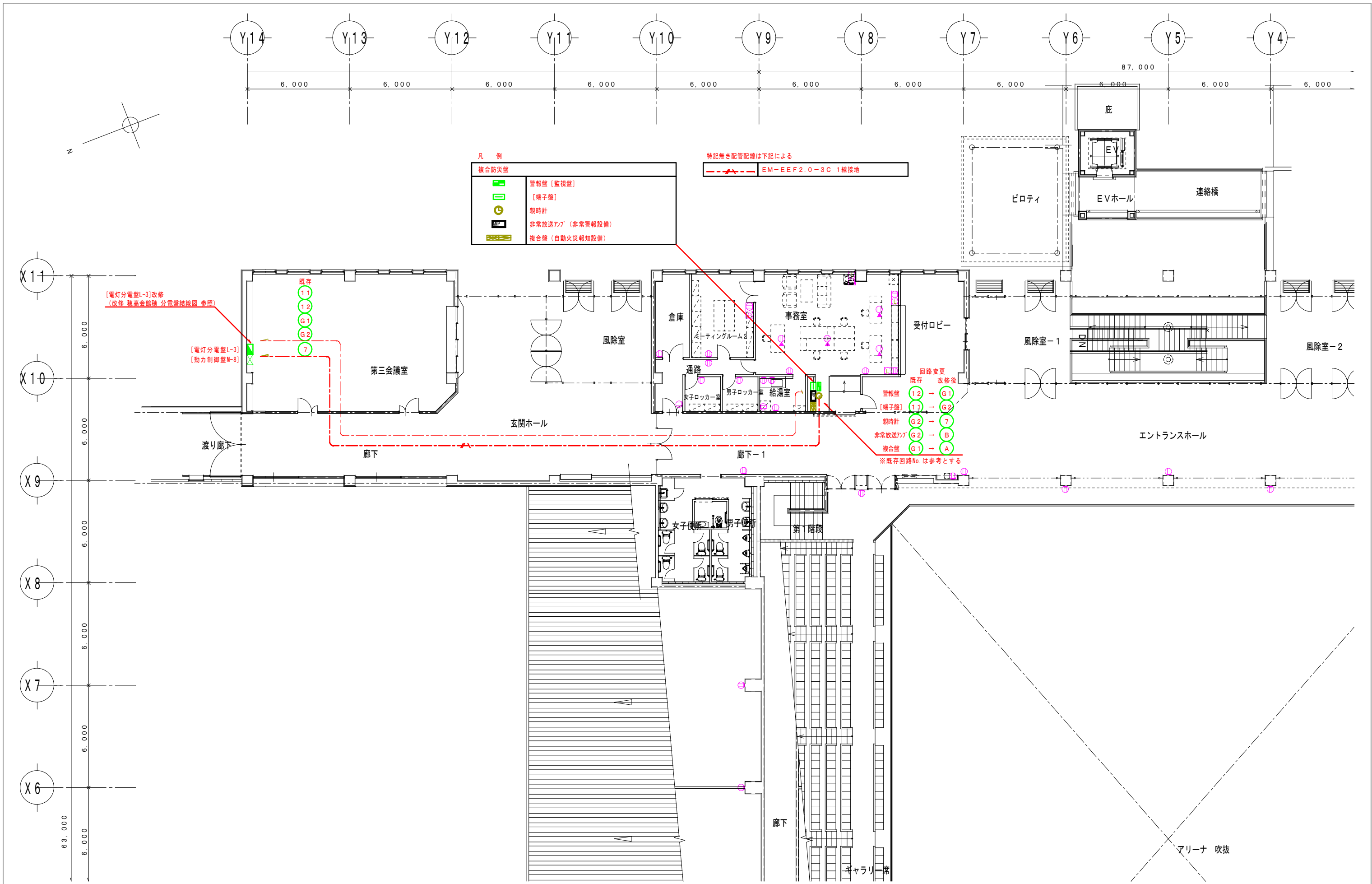
※既存回路No.および負荷は参考とする

倉庫A 回路変更

改修前 1 [L-1] AC-GC 100V

改修後 1.8 [L-1] AC 100V

※既存回路No.および負荷は参考とする



電気室 改修内容

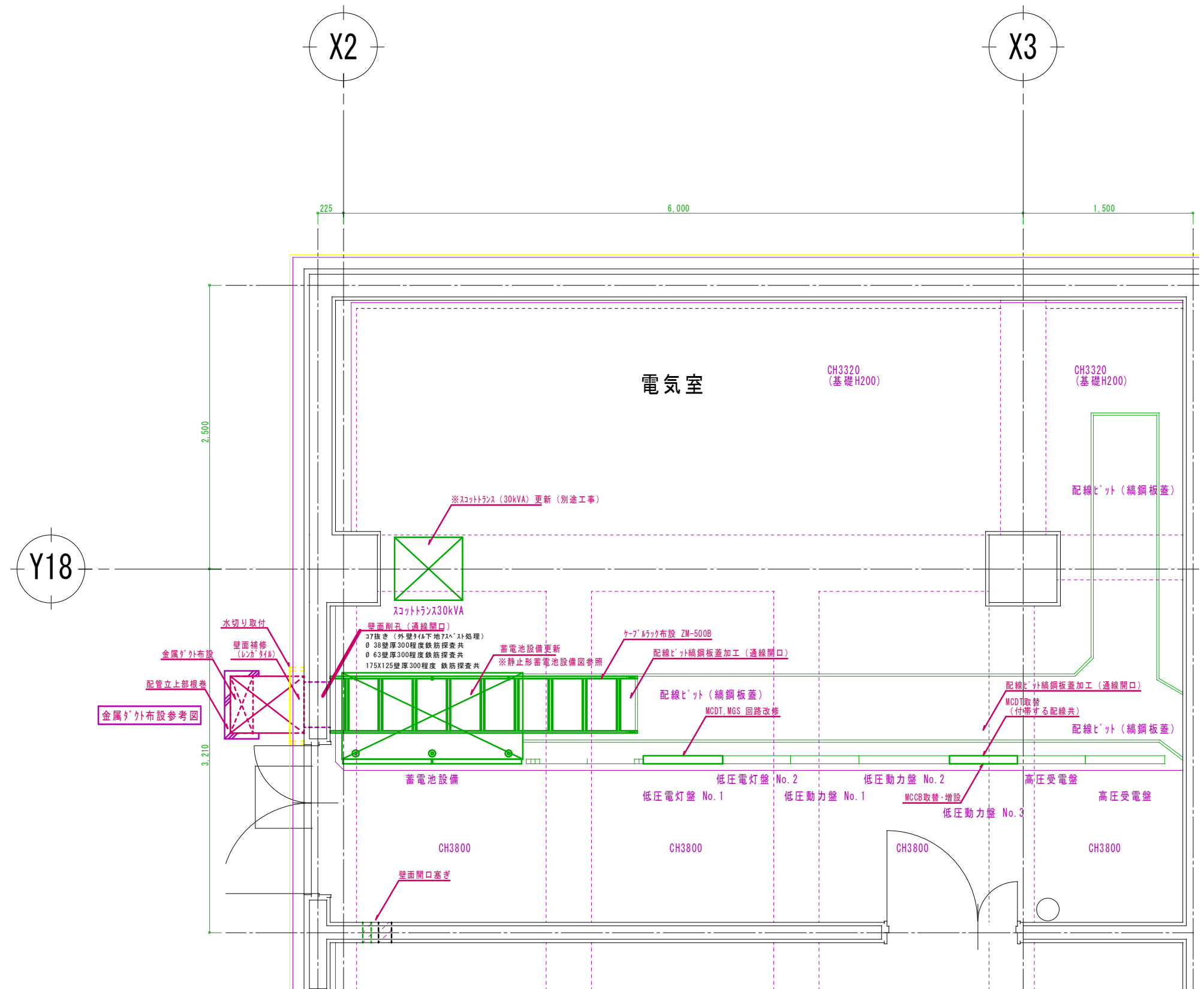
1. MCDTの取替え (付帯する配線共) ×1台
 2. MCCBの取替え×3台
 3. MCCBの増設×2台
 4. 低圧電灯盤No.1の改修×1式
 5. 自家発電設備～電気室間の、電線管、プルボックス、および配線の撤去、撤去あとの壁面開口塞ぎ (撤去図参照)
 6. 自家発電設備からの配線布設のための、ケーブルラックの布設、外壁の削孔、配線ピット綯鋼板蓋の開口×2箇所
 7. 静止形電源設備 (蓄電池設備) の更新
- ※ スコットトランスの更新は別途工事

電気室外壁部分 改修内容

- ・金属ダクト支持部分の、壁面レンガタイルの一部撤去、および水切りの一部撤去 (撤去図参照)
- ※ タイル撤去部分は、水切りの取付、および壁面の補修を行う

静止形電源設備 (蓄電池設備) 更新内容

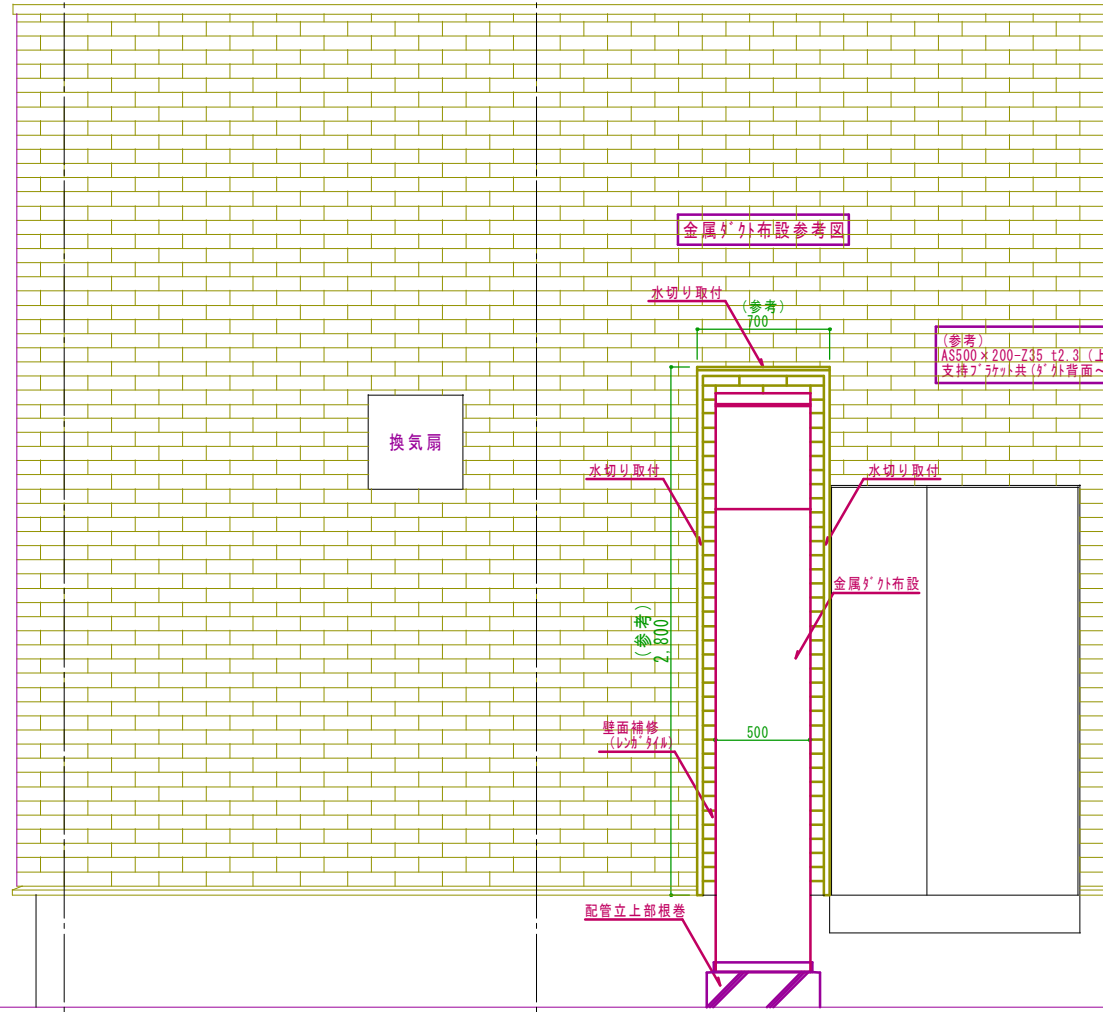
1. 更新の蓄電池設備仕様は、改修静止形電源設備仕様図 (1)、および (2) による。
2. 交流入力 (AC-GC 3φ3W200V) の既存配線は取替えを行う。
(幹線No. G37) ※ 電気室平面詳細図参照
3. 非常用照明入力 (AC-GC 1φ2W100V×2) 配線は再利用する。
(幹線No. G1、G3)
4. 非常用照明出力配線は再利用する。
5. 接地線は再利用する。
6. 既存の蓄電池設備は処分とする。
 - ・筐体 : W1600×H×1900×D800
 - ・下部ベース : W1600×H×50×D900
 - ・整流器 : 600kg
 - ・蓄電池 : 1,161kg (21.5kg×54)



Y18

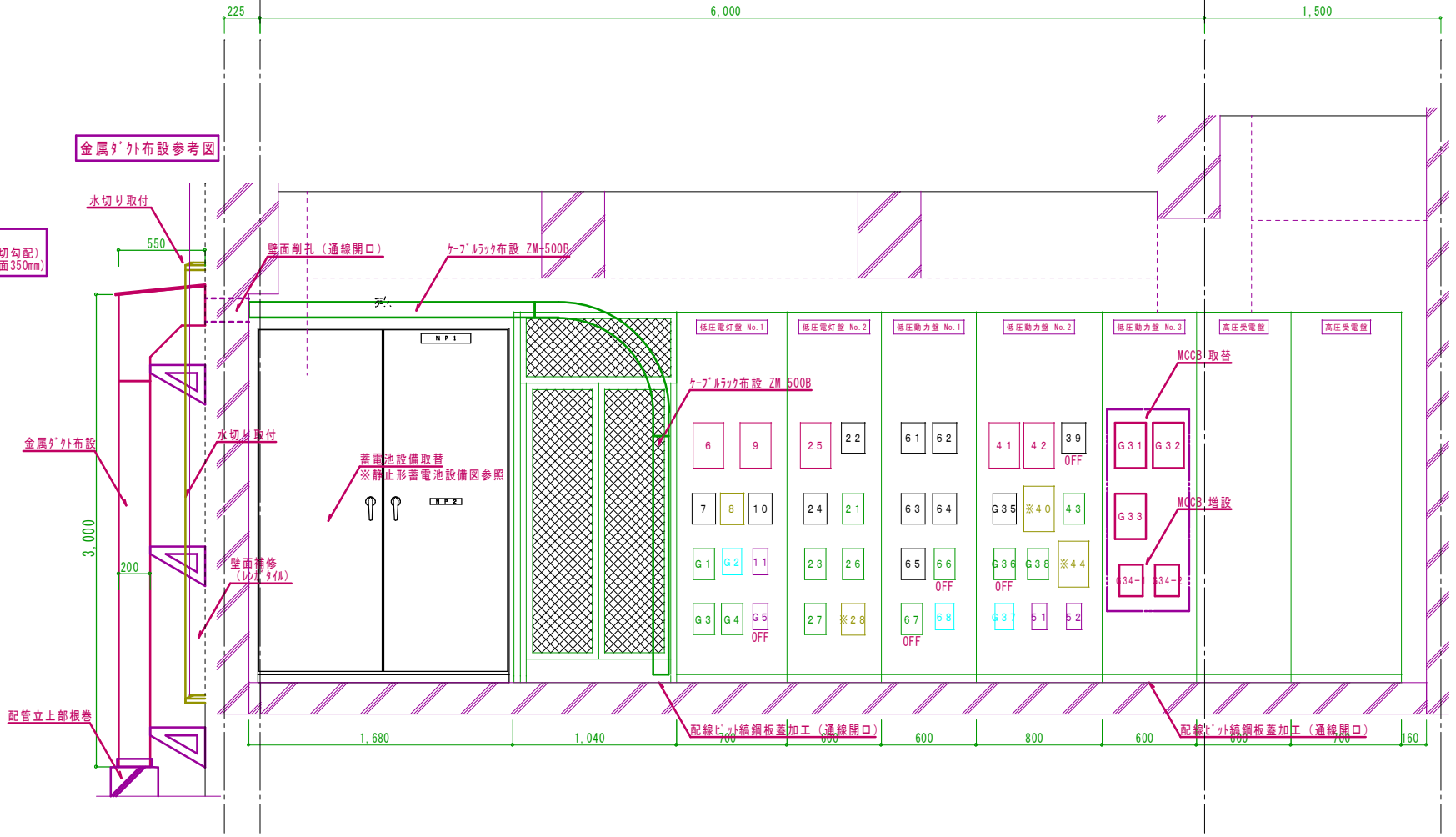
X2

X3



改修 電気室外壁 西立面図 1/20

※記載の寸法は参考とする。



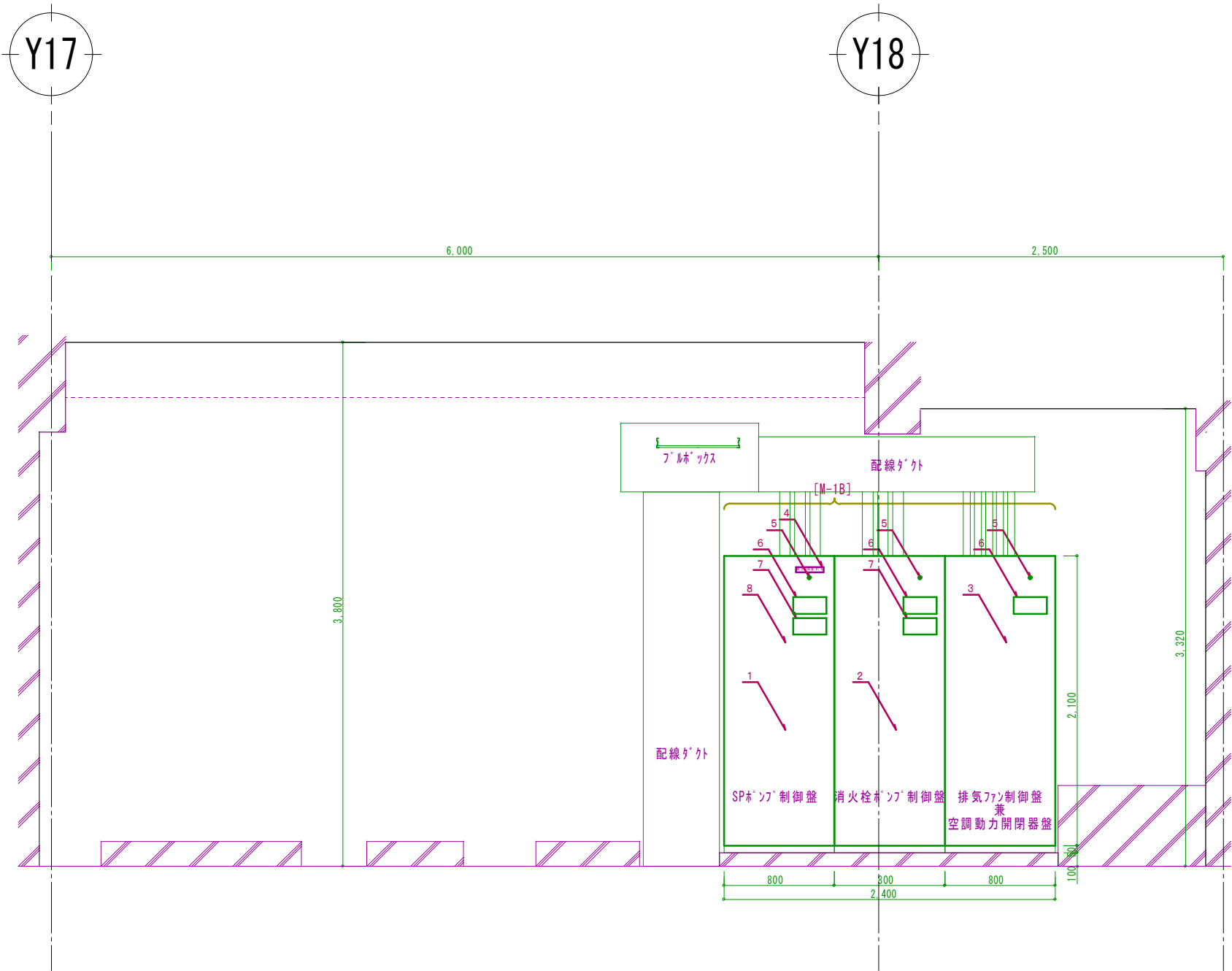
改修 電気室北展開図 (電気室盤前面・外部ダクト) 1/20

※記載の寸法は参考とする。

各制御盤 撤去・改修内容

1. SPポンプ (45kW) 制御盤内器および不要配線全撤去×1式
 ※警報配線は再利用
 ※筐体は残置
2. 消火栓ポンプ (45kW) 制御盤内器および不要配線全撤去×1式
 制御盤内部の消火栓始動装置×1台撤去
 ※始動装置配線および警報配線は再利用
 ※筐体は残置
3. 排煙ファン (0.1kW) 制御盤内器および不要配線全撤去×1式
 ※筐体は残置
 ※空調和設備動力回路の撤去は行わない
4. 盤銘板撤去×1枚
5. 電源表示灯撤去 (配線共) ×3個
 ・SL×1 (W)
 ※撤去あとはブラッキヤップ取付
6. 前面プレート撤去 (機器および配線共) ×3式
 ・AM×1
 ・SL×3 (G, R, O)
 ・BS×2
 ・CDS×1
 ※撤去あとはカバープレート (5連) 取付
7. 前面プレート撤去 (機器および配線共) ×2式
 ・SL×2 (W)
 ※撤去あとはカバープレート (5連) 取付
8. 制御盤内端子台取付 (10P×3個)
 ・新設既設配線相互結線 (消火栓起動用、警報用)

※不要配線は可能な限り撤去を行うこと。ただし撤去困難な部分においては、容易に点検可能な場所にて端末処理のうえ、旧用途を線名札等に明記し、不要配線に付しておくこと。



既存 機械室 西展開図 (動力制御盤前面) 1/20

※記載の寸法は参考とする。

低圧電灯盤 No.1 改修前

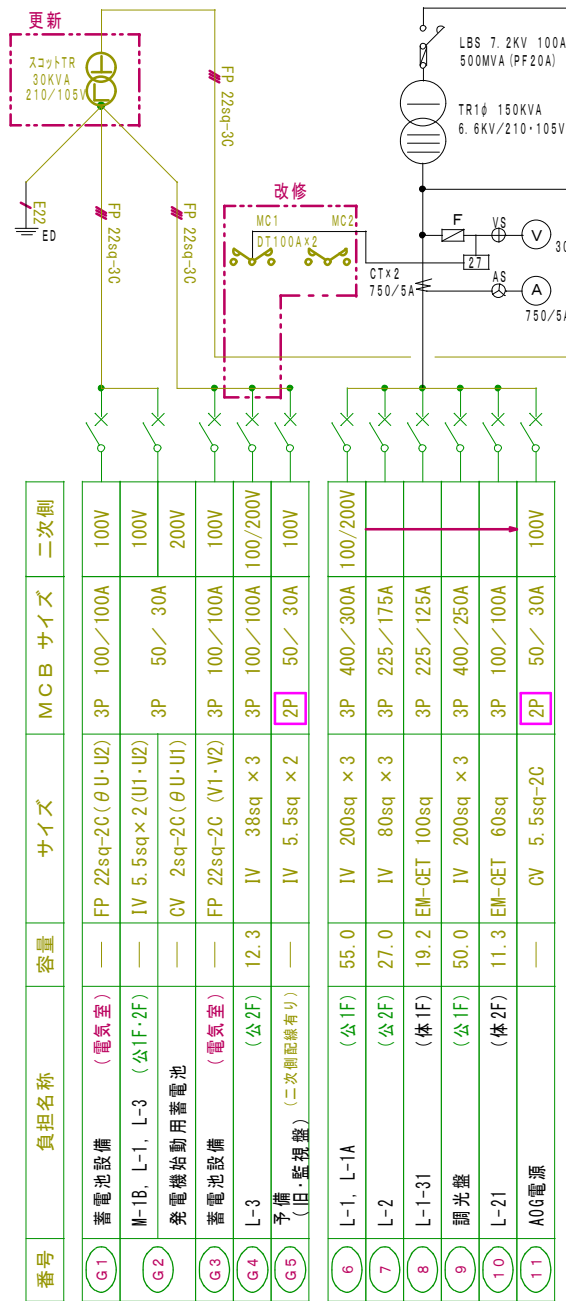
発電機回路 幹線No.G4 (L-3)の電源供給

状態	停電の有無	無し	無し	停電	停電
	火災の有無 (消防ポンプ運転の有無)	無し	火災 (ポンプ運転)	無し	火災 (ポンプ運転)
電源	商用 単相150kVAトランス ※1	/	/	/	/
	商用 三相200kVAトランス ※2	○	○	/	/
	自家発電設備 ※3	/	/	○	○

※ ○印の付いたものが現状を示す。
 ※1 商用 単相150kVAトランス → 幹線No.G4(L-3)
 ※2 商用 三相200kVAトランス → ストックトランス → 幹線No.G4(L-3)
 ※3 自家発電設備 → ストックトランス → 幹線No.G4(L-3)

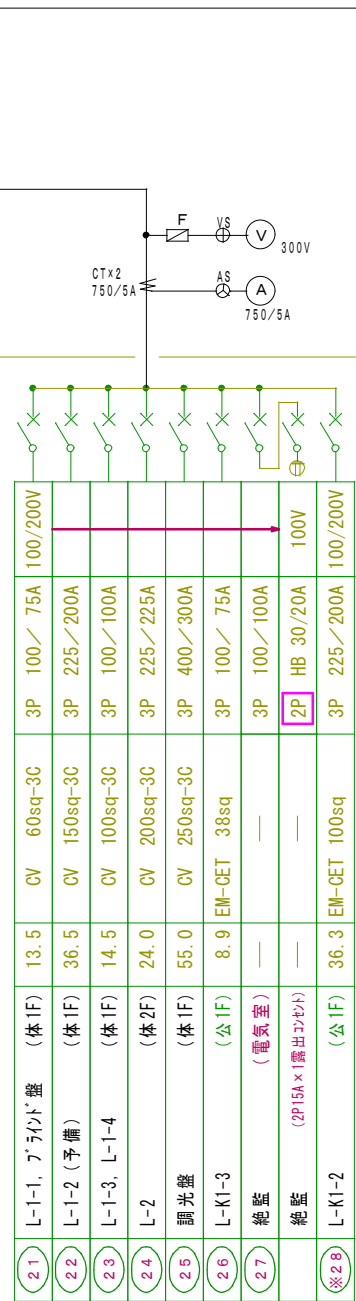
凡例

G**	自家発電設備回路 (G回路)
**	受変電設備低圧盤面に回路No.記載無し
OFF	ブレーカーOFF回路



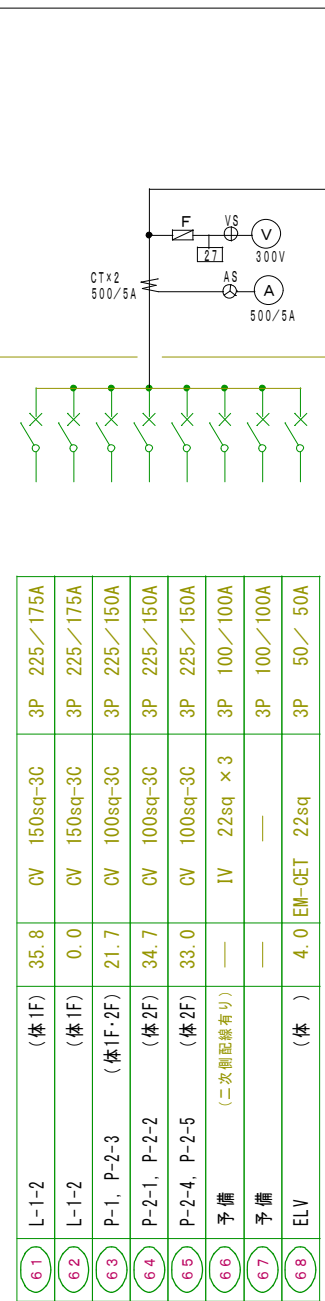
番号	負担名称	容量	サイズ	MCB サイズ	二次側
G1	蓄電池設備 (電気室)	—	FP 22sq-2C (θU-U2)	3P 100/100A	100V
G2	M-1B, L-1, L-3 (公1F・2F)	—	1V 5.5sq x 2 (U1-U2)	3P 50/30A	100V
G3	発電機始動用蓄電池	—	CV 2sq-2C (θU-U1)	—	200V
G4	蓄電池設備 (電気室)	—	FP 22sq-2C (V1-V2)	3P 100/100A	100V
G5	L-3 (公2F)	12.3	IV 38sq x 3	3P 100/100A	100/200V
G6	予備 (旧・監視盤) (二次側配線有り)	—	IV 5.5sq x 2	2P 50/30A	100V
G7	L-1, L-1A (公1F)	55.0	IV 200sq x 3	3P 400/300A	100/200V
G8	L-2 (公2F)	27.0	IV 80sq x 3	3P 225/175A	—
G9	L-1-31 (体1F)	19.2	EM-OET 100sq	3P 225/125A	—
G10	調光盤 (公1F)	50.0	IV 200sq x 3	3P 400/250A	—
G11	L-21 (体2F)	11.3	EM-OET 60sq	3P 100/100A	—
G12	AOG電源	—	CV 5.5sq-2C	2P 50/30A	100V

低圧電灯盤 No.1



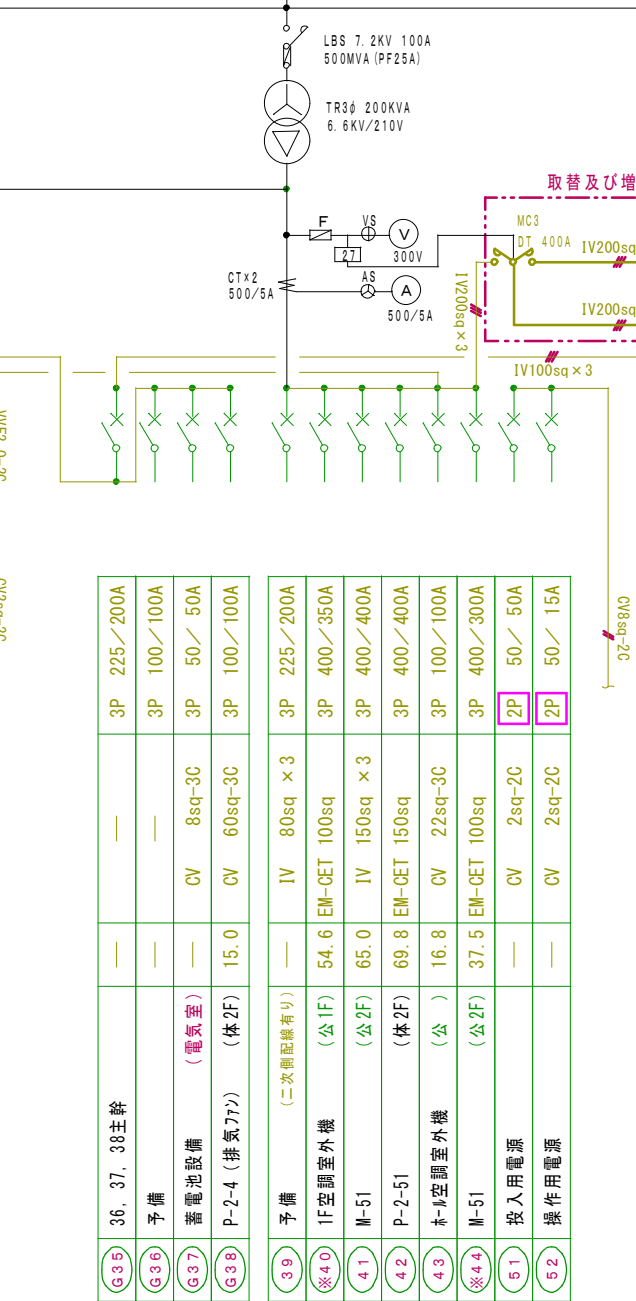
G21	L-1-1, 7'ライト'盤 (体1F)	13.5	CV 60sq-3C	3P 100/75A	100/200V
G22	L-1-2 (予備) (体1F)	36.5	CV 150sq-3C	3P 225/200A	—
G23	L-1-3, L-1-4 (体1F)	14.5	CV 100sq-3C	3P 100/100A	—
G24	L-2 (体2F)	24.0	CV 200sq-3C	3P 225/225A	—
G25	調光盤 (体1F)	55.0	CV 250sq-3C	3P 400/300A	—
G26	L-K1-3 (公1F)	8.9	EM-OET 38sq	3P 100/75A	—
G27	絶電 (電気室)	—	—	3P 100/100A	100V
G28	絶電 (2P15A x 1露出コンセント)	—	—	HB 30/20A	100V
G29	L-K1-2 (公1F)	36.3	EM-OET 100sq	3P 225/200A	100/200V

低圧電灯盤 No.2



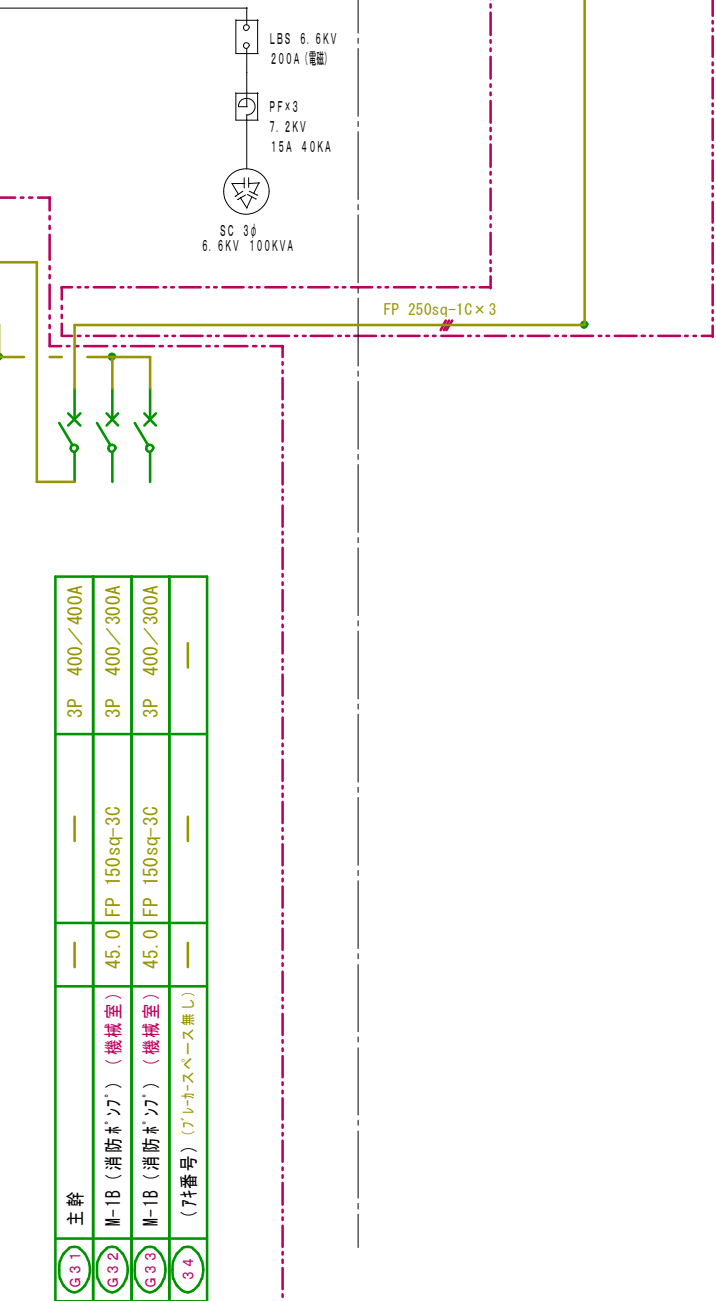
G31	L-1-2 (体1F)	35.8	CV 150sq-3C	3P 225/175A	—
G32	L-1-2 (体1F)	0.0	CV 150sq-3C	3P 225/175A	—
G33	P-1, P-2-3 (体1F・2F)	21.7	CV 100sq-3C	3P 225/150A	—
G34	P-2-1, P-2-2 (体2F)	34.7	CV 100sq-3C	3P 225/150A	—
G35	P-2-4, P-2-5 (体2F)	33.0	CV 100sq-3C	3P 225/150A	—
G36	予備 (二次側配線有り)	—	IV 22sq x 3	3P 100/100A	—
G37	予備	—	—	3P 100/100A	—
G38	ELV (体)	4.0	EM-OET 22sq	3P 50/50A	—

低圧動力盤 No.1



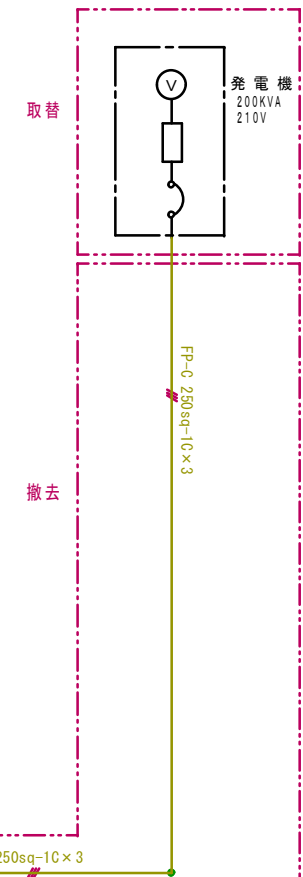
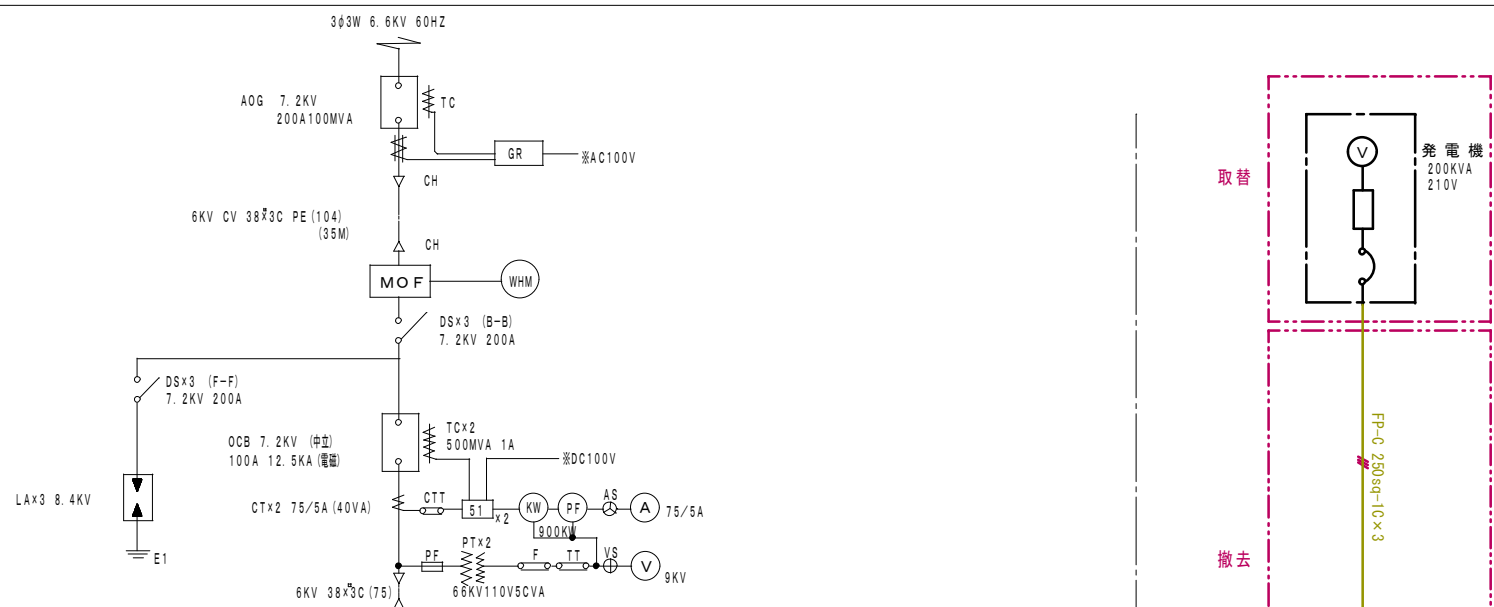
G39	36, 37, 38 主幹 予備	—	—	3P 225/200A	—
G40	蓄電池設備 (電気室)	—	—	3P 100/100A	—
G41	P-2-4 (排気777) (体2F)	15.0	CV 60sq-3C	3P 100/100A	—
G42	予備 (二次側配線有り)	—	IV 80sq x 3	3P 225/200A	—
G43	1F空調室外機 (公1F)	54.6	EM-OET 100sq	3P 400/350A	—
G44	M-51 (公2F)	65.0	IV 150sq x 3	3P 400/400A	—
G45	P-2-51 (体2F)	69.8	EM-OET 150sq	3P 400/400A	—
G46	ホ-控室調室外機 (公)	16.8	CV 22sq-3C	3P 100/100A	—
G47	M-51 (公2F)	37.5	EM-OET 100sq	3P 400/300A	—
G48	投入用電源	—	CV 2sq-2C	2P 50/50A	—
G49	操作用電源	—	CV 2sq-2C	2P 50/15A	—

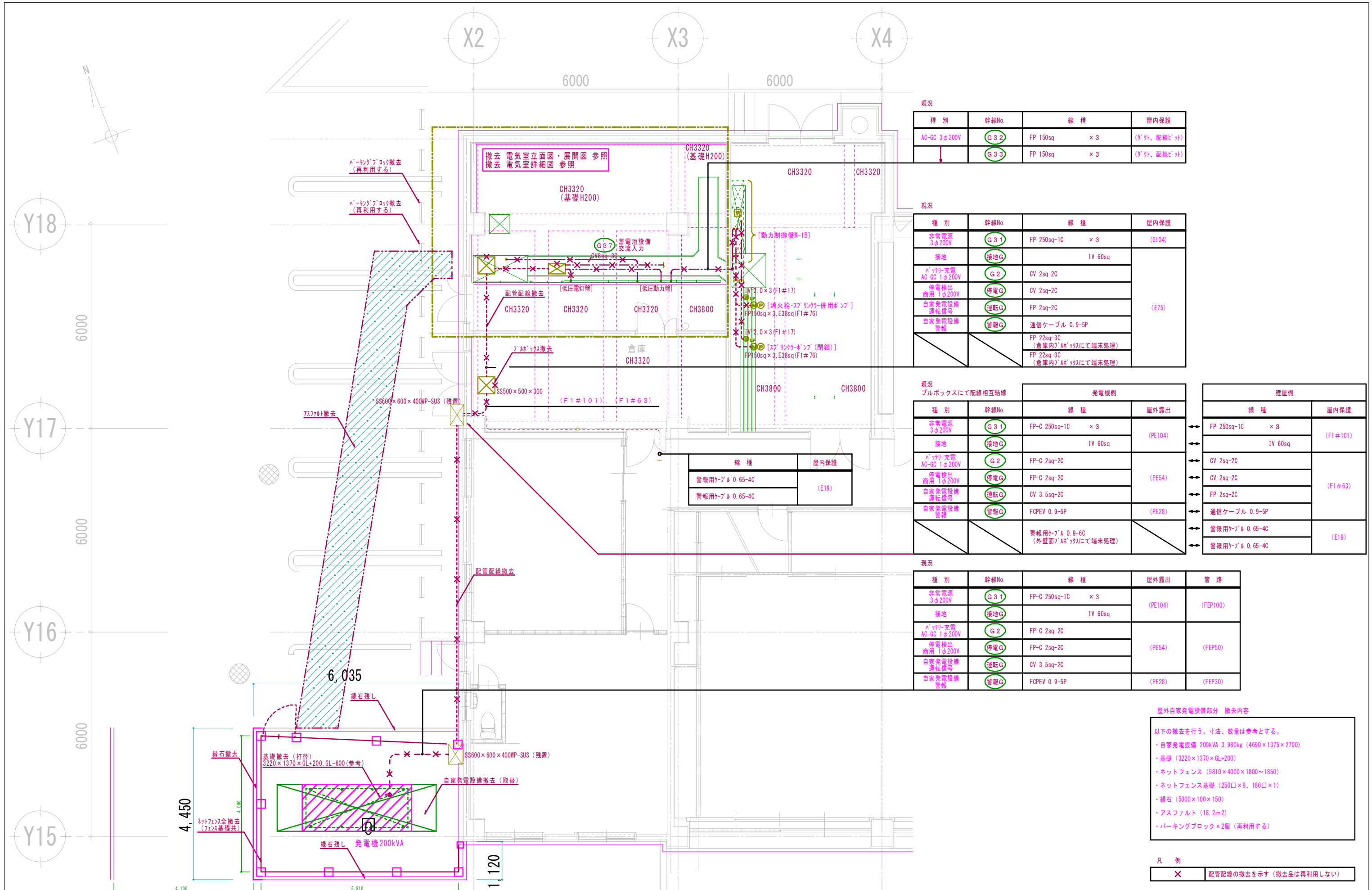
低圧動力盤 No.2



G50	主幹	—	—	3P 400/400A	—
G51	M-1B (消防ポンプ) (機械室)	45.0	FP 150sq-3C	3P 400/300A	—
G52	M-1B (消防ポンプ) (機械室)	45.0	FP 150sq-3C	3P 400/300A	—
G53	(777番号) (ア-レスベース無し)	—	—	—	—

低圧動力盤 No.3





現況

種別	幹線No.	線種	屋内保護
AC-GC 3φ200V	G32	FP 150sq × 3	(ダクト、配線ボックス)
	G33	FP 150sq × 3	(ダクト、配線ボックス)

現況

種別	幹線No.	線種	屋内保護
非常電源 3φ200V	G31	FP 250sq-1C × 3	(G104)
接地	接地G	IV 60sq	(E75)
バックアップ AC-GC 1φ200V	G2	CV 2sq-2C	
停電検出 商用 1φ200V	停電G	CV 2sq-2C	
自家発電設備 運転信号	運転G	FP 2sq-2C	
自家発電設備 警報	警報G	通信ケーブル 0.9-5P	

現況
プルボックスにて配線相互結線

種別	幹線No.	線種	屋外露出	建屋側
非常電源 3φ200V	G31	FP-C 250sq-1C × 3	(PE104)	FP 250sq-1C × 3
接地	接地G	IV 60sq		IV 60sq (F1#101)
バックアップ AC-GC 1φ200V	G2	FP-C 2sq-2C	(PE54)	CV 2sq-2C
停電検出 商用 1φ200V	停電G	FP-C 2sq-2C		CV 2sq-2C (F1#63)
自家発電設備 運転信号	運転G	CV 3.5sq-2C	(PE28)	FP 2sq-2C
自家発電設備 警報	警報G	FCPEV 0.9-5P		通信ケーブル 0.9-5P
		警報用ケーブル 0.9-6C (外壁面) 結束にて端処理		警報用ケーブル 0.65-4C (E19)

現況

種別	幹線No.	線種	屋外露出	管路
非常電源 3φ200V	G31	FP-C 250sq-1C × 3	(PE104)	(FEP100)
接地	接地G	IV 60sq		
バックアップ AC-GC 1φ200V	G2	FP-C 2sq-2C	(PE54)	(FEP50)
停電検出 商用 1φ200V	停電G	FP-C 2sq-2C		
自家発電設備 運転信号	運転G	CV 3.5sq-2C	(PE28)	(FEP30)
自家発電設備 警報	警報G	FCPEV 0.9-5P		

屋外自家発電設備部分 撤去内容

以下の撤去を行う。寸法、数量は参考とする。

- 自家発電設備 200kVA 3,980kg (4690×1375×2700)
- 基礎 (3220×1370×GL+200)
- ネットフェンス (5810×4000×1800~1850)
- ネットフェンス基礎 (250口×9、180口×1)
- 緑石 (5000×100×150)
- アスファルト (18.2m²)
- パーキングブロック×2個 (再利用する)

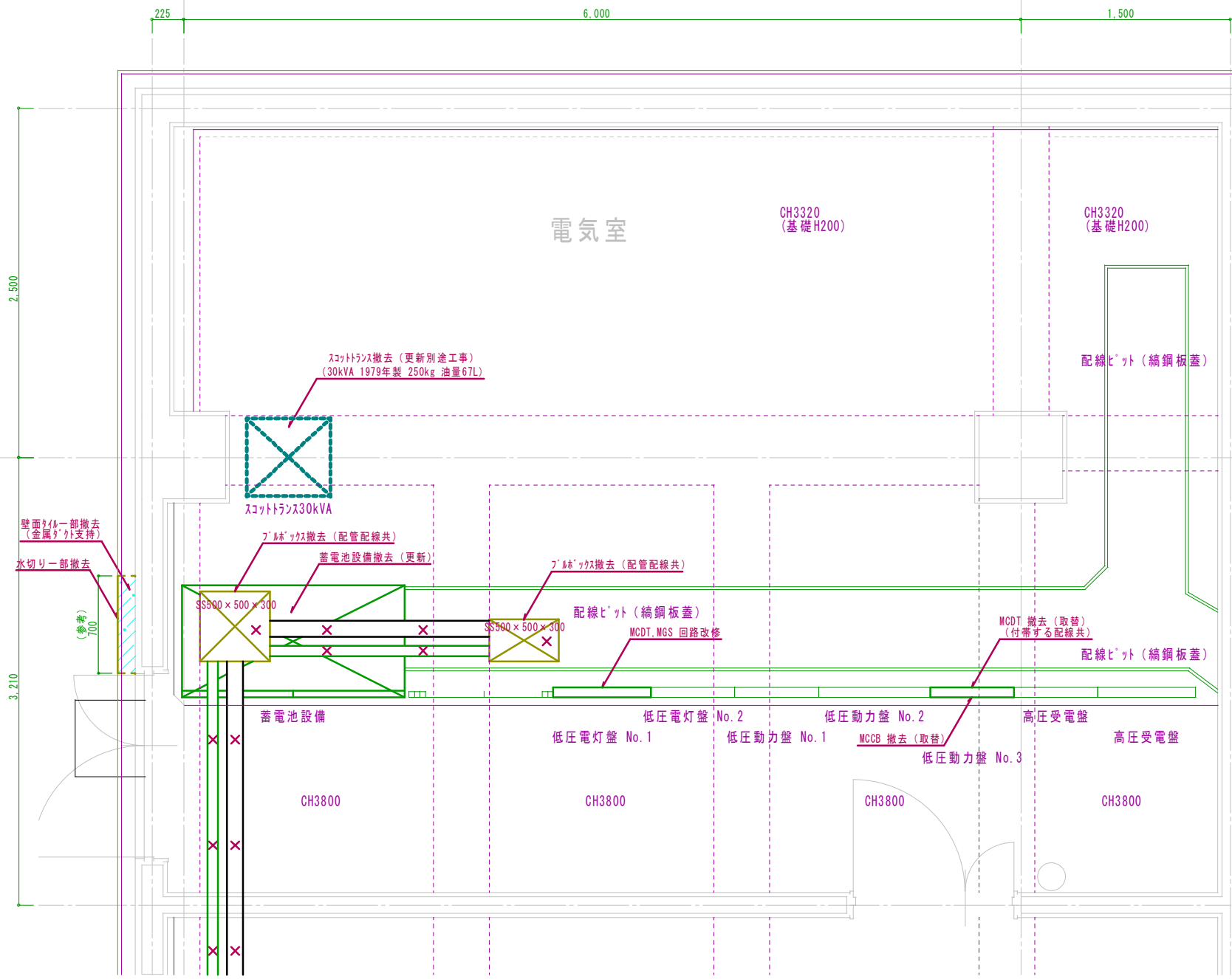
凡例

✕ 配管配線の撤去を示す (撤去品は再利用しない)

X2

X3

Y18



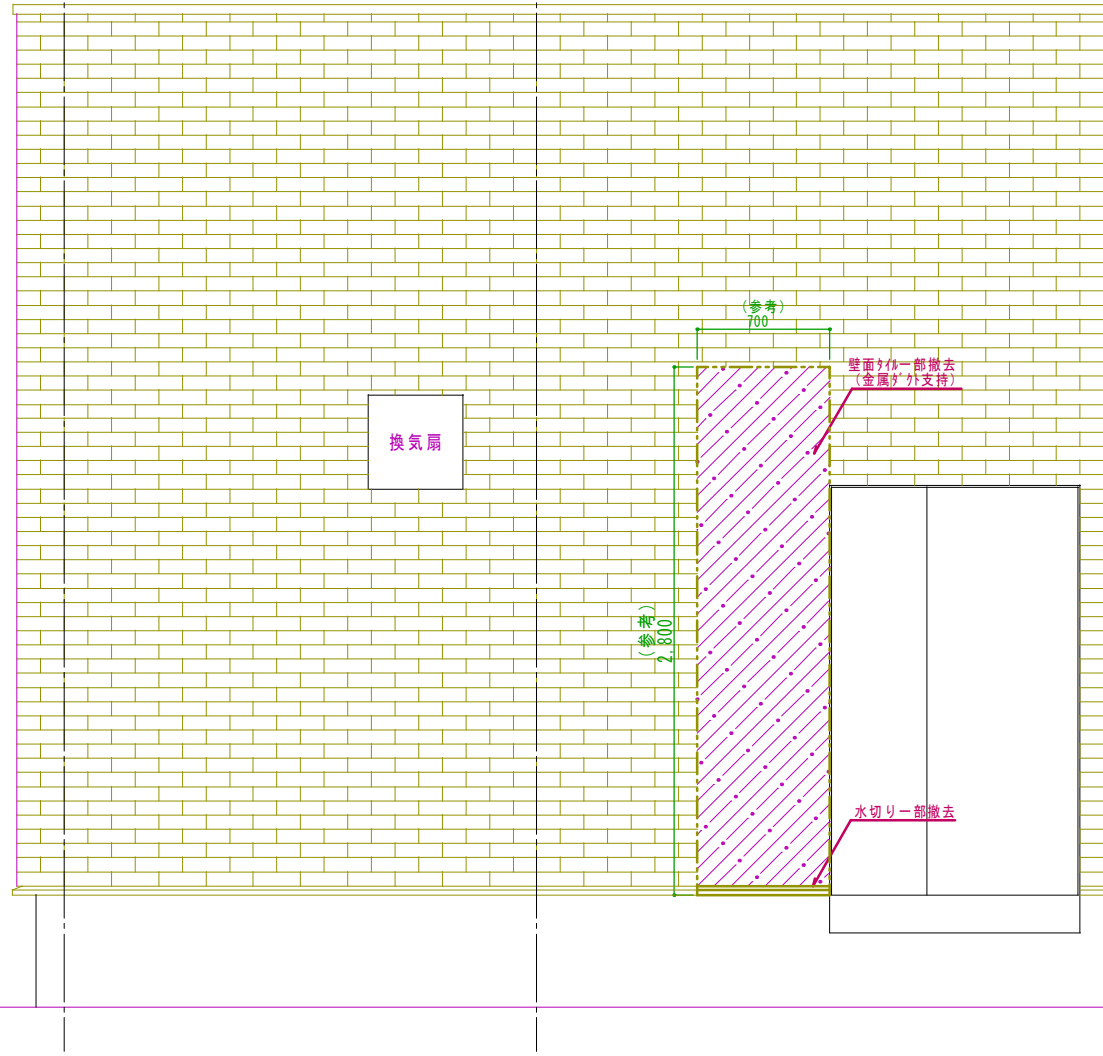
電気室 撤去内容

・電気室の撤去および改修内容の詳細は、改修電気室平面詳細図を参照のこと。

凡 例

✕ 配管配線の撤去を示す (撤去品は再利用しない)

Y18



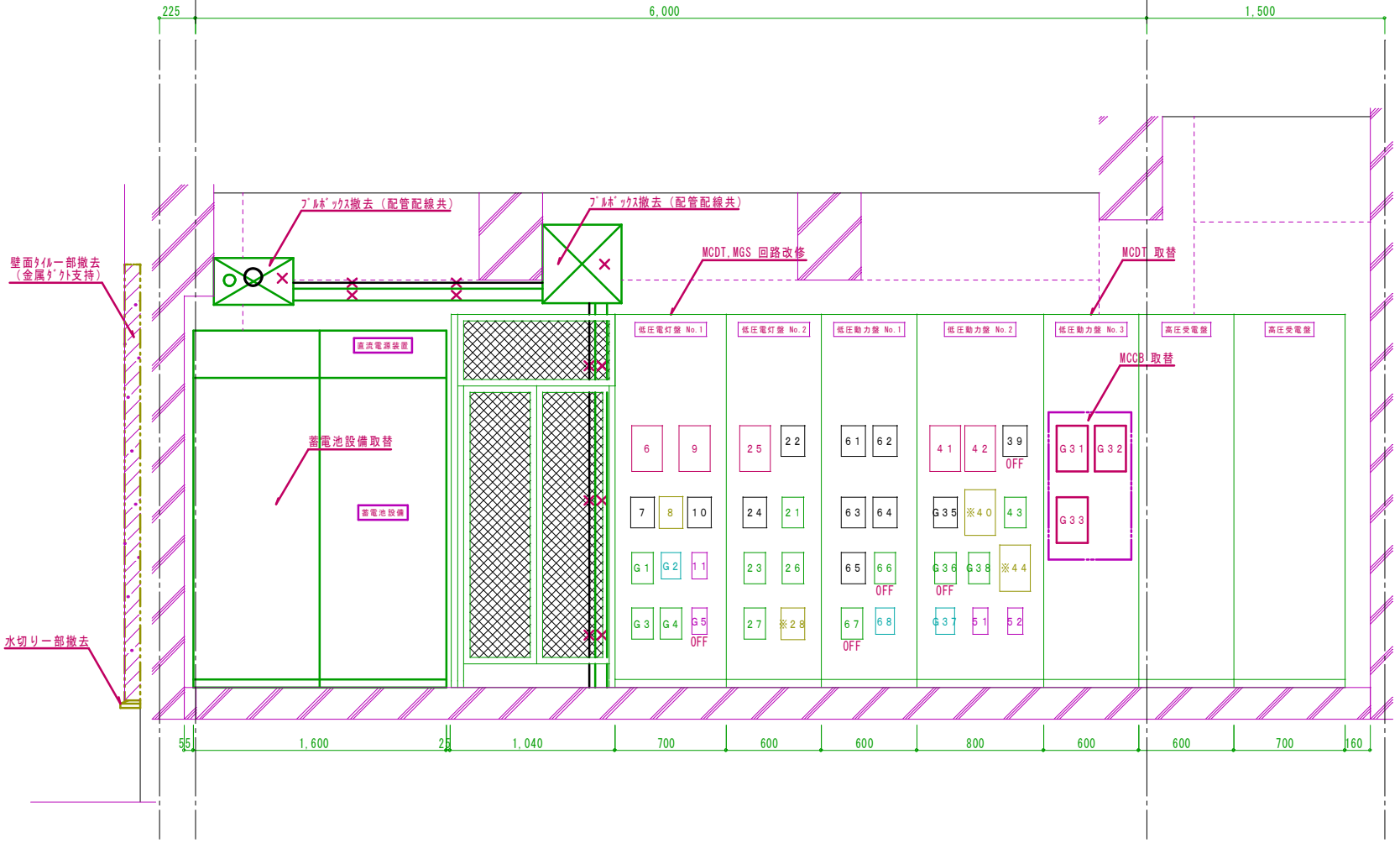
既存 電気室外壁 西立面図 1/20

※記載の寸法は参考とする。

凡 例
 × 配管配線の撤去を示す (撤去品は再利用しない)

X2

X3



既存 電気室北展開図 (電気室盤前面・外部ダクト) 1/20

※記載の寸法は参考とする。

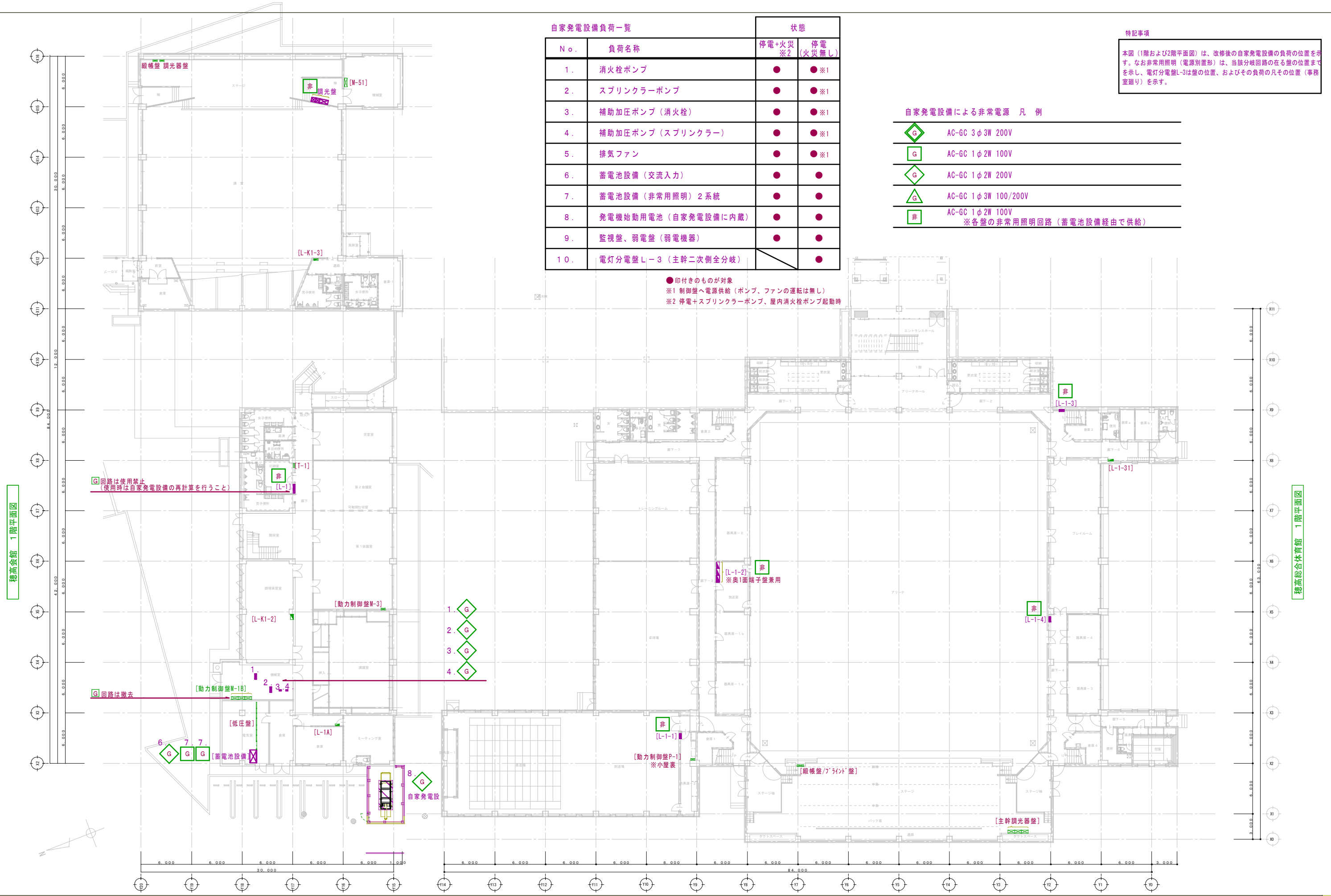
自家発電設備負荷一覧		状態	
No.	負荷名称	停電+火災 ※2	停電 (火災無し)
1.	消火栓ポンプ	●	●※1
2.	スプリンクラーポンプ	●	●※1
3.	補助加圧ポンプ (消火栓)	●	●※1
4.	補助加圧ポンプ (スプリンクラー)	●	●※1
5.	排気ファン	●	●※1
6.	蓄電池設備 (交流入力)	●	●
7.	蓄電池設備 (非常用照明) 2系統	●	●
8.	発電機始動用電池 (自家発電設備に内蔵)	●	●
9.	監視盤、弱電盤 (弱電機器)	●	●
10.	電灯分電盤 L-3 (主幹二次側全分岐)		●

自家発電設備による非常電源 凡例

◇G	AC-GC 3φ3W 200V
□G	AC-GC 1φ2W 100V
◇G	AC-GC 1φ2W 200V
△G	AC-GC 1φ3W 100/200V
□非	AC-GC 1φ2W 100V ※各盤の非常用照明回路 (蓄電池設備経由で供給)

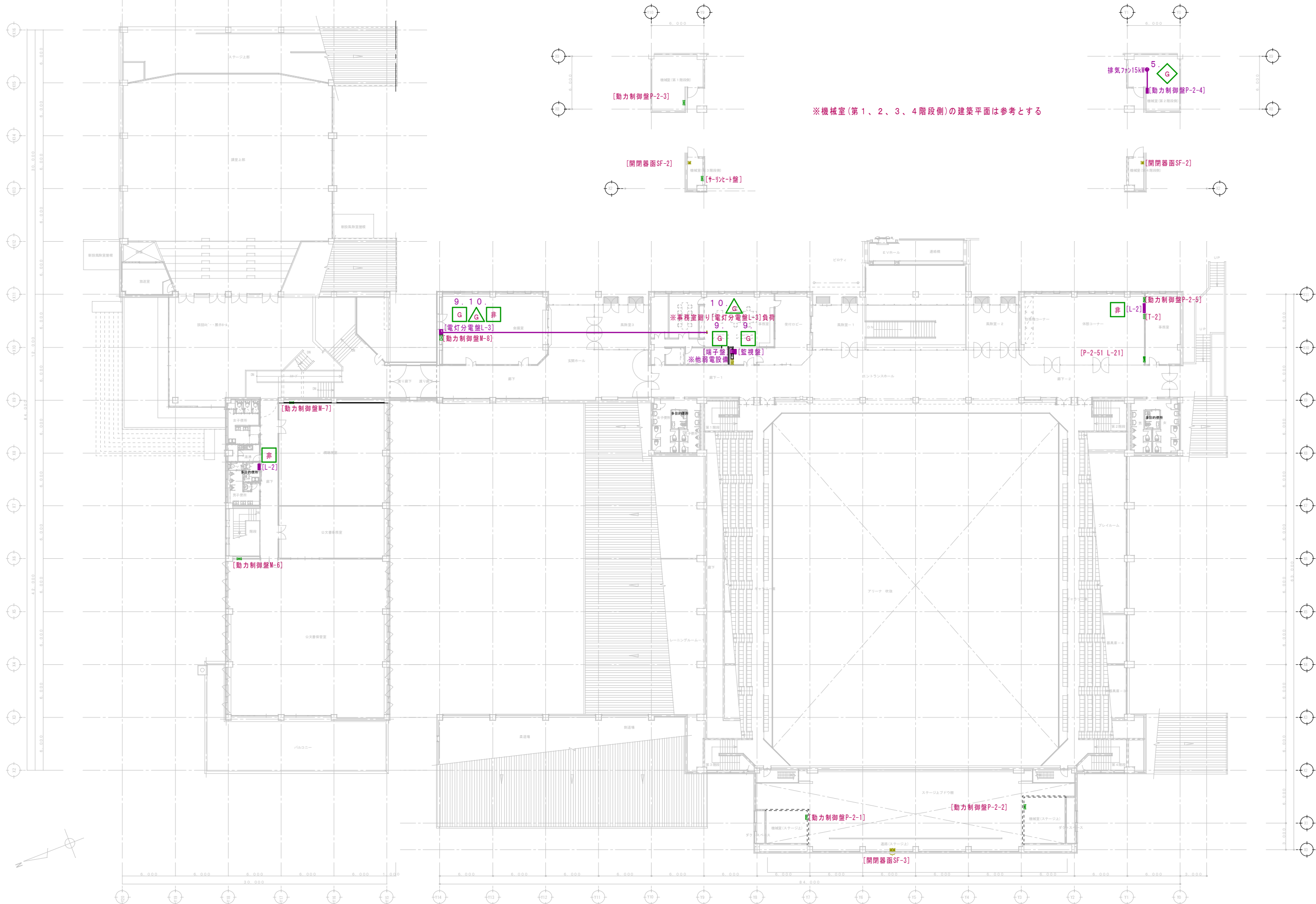
特記事項
本図 (1階および2階平面図) は、改修後の自家発電設備の負荷の位置を示す。なお非常用照明 (電源別配置) は、当該分岐回路の在る盤の位置までを示し、電灯分電盤L-3は盤の位置、およびその負荷の凡その位置 (事務室廻り) を示す。

●印付きのものが対象
※1 制御盤へ電源供給 (ポンプ、ファンの運転は無し)
※2 停電+スプリンクラーポンプ、屋内消火栓ポンプ起動時



穂高会館 2階平面図

穂高総合体育館 2階平面図



※機械室(第1、2、3、4階段側)の建築平面は参考とする

※機械室(第1、2、3、4階段側)の建築平面は参考とする

機械設備工事

I. 工事概要

1. 工事場所 長野県安曇野市穂高5047番地

2. 建物概要

建物名称	工事種別	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法施行令別表第一	耐震分類	備考
穂高会館	改修工事	SRC	2階				

3. 工事種目(●印を付けたものを適用する)

工事種目	建物別	工事内容				
		内	外	内	外	内
○ 空気調和設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 冷暖房設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 暖房設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 換気設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 排煙設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 自動制御設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 衛生器具設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 給水設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 排水設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 給湯設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 消火設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ ガス設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 給油設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 厨房機器設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 実験装置器具設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 浄化槽設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
● スプリンクラー設備	● 一式(一部)					● 一式

4. 設備概要(○印を付けたものを適用する)

方法及び種別	設備概要
空調方式	・
冷暖房方式	・
暖房方式	・ 温風暖房 ・ 温水暖房 ・ FF暖房
換気方式	・ 局所換気
給水方式	・ 水道直結式 ・ 加圧式 ・ 高置タンク式(・上水 ・ 井水)
排水方式	・ 建物内汚水、雑排水(・分流 ・ 合流) ・ 建物外汚水、雑排水(・分流 ・ 合流) ・ 浄化槽(・合併 ・ 単独) ・ 放流先 ・ 公共下水
消火設備の種類別	・ 屋内消火栓設備 ・ 消火器 ○ スプリンクラー配管
ガスの種別	・ 都市ガス(発熱量 KJ/Nm ³ 、供給事業者名:) ・ 液化石油ガス(発熱量 100,000 KJ/Nm ³)

5. 指定部分・無・有(指定部分しゅん工期限平成年月日)

対象部分:

II. 図面目録

番号	図面名称	番号	図面名称
1	※図面リスト参照	14	
2		15	
3		16	
4		17	
5		18	
6		19	
7		20	
8		21	
9		22	
10		23	
11		24	
12		25	
13		26	

III. 工事仕様

1. 共通仕様

- 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁事務部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。), 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。), 及び「公共建築設備工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。)による。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。
参考図書
●安曇野市建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)安曇野市企画財政部監修
- 特記仕様
(1)章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。

章	項目	特記事項
①	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。
②	機材の品質・性能証明	使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有するとの証明となる資料(以下、「品質性能証明資料」という。)を提出して監督職員の承認を受ける。(標準仕様書第1編第4部1.4.2)ただし、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製作図、試験成績書等は除く。
③	使用材料発注先調査	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調査を作成し、監督職員の承認を受ける。
④	施工条件明示項目	・公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」

⑥ 化学物質を発生する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1)合板、木質系フローリング、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
2)保温材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難燃性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
5)上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該当する建築材料
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品	
②建築基準法施行令第20条のF☆☆☆☆規格品	
③下記表示のあるJAS規格品	
a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用	
b 接着剤等不使用	
c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用	
d ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	
e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用	
f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	

規制対象外
第3種
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条のF☆☆☆☆規格品
③IBJISのE0規格品
④IBJASのF00規格品

飲料水管系に使用されているベーストール樹脂系は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程で使用されていないこと。
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラヒドロカン、クロロピリオス、フェノカルブ、ダイアジジン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
電気保安技術者を設置する。
○配管(1. 2) ・ 冷凍空調配管(1. 2) ・ 熱絶縁(1. 2) ・ 建築板金(1. 2)
○設けない ・ 設ける
この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
○別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で負担する。
・ 改修機械設備標準仕様書第1編2. 2. 1によるほか下記による。
・ 内部仮設足場等(・ 種 ・ 種)
資材の保管は必ず屋根をかけた高さ30cm以上の架台に乗せる。
・ 監督員が指示する構内の場所に敷ならし ・ 構内指定場所にたい積 ・ 構外搬出適切処理
・ 根切中の良質土(ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂) ・ 山砂の類
根切中の山留め ・ 有() ・ 無
工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工期には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。
(1)引渡しを要するもの ・ 無 ・ 有()
(2)引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。
(3)特別管理産業廃棄物 ・ 無 ・ 有()
(4)再利用又は再生資源化を図るもの(コンクリート塊、7x7x7塊、木くず、金属くず、塩ビ管、)標準仕様書第1編1. 7. 4によるほか、パルプ類等には必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線等で取付ける。

機器等の取り扱方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板(アクリル樹脂製、文字形込み程度)を設ける。大きさは、約 []mmとする。
・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度測定 ・ 騒音測定
・ 飲料水の水质の測定(・ 水質基準検査10項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度) ・ トルエン)
飲料水の水质の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。
(1)機器等の能力、容量等は、表示された数値以下とする。
(2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。
耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備新設設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。
(1)設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量)に、次に示す地域係数及び設計用標準水平加速度を乗じたものとする。地域係数は1. 0とする。

設置場所	耐震安全性の分類			
	・特定の施設(甲種・乙種)	一般機器	重要機器	一般機器
上階層、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	(2. 0)	(2. 0)	(2. 0)	(1. 5)
中間層	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	(1. 5)	(1. 0)	(1. 0)	(1. 0)
地下階、一階	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	(1. 0)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)
	(1. 5)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)

(注) 1. () 内の数値は耐震支持の機器の場合に適用する。
2. () 内の数値は水槽類に適用する。
3. 上層層の定義は次による。
2〜6階建以下の場合是最上階、7〜9階建の場合は上層2階
重要機器とは下記に示すものをいう。
・ 給水装置、排水装置、換気機器、空調機器、防災設備、監視制御設備、危険物貯蔵装置
・ 火を使用する設備、避難経路上に設置する機器
・ 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
機械改修工事標準仕様書第5編5章による。
・ 性能確認試験() ・ 施工後確認試験() ・ 確認強度 []kN
吊金物は重鉛メッキ又はステンレス鋼製とする
給水、給湯、消火、冷温水、冷却水等は、図示による水抜きが確実にできるような水抜き位置に向かって下部勾配とする。
コンクリート内の鋼管、給管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2巻ね1回巻きとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼棒等により沈下防止措置をする。
土中埋設管(排水含む)は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。
給水管、消火管の埋設深さは []mmとする。又、ガス管の埋設深さは []mmとする。

- ⑦ 電気保安技術者
- ⑧ 技能士の適要
- ⑨ 監督員事務所
- ⑩ 工事用電力・用水等
- ⑪ 足場・さん橋類
- ⑫ 資材の保管
- 13 建設発生土
- 14 埋め戻し土・盛土
- 15 山留養生
- ⑬ 発生材処理
- ⑭ 文字入名札等
- ⑮ 取扱説明板
- ⑯ 総合調整
- 20 容量等の表示
- 21 耐震措置

27 管の埋設表示

28 接続部の非破壊検査
29 塗装
30 機器の基礎及び振動絶縁効果
31 電線類
32 はつり
33 保温及び消音内貼り

機器	基礎	振動絶縁効果
送風機	・ 標準基礎 ・ 防振基礎	・ %以上
空調用ポンプ及びボイラー給水ポンプ	・ 標準基礎 ・ 防振基礎	・ 80%以上
排水ポンプ及び小形給水ポンプユニット	・ 標準基礎 ・ 防振基礎	・ 80%以上

図示された屋外埋設管の分岐及び曲がり箇所には、コンクリート製埋設管を埋め込む。舗装部分は埋設管と同等とする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。
排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。
取付部は図示による。
検査の種類 ・ RT ・ PT又はMT
下記の金属電線管は塗装を行う。
・ 屋外露出 () の屋内露出
下記の保温を行わない垂鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。
・ 倉庫

区分	保温	外装
倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・
機械室	・ アルミガラスクロス	・
居室・廊下など	・ カラー亜鉛鉄板	・
屋外露出、多湿箇所	・ ステンレス鋼板	・

配管の保温外装は下表による。
※配管は、冷媒管は除く。
・ 冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化ケースは塩化ビニール樹脂製とする。
区分 保温 外装
屋内露出 ・ 織布 ・ 保温化ケース
屋外露出 ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化ケース
※配管は、冷媒管は除く。
・ 冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化ケースは塩化ビニール樹脂製とする。
区分 保温 外装
屋内露出 ・ 織布 ・ 保温化ケース
屋外露出 ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化ケース

34 防凍保温
35 試験
36 他工事との取合い
37 その他

1 設計温度

区分	外気		屋内					
	温度(DB)	湿度(RH)	一般系統	湿度(DB)	湿度(DB)	湿度(DB)	湿度(RH)	
夏季	℃	%	℃	9%	℃	9%	℃	9%
冬季	℃	%	℃	9%	℃	9%	℃	9%

下表によるほか、耳ざわり音がないよう機種選定およびダクト消音対策を行う。
署名 特性(dB) N C 値
3 煤煙濃度計
4 ばいじん量測定口
5 煙道
6 ダクト
7 風量測定口
8 チャンバー

9 防煙ダンパー
10 ピストンダンパー
11 弁類
12 温度計
13 圧力計
14 瞬間流量計
15 油面制御装置

○ 換気設備
2 風量測定口
3 ダンパー
4 排気ダクトのシール
5 チャンバー
6 射火措置

○ 1 ダクト
2 排煙口の形式
3 排煙口手動開放装置(開放及び復帰方式)
4 排煙風量測定

○ 1 中央監視制御装置
2 中央監視制御装置の構成・機能
○ 自動設備
3 電気計装工事の記録

○ 1 大便器洗浄弁
2 大便器ロータック
3 温水洗浄式便座
4 小便器洗浄弁
5 小便器洗浄管
6 水栓
7 化粧棚
8 石けん受
9 洗面板
10 標記板
11 大便器耐火カバー

○ 1 量水器
2 水量器類
3 弁類
4 引込納付金等
5 給水勾配
6 建物導入部配管

○ 1 洗面器等の排水管
2 排水勾配
3 漏水試験継手
4 ｼｰﾙﾄﾞ材、たため

○ 1 弁類
2 燃焼機器

○ 1 屋内消火栓箱
2 建物導入部配管

○ 1 機器の寸法
2 燃焼機器

○ 1 充電容器
2 集合装置
3 制御防止等
4 メーター
5 ガス漏れ警報器
6 引込負担金
7 電気防食
8 建物導入部配管

● その他
3 電子納品

(別表) しゅん工期提出物(○印を付けたものを提出する。作成方法は手引きによる。)
① 提出書類等目録
② 完成図(原図・製本・マイクロフィルム・CADデータ)
③ 設計図(原図・マイクロフィルム)
④ 工事施工関係書類
⑤ 工事完成資料
⑥ 保守管理資料
⑦ 官公署届出書類等
⑧ 工具・予備品等
⑨ 引渡書
⑩ 試運転用油等() の納品書等
⑪ その他監督員指示によるもの又は特記によるもの
注) 完成図の種類は、設計図面に準じて作成すること。

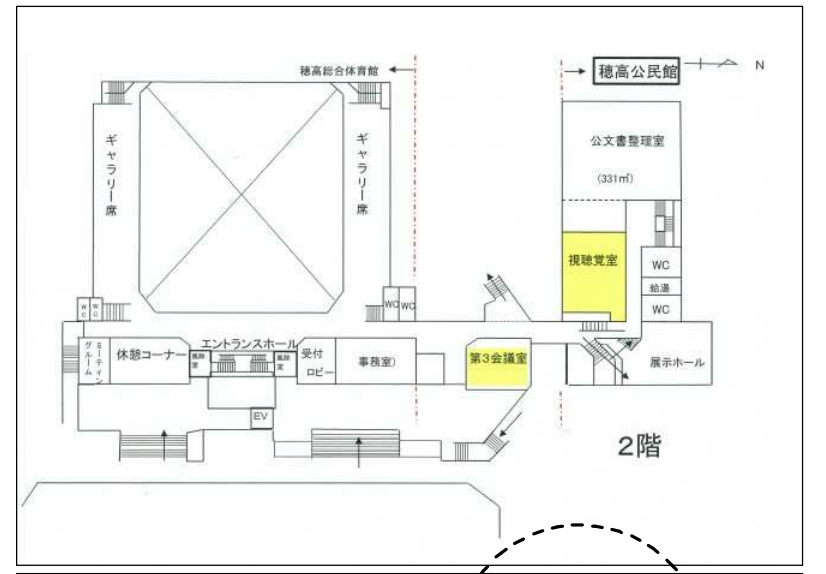
工事名	図面名称	年月日	図面番号
令和8年度 穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事	機械設備工事 特記仕様書		M-01



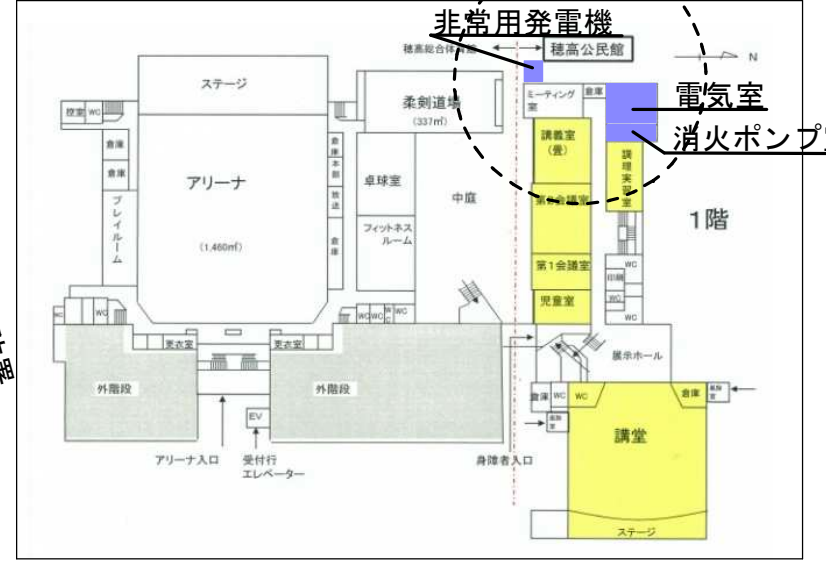
案内図

改修場所：安曇野市穂高5047番地

穂高2級22号線（旧国道147号線）

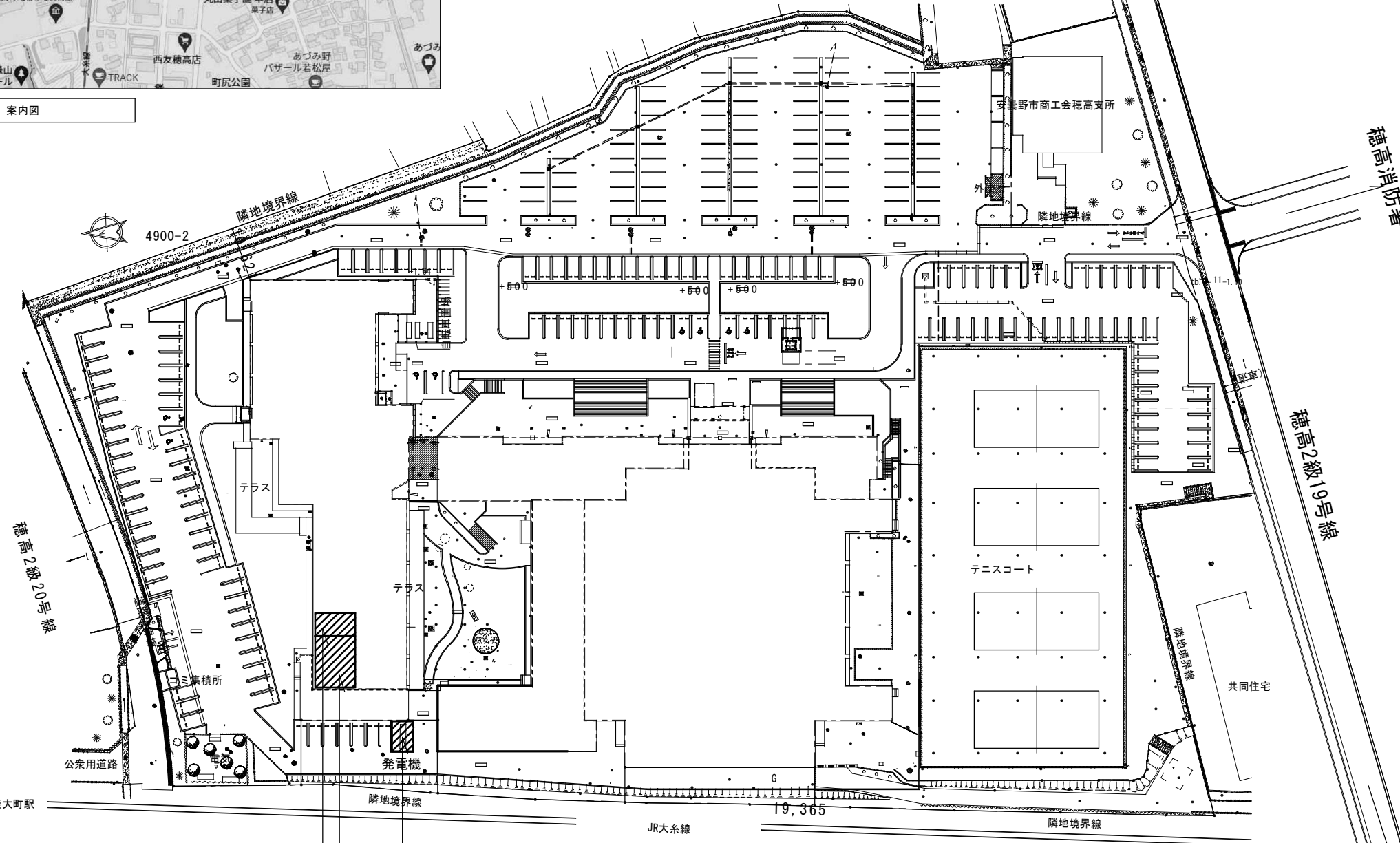


2階



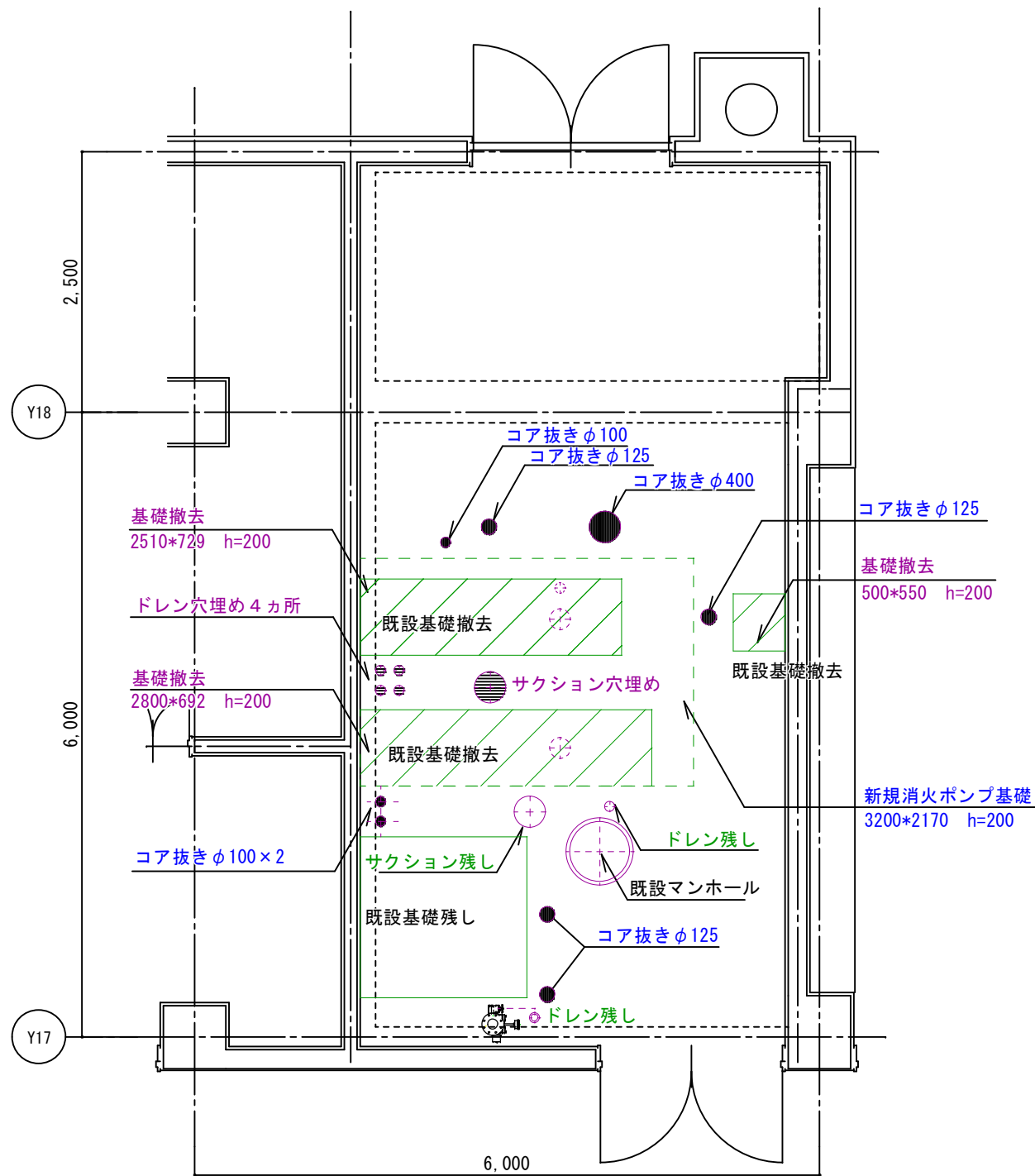
1階

施設平面図



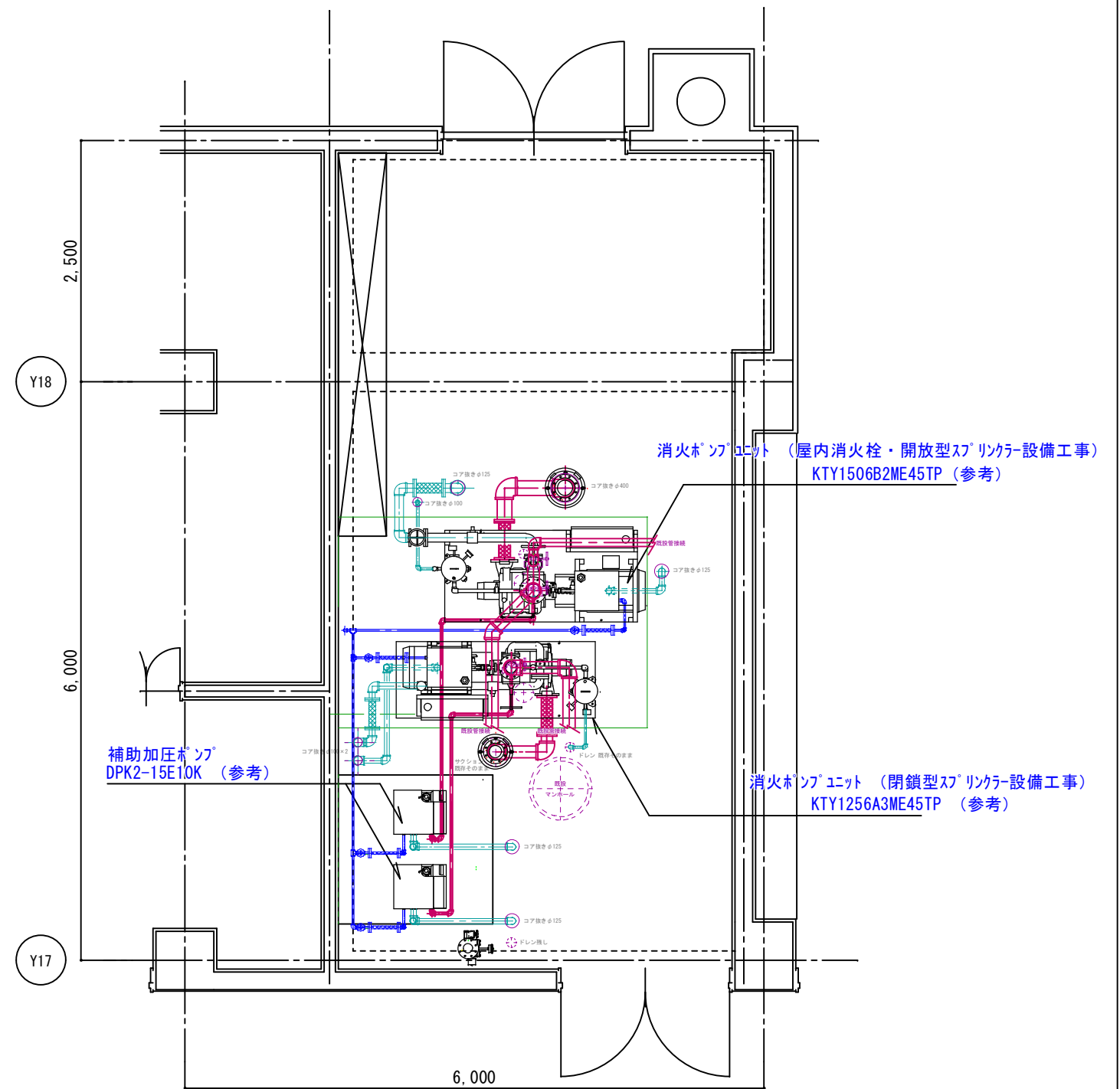
配置図 S:1/1000

改修場所：消火ポンプ室・電気室・非常発電機（屋外）



基礎撤去及び新設基礎平面図 1/30

新規コア抜き位置及び既設穴埋め平面図 1/30



新規消火ポンプ設置平面図 1/30

<参考>

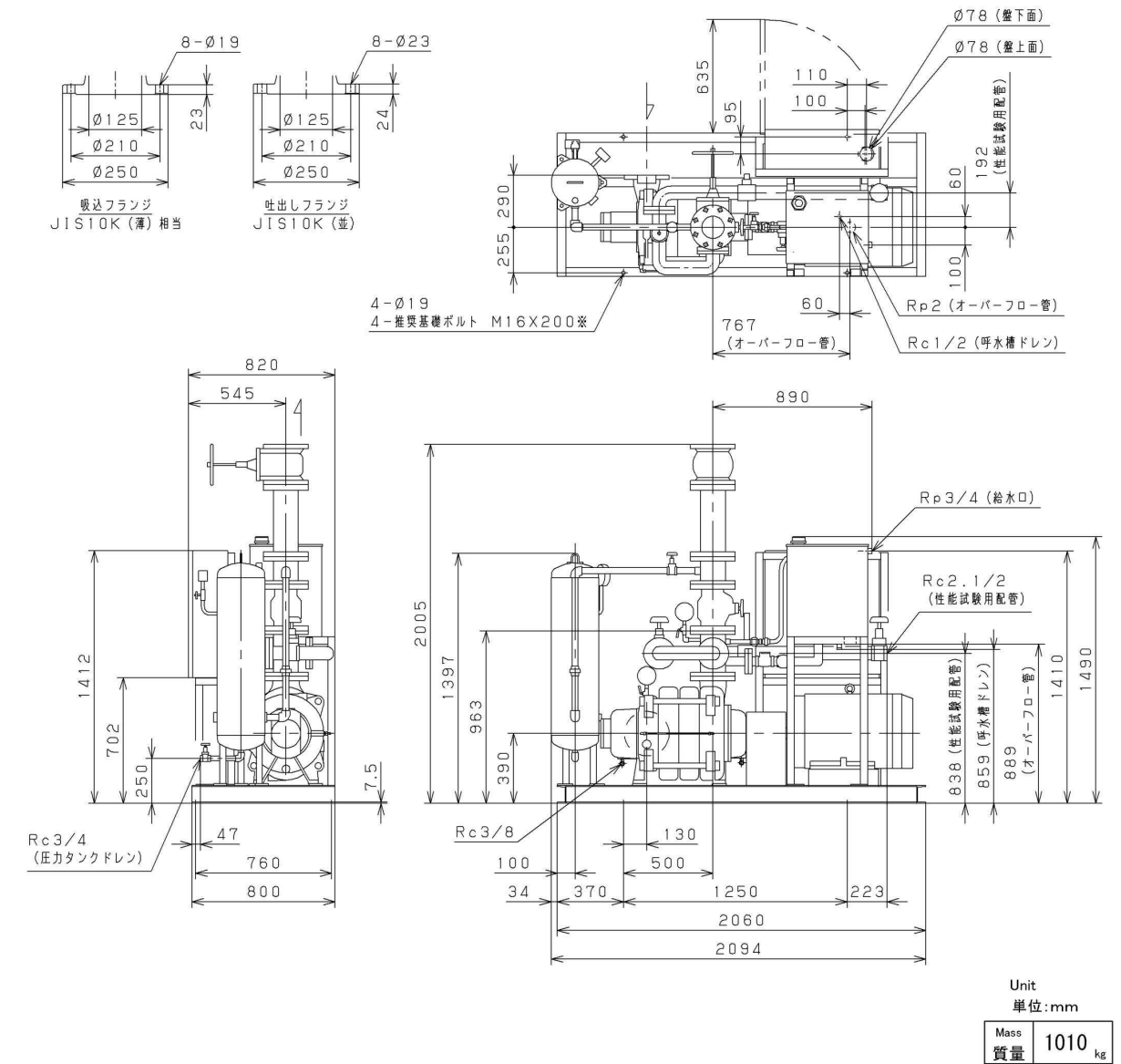
機器明細書

Page: 1

機器番号	用途		設置 階	台 数	吸込 口径 mm	吐出し 口径 mm	吐出量 L/min	全揚程 m	同期 回転 速度 min ⁻¹	押込 圧力	出力 kW	相 数	電圧 V	起動 方式 ※
	ポンプ形式	製品番号												
KTY1256A3ME45TP K873874600S			1		125	125	1800	70			45	三相	200	λ-Δ
KTY1506B2ME45TP K873974700S			1		150	150	2350	63			45	三相	200	λ-Δ
DPK2-15E10K D6049511000			2		15	15		1800			1.5	三相	200	L-S

セフティエース KTY-MTP形 消火ポンプ 据付図

Serial NO. 機器番号		Use 用途		Quantity 数量	1	
Model 形式	KTY1256A3ME45TP					
VC	Contents VC内容					
Specification 仕様			Motor Specification 電動機仕様		Note / Notices 備考 / 特記事項 認定品 PUA6-03-05号 トッランナーモータ搭載	
Capacity 吐出量	1800 L/min	Suction Bore 吸込口径	125 mm	Output 出力		45 kW
Total Head 全揚程	70 m	Discharge Bore 吐出し口径	125 mm	Poles 極数		4
Phase/Voltage 相 / 電圧	三相 / 200 V	Unit Bore ユニット口径	— mm	Type 種別		全閉屋内
Frequency 周波数	60 Hz	Synchronous Speed 同期回転速度	1800 min ⁻¹			



Unit
単位: mm
Mass
質量 1010 kg

ポンプ標準試験成績表

Note
備考:

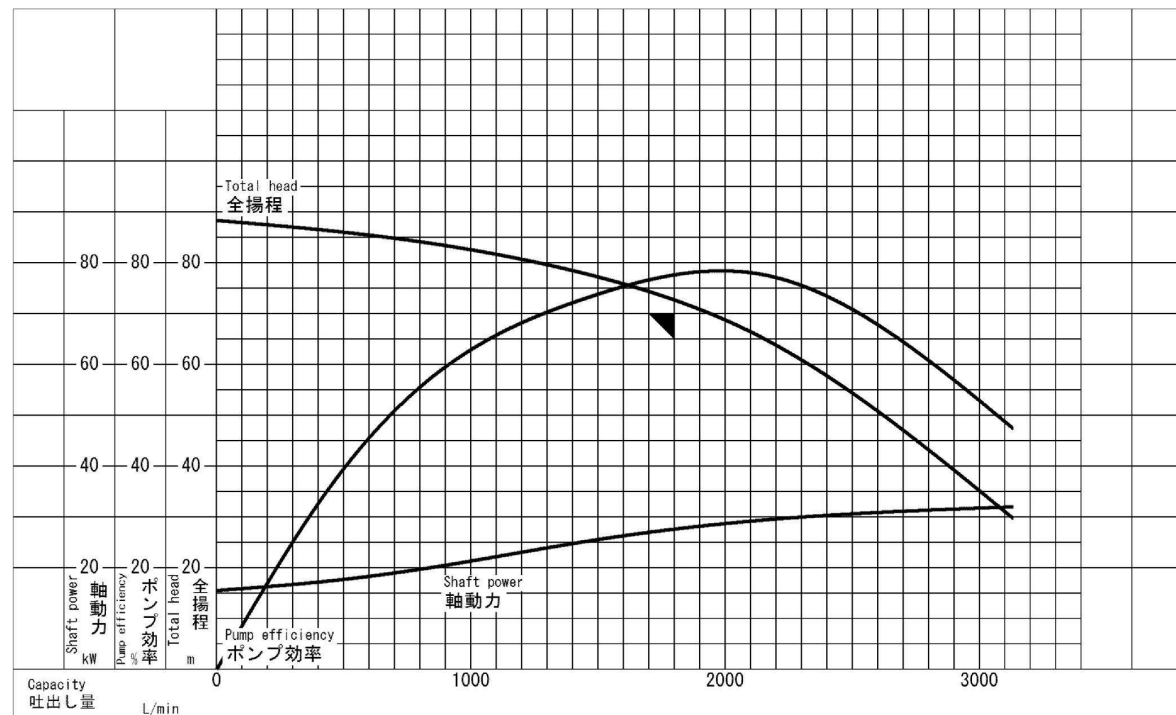
Model
形式: KTY1256A3ME45TP

Rating 規定要目	Bore 口径	Capacity 吐出量	Total head 全揚程	Synchronous speed 同期回転速度	Motor output 電動機出力		
	125 × 125 mm	1800 L/min	70 m	1800 min ⁻¹	45 kW		
Motor 試験電動機 要目	Model 形式	Output 出力	Frequency 周波数	Voltage 電圧	Current 電流	Poles 極数	Revolution 回転速度
	TKKH3-FBK21E	45 kW	60 Hz	200 V	159 A	4 極	1775 min ⁻¹

Item 計測項目	1	2	3	4	5	6
Capacity 吐出量 L/min	0	441.84	883.68	1446.0	2169.0	3133.0
Total head 全揚程 m	88.368	86.359	83.548	77.924	64.669	29.723
Shaft power 軸動力 kW	15.553	17.424	20.393	25.169	29.493	32.010
Pump efficiency ポンプ効率 %	0	35.7	59	73	77.5	47.4

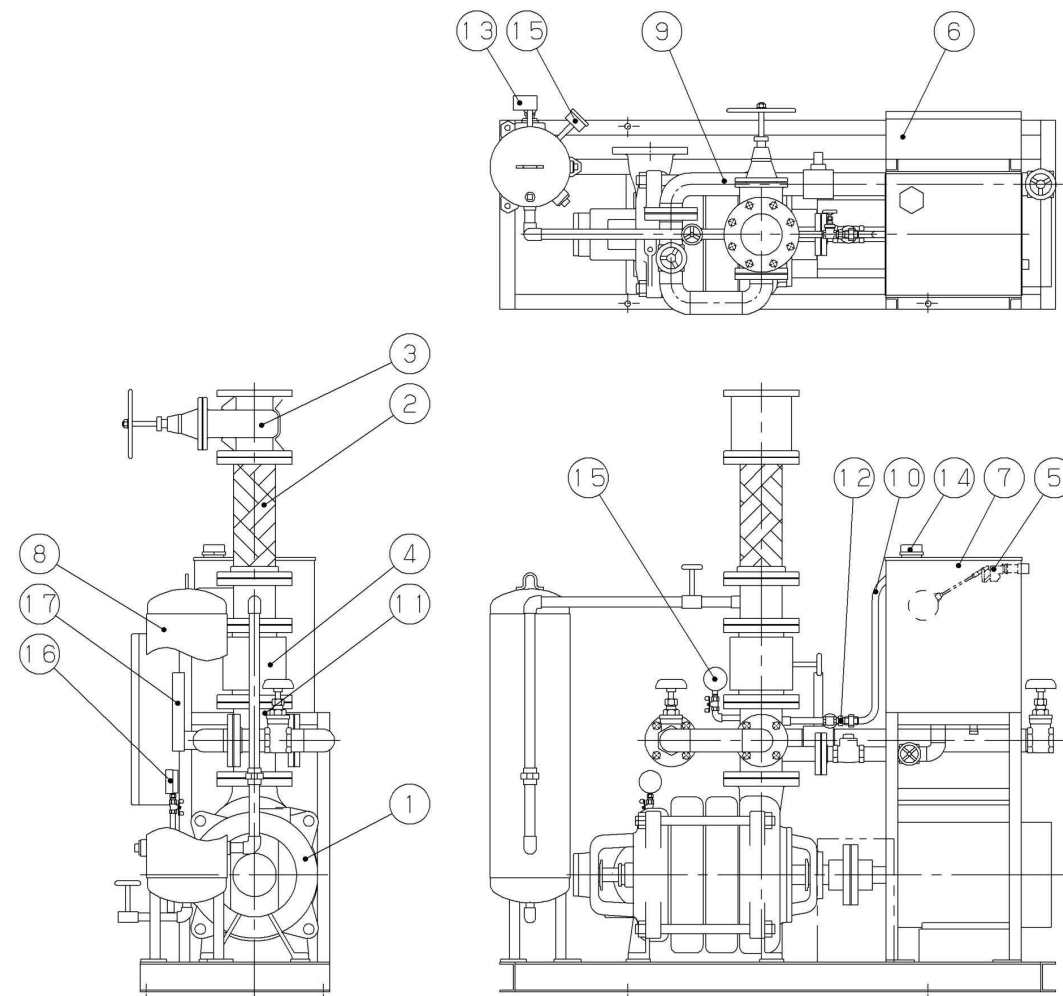
<注意>

※このグラフは、インペラ最大外径270mmを242mmにインペラカットした場合の予想グラフです。
※ポンプ選定は必ず適用図にて行ってください。



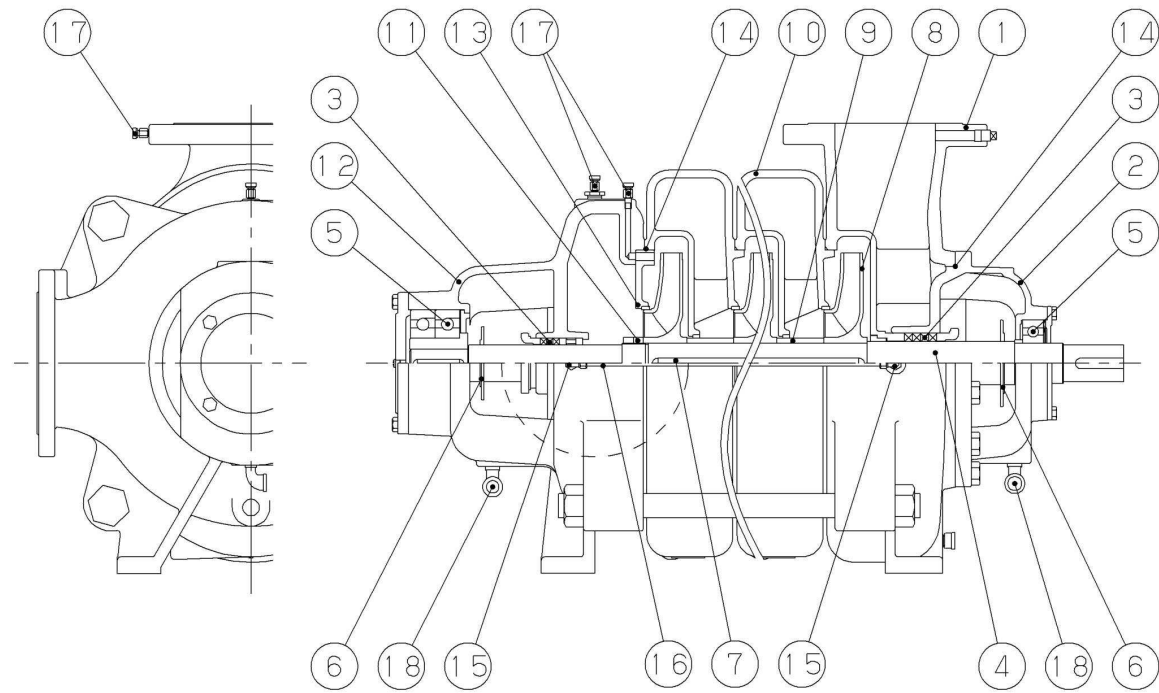
セフティエース KTY-MTP形 消火ポンプ 構造図

形式	KTY1256A3ME45TP		
VC	VC内容		



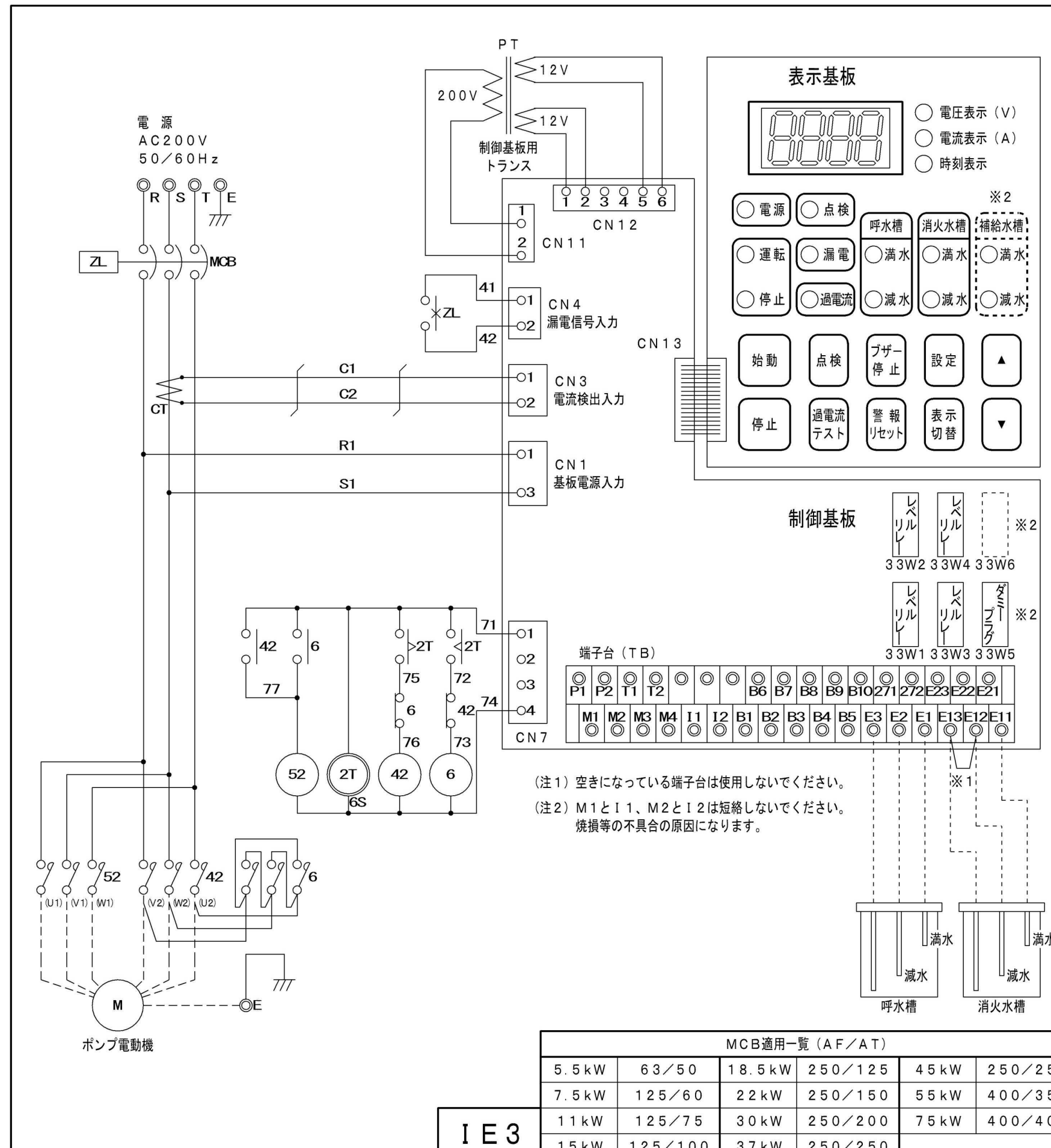
No	名称	材料	備考	No	名称	材料	備考
1	ポンプ	-		11	連結管	SGP, SS400	
2	可とう管	-		12	オリス	C3604	
3	スルス弁	FC200	インジケータ付	13	圧力スイッチ	-	
4	スモレンスキバルブ	FC200	バイパス付	14	電極	-	
5	ボールタップ	-		15	圧力計	-	
6	制御盤	-		16	連成計	-	
7	呼水槽	SPHC	50L	17	流量計	-	直読式
8	圧力タンク	-	50L		フート弁	FC150	付属品
9	性能試験用配管	-			吸込ユニット	-	付属品
10	逃し配管	-					

KTY形 ポンプ構造図

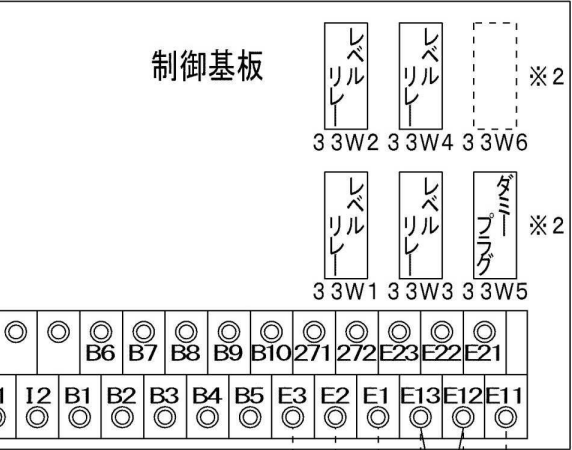
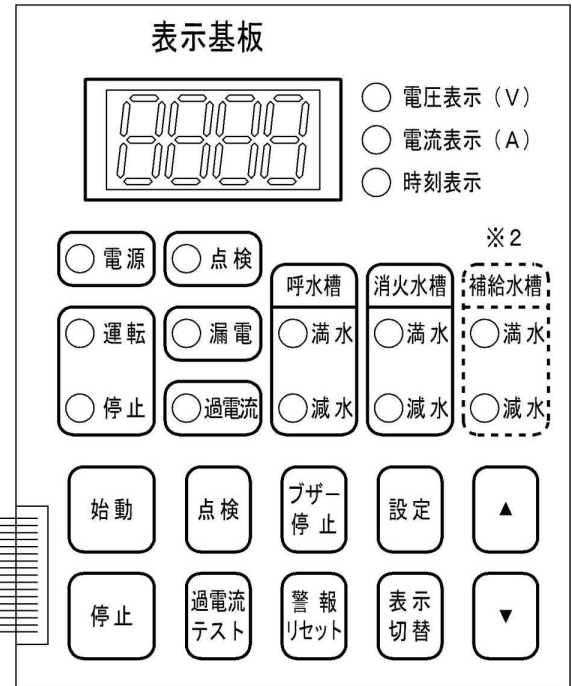


No	名称	材料	備考	No	名称	材料	備考
1	吐出しケーシング	FC200		10	中間ケーシング	FC200	
2	軸受箱付カバー	FC200		11	丸ナット	CAC202	
3	グランドパッキン	-		12	吸込ケーシング	FC200	
4	主軸	SUS403		13	仕切板	FC150	
5	玉軸受	SUU2		14	Oリング	NBR	
6	水切つば	NR		15	チューブカップリング	-	
7	キー	SUS403		16	直管	C1020	
8	インペラ	CAC406		17	排気弁	C3604	
9	スリーブ	CAC406		18	めすおすエルボ	FCMB 27	

注) ポンプの図は代表図であり、機種によって異なる場合があります。

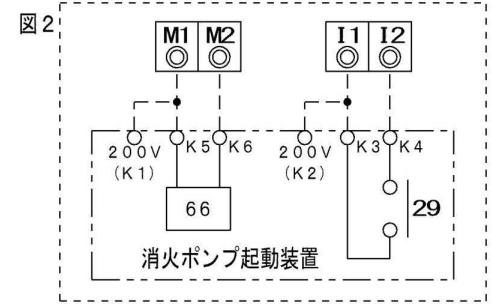
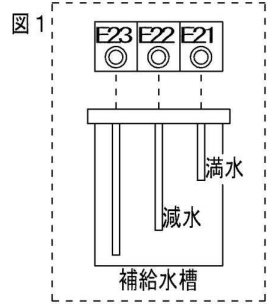


(注1) 空になっている端子台は使用しないでください。
 (注2) M1とI1、M2とI2は短絡しないでください。
 焼損等の不具合の原因になります。



端子台	用途		
M1-M2	ポンプ運転信号出力端子 (AC200V)		
M3-M4	ポンプ運転信号出力端子 (無電圧) 接点容量: AC250V 0.8A (誘導負荷)		
P1-P2	圧力低下検出信号入力端子	端子間電圧 DC12V	無電圧a接点を 接続してください
T1-T2	外部点検信号入力端子		
I1-I2	起動信号入力端子	端子間電圧 AC200V	
E3	呼水槽検出入力端子 (アース)		
E2	呼水槽検出入力端子 (減水)		
E1	呼水槽検出入力端子 (満水)		
E13	消火水槽検出入力端子 (アース)		
E12	消火水槽検出入力端子 (減水)		
E11	消火水槽検出入力端子 (満水)		
E23	補給水槽検出入力端子 (アース)		
E22	補給水槽検出入力端子 (減水)		
E21	補給水槽検出入力端子 (満水)		
B1-B2	過電流		
B1-B3	呼水槽減水		
B1-B4	消火水槽減水		
B1-B5	補給水槽減水		
B1-B6	圧力不足		
B1-B7	漏電		
B1-B8	呼水槽満水		
B1-B9	消火水槽満水		
B1-B10	補給水槽満水		
271-272	電源「断」信号出力端子 (無電圧) 接点容量: AC250V 0.8A (誘導負荷)		
M1-I1	消火ポンプ起動装置 (移報器) 用電源 (AC200V max.150VA)		

- ※1 消火水槽を使用する場合は、短絡線を外してください。
- ※2 補給水槽減水を使用する場合は、ダミープラグを外してレベルリレーを取り付けパネルのマスクシールを剥がして使用してください。
補給水槽満水を使用する場合は、33W6にレベルリレーを取り付けパネルのマスクシールを剥がして使用してください。(電極への配線は図1参照)
- ※3 消火ポンプ起動装置を使用する場合は、図2のように配線してください。



MCB適用一覧 (AF/AT)					
5.5 kW	63/50	18.5 kW	250/125	45 kW	250/250
7.5 kW	125/60	22 kW	250/150	55 kW	400/350
11 kW	125/75	30 kW	250/200	75 kW	400/400
15 kW	125/100	37 kW	250/250		

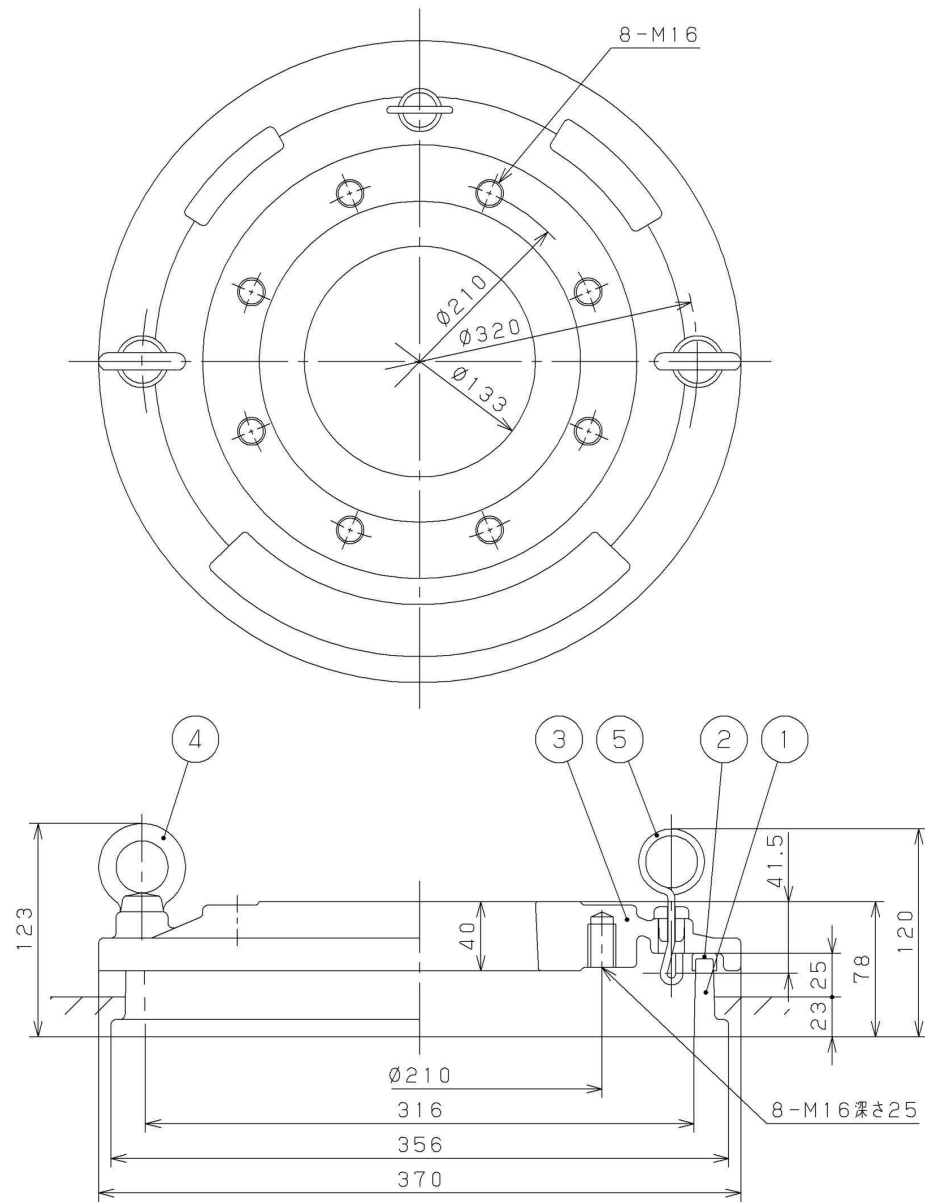
展開接続図

形式

ECKD-[]T-S

IE3

SSF-125形 吸込ユニット 据付・構造図



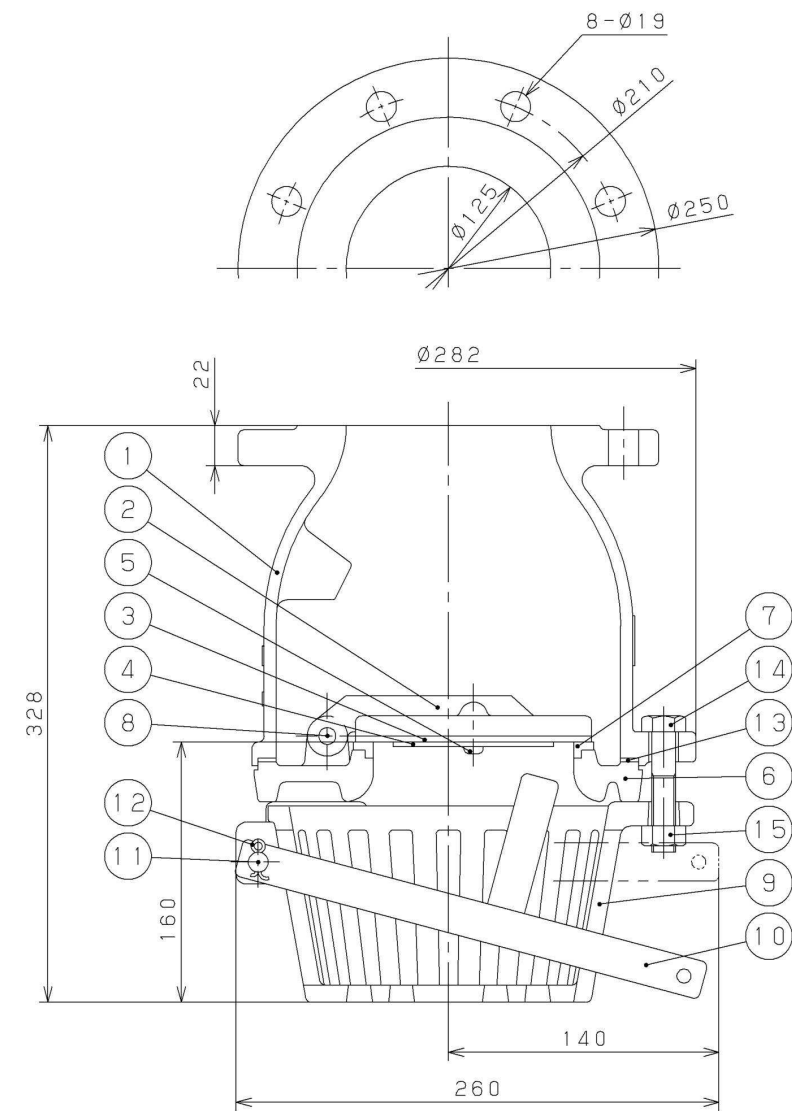
【仕様】

単位:mm

塗装色	ハーマイオン(マンセル7.5R4/14)
質量(kg)	18

No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考
1	ふた座	FC150		4	アイボルト	SS400	
2	Uリング	CR		5	フック	SUS304	
3	ふた	FC150					

VFF-125形 フート弁 据付・構造図



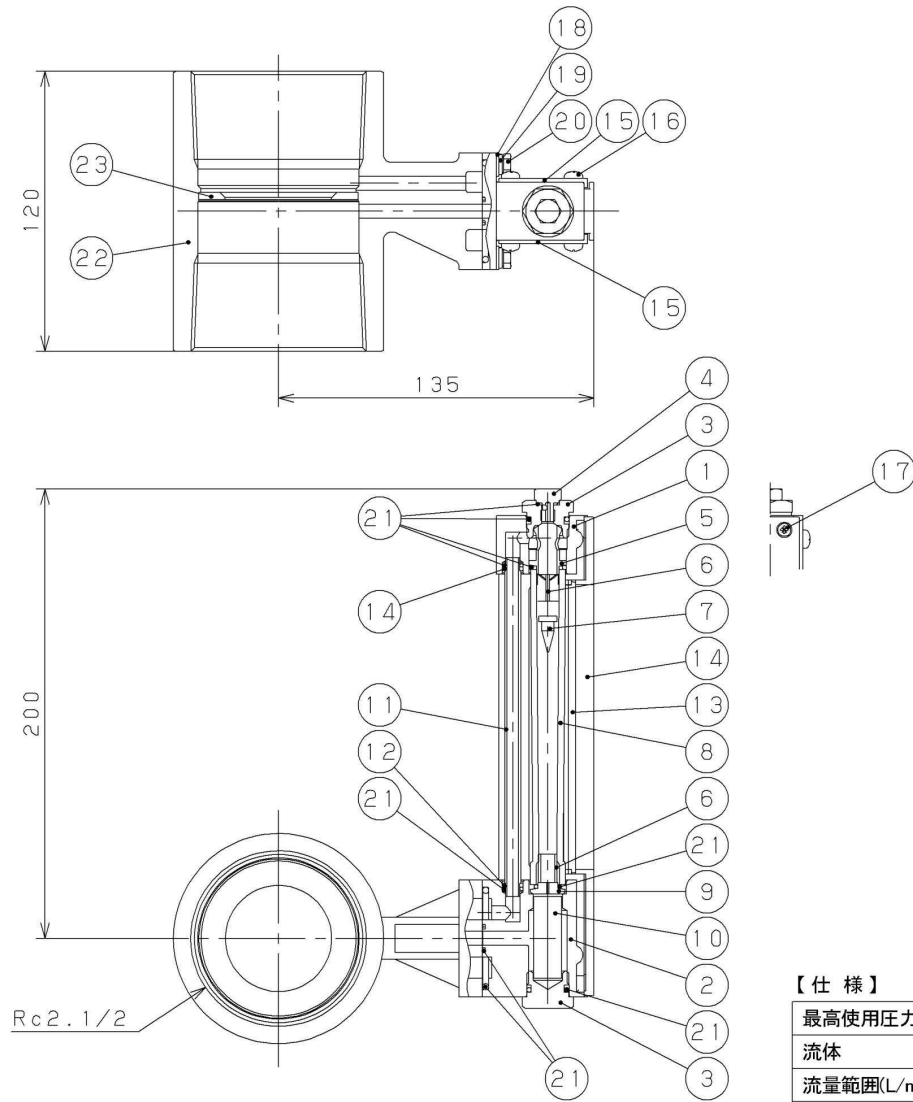
単位:mm

質量	33	kg
----	----	----

No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考
1	弁箱	FC150		10	レバー	SUS304	
2	弁体	FC200		11	ピン	SUS304	
3	パッキン	NBR		12	割りピン	SUS304	
4	座金	SUS304		13	リングパッキン	NBR	
5	なべ小ねじ	SUS305		14	ボルト	SUS304	
6	弁座	FC200		15	ナット	SUS304	
7	弁座リング	SCS13			ワイヤロープ	SUS304	付属品, 3m
8	平行ピン	SUS304			ジャックル	SUS304	付属品
9	ストレナ	FC150					

流量計 口径65 据付・構造図

東京計装製



【仕様】

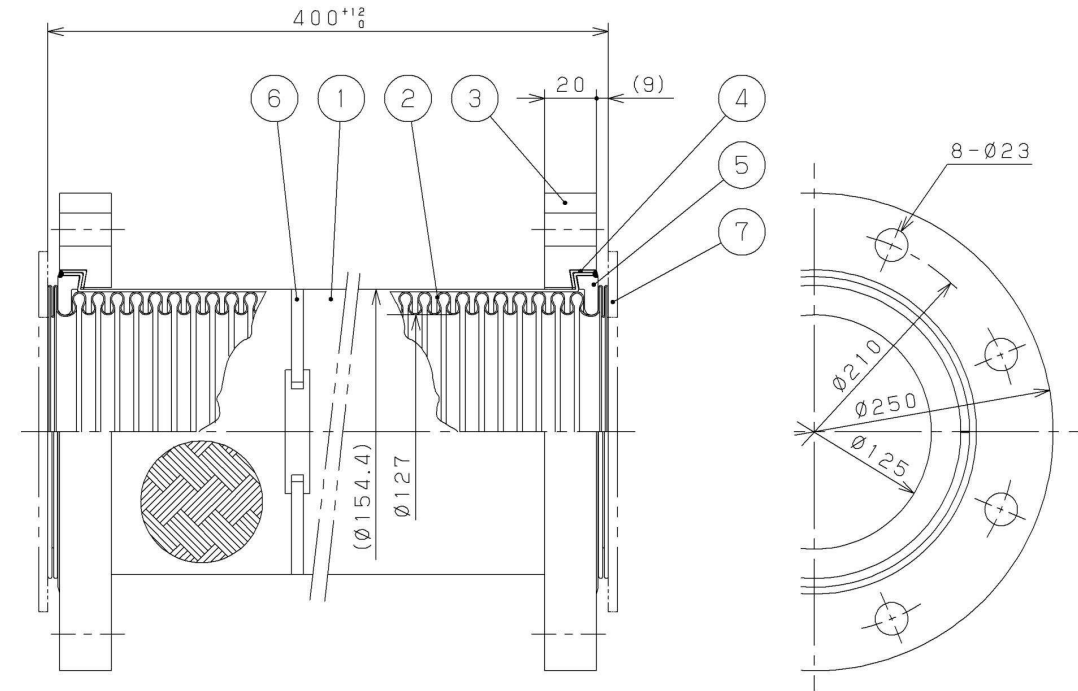
単位:mm

最高使用圧力(MPa)	2
流体	常温清水
流量範囲(L/min)	450~2200
精度(%)	±2
1目盛(L/min)	50
質量(kg)	2.6

No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考
1	上部本体	SCS14		9	分岐オリス	SUS316		17	十字穴付さら小ねじ	SS400	
2	下部本体	SCS14		10	ストレナ	SUS316		18	平座金	SS400	
3	キャップ	SCS14		11	導管	SUS316		19	ばね座金	SS400	
4	ブラク	SUS316		12	導管カラー	SUS316		20	十字穴付六角ボルト	SS400	
5	テーパ管押え	SUS316		13	目盛板	ABS		21	リング	FPM	
6	ストップ	PFA		14	カバー(前)	ABS		22	測定管	SCS14	
7	フロート	SUS316		15	カバー(横)	SUS304		23	オリスプレート	SUS304	
8	テーパ管	強化ガラス		16	十字穴付なべ小ねじ	SS400					

125X400-10K形 可とう管 据付・構造図

テクノフレックス製



【仕様】

単位:mm

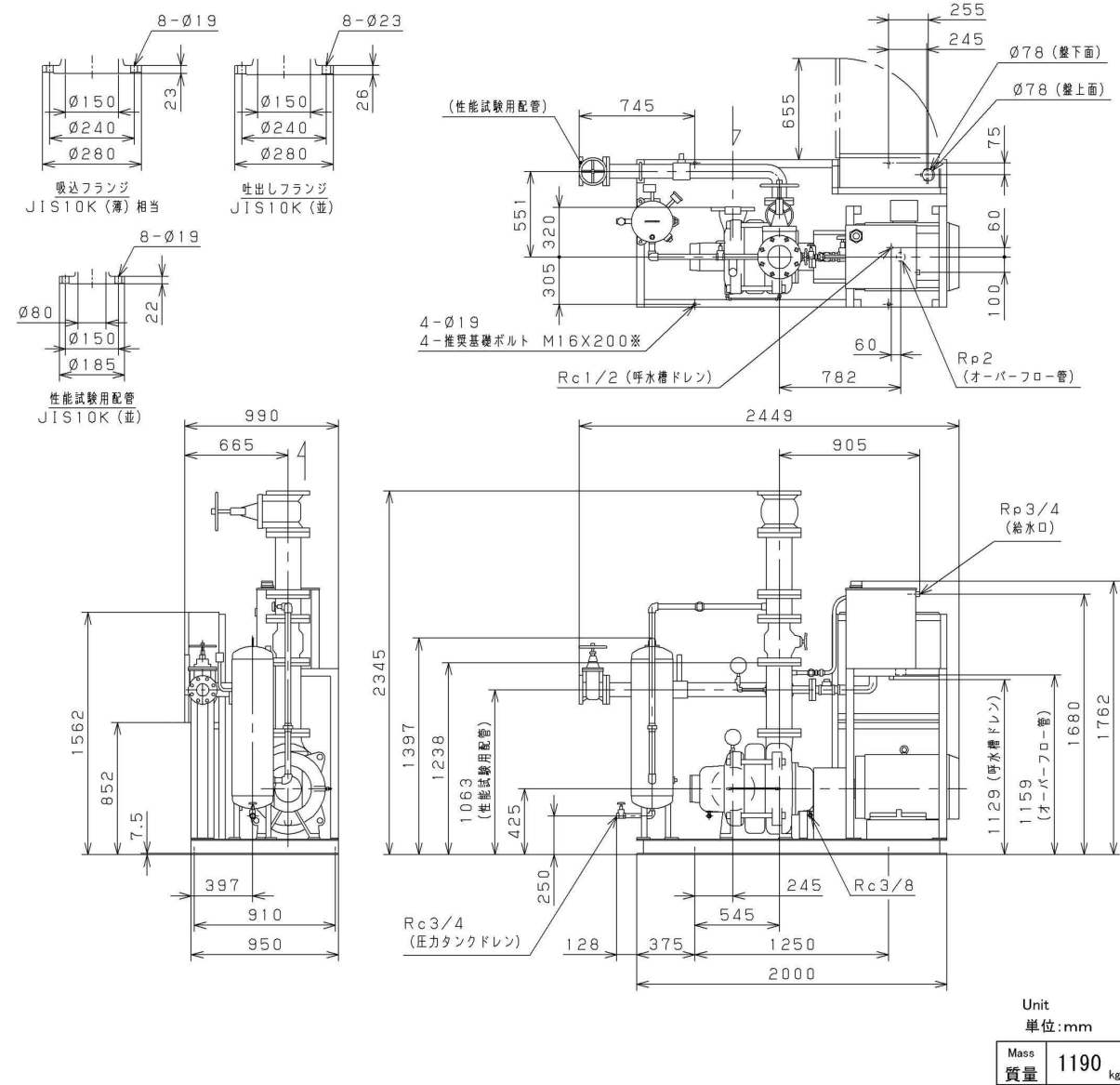
フランジ規格	JIS10K
最高使用圧力(MPa)	1.4
質量(kg)	11.4
型式記号	P10-115Y
認定番号	PK-005号

No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考
1	プレート	SUS304		5	割リング	SS400	
2	チューブ	SUS316		6	表示板	-	
3	フランジ	SS400		7	パッキン	ニアスベスト	t=3
4	プレート押え	SPCC					

<参考>

セフティエース KTY-MTP形 消火ポンプ 据付図

Serial NO. 機器番号		Use 用途		Quantity 数量	1
Model 形式	KTY1506B2ME45TP				
VC		Contents VC内容			
Specification 仕様		Motor Specification 電動機仕様		Note / Notices 備考 / 特記事項	
Capacity 吐出量	2350 L/min	Suction Bore 吸込口径	150 mm	Output 出力	45 kW
Total Head 全揚程	63 m	Discharge Bore 吐出口径	150 mm	Poles 極数	4
Source 電源	Phase/Voltage 相 / 電圧	Unit Bore ユニット口径	— mm	Type 種別	全閉屋内
	Frequency 周波数	Synchronous Speed 同期回転速度	1800 min ⁻¹		



<参考>

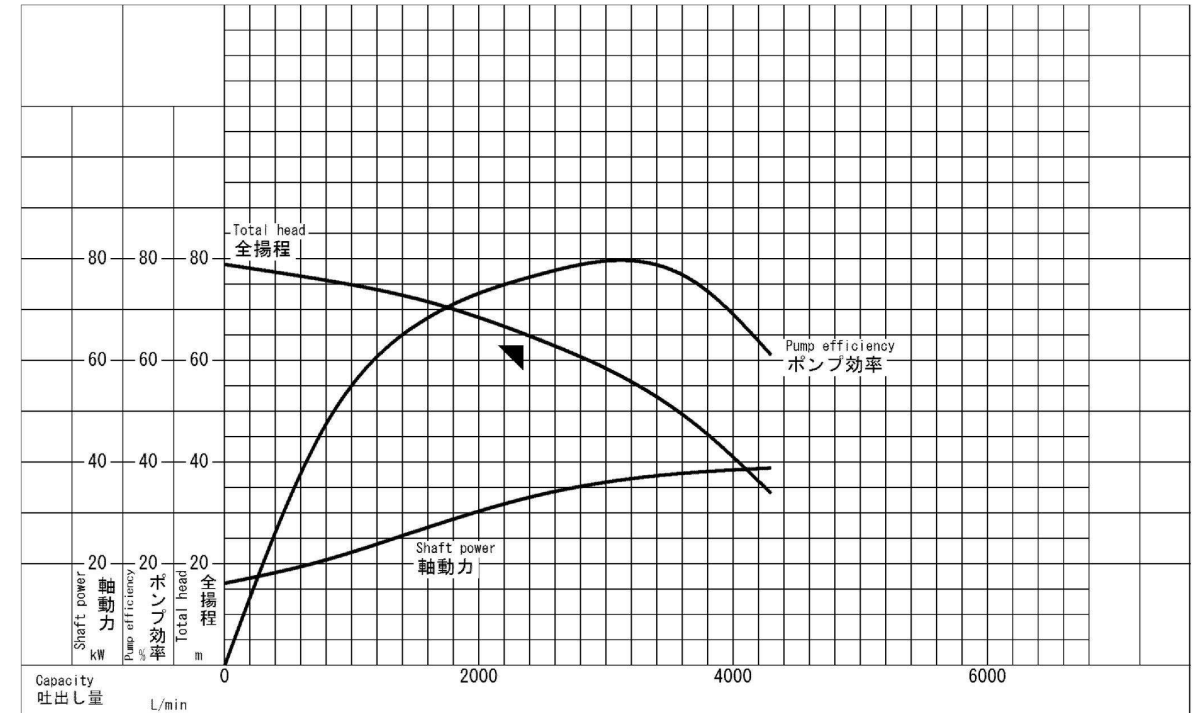
ポンプ標準試験成績表

Model
形式: KTY1506B2ME45TP

Rating 規定要目	Bore 口径	Capacity 吐出量	Total head 全揚程	Synchronous speed 同期回転速度	Motor output 電動機出力		
	150 × 150 mm	2350 L/min	63 m	1800 min ⁻¹	45 kW		
Motor 試験電動機 要目	Model 形式	Output 出力	Frequency 周波数	Voltage 電圧	Current 電流	Poles 極数	Revolution 回転速度
	TFO-LKK	45 kW	60 Hz	200 V	158 A	4 極	1775 min ⁻¹
Item 計測項目	1	2	3	4	5	6	
Capacity 吐出量	L/min	0	743.80	1487.6	2479.3	3719.0	4297.5
Total head 全揚程	m	78.925	76.033	72.314	64.049	47.107	33.884
Shaft power 軸動力	kW	16.187	20.422	26.296	33.604	38.043	38.863
Pump efficiency ポンプ効率	%	0	45.1	66.7	77	75.1	61.1

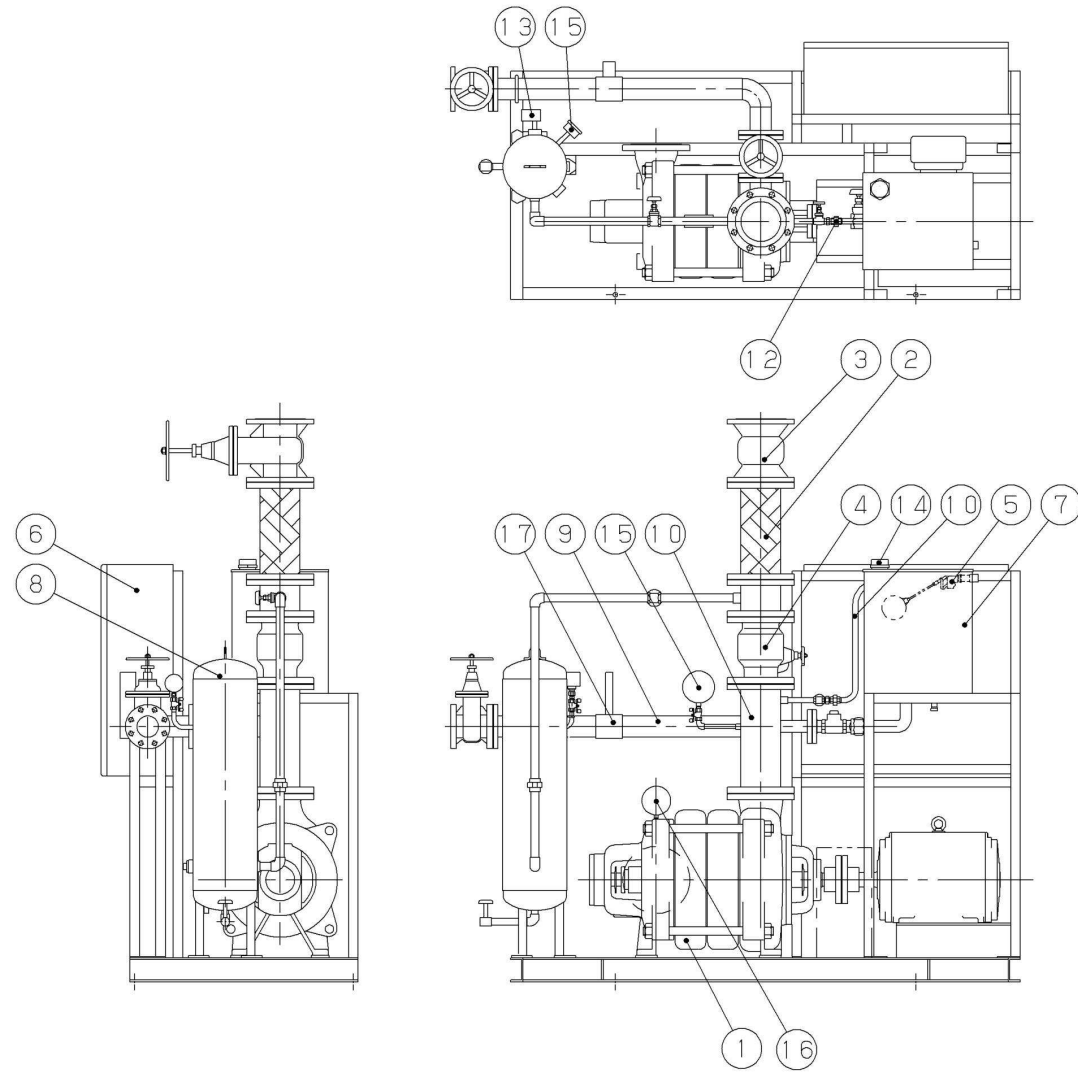
<注意>

※このグラフは、インペラ最大外径308mmを280mmにインペラカットした場合の予想グラフです。
※ポンプ選定は必ず適用図にて行ってください。



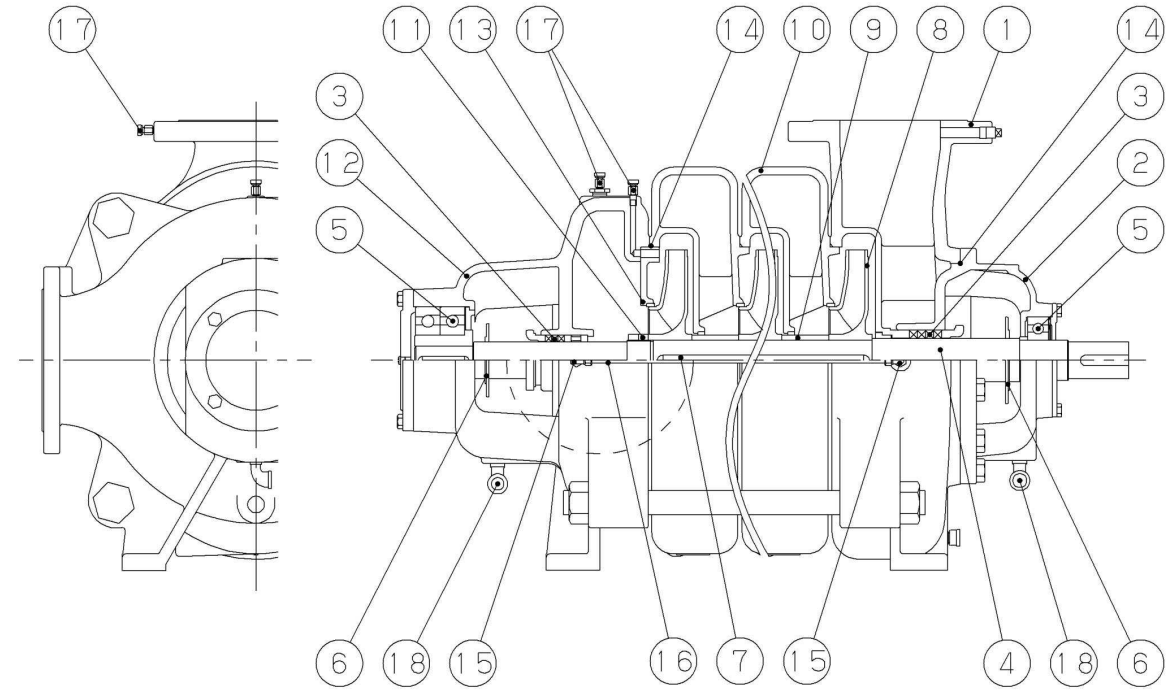
セフティエース KTY-MTP形 消火ポンプ 構造図

形式	KTY1506B2ME45TP		
VC		VC内容	



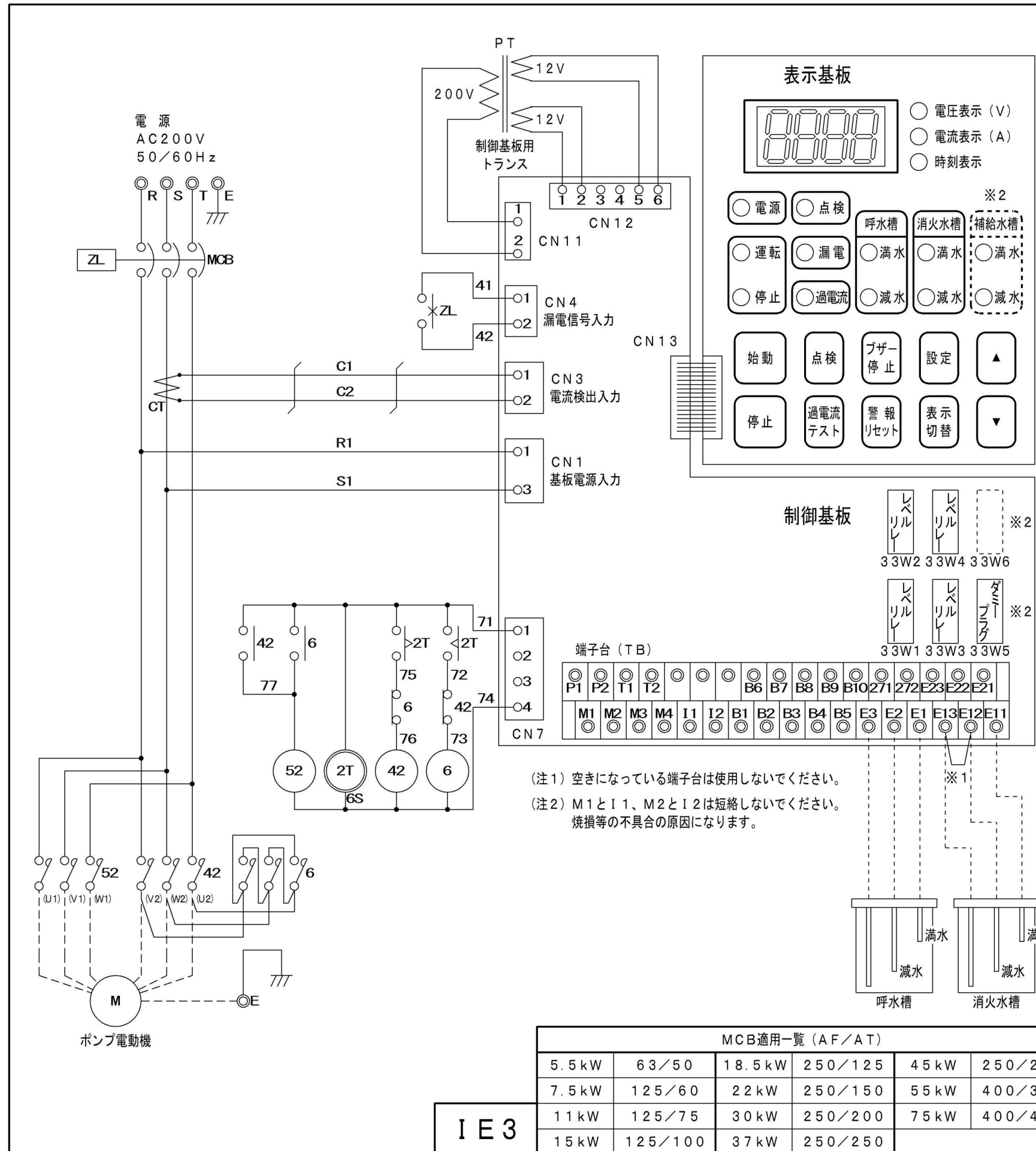
No	名称	材料	備考	No	名称	材料	備考
1	ポンプ	-		11	連結管	SGP, SS400	
2	可とう管	-		12	オリフイス	C3604	
3	スルース弁	FC200	インジケータ付	13	圧カスイッチ	-	
4	スモレンスキバルブ	FC200	バイパス付	14	電極	-	
5	ホールタップ	-		15	圧力計	-	
6	制御盤	-		16	連成計	-	
7	呼水槽	SPHC	50L	17	流量計	-	直読式
8	圧力タンク	-	50L		フート弁	FC150	付属品
9	性能試験用配管	-			吸込ユニット	-	付属品
10	逃し配管	-					

KTY形 ポンプ構造図



No	名称	材料	備考	No	名称	材料	備考
1	吐出しケーシング	FC200		10	中間ケーシング	FC200	
2	軸受箱付カバー	FC200		11	丸ナット	CAC406	
3	グラッドパッキン	-		12	吸込ケーシング	FC200	
4	主軸	SUS403		13	仕切板	FC150	
5	玉軸受	SUJ2		14	Oリング	NBR	
6	水切つば	NR		15	チューブカップリング	-	
7	キー	SUS403		16	直管	C1020	
8	インペラ	CAC406		17	排気弁	C3604	
9	スリーブ	CAC406		18	めすおすエルボ	FCMB 27	

注) ポンプの図は代表図であり、機種によって異なる場合があります。

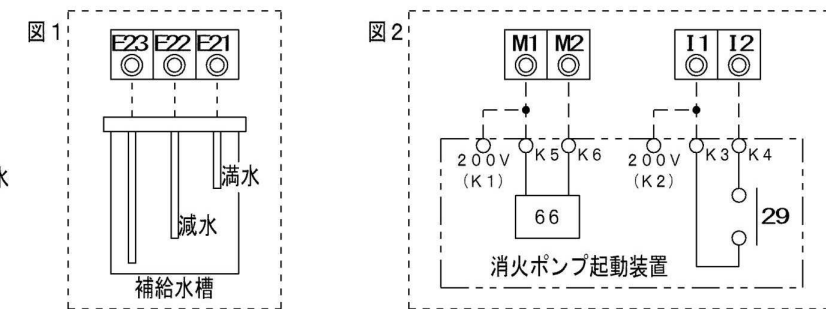


端子台	用途	
M1-M2	ポンプ運転信号出力端子 (AC200V)	
M3-M4	ポンプ運転信号出力端子 (無電圧) 接点容量: AC250V 0.8A (誘導負荷)	
P1-P2	圧力低下検出信号入力端子	端子間電圧 DC12V 無電圧a接点を 接続してください
T1-T2	外部点検信号入力端子	
I1-I2	起動信号入力端子	端子間電圧 AC200V
E3	呼水槽検出入力端子 (アース)	
E2	呼水槽検出入力端子 (減水)	
E1	呼水槽検出入力端子 (満水)	
E13	消火水槽検出入力端子 (アース)	
E12	消火水槽検出入力端子 (減水)	
E11	消火水槽検出入力端子 (満水)	
E23	補給水槽検出入力端子 (アース)	
E22	補給水槽検出入力端子 (減水)	
E21	補給水槽検出入力端子 (満水)	
B1-B2	過電流	
B1-B3	呼水槽減水	
B1-B4	消火水槽減水	
B1-B5	補給水槽減水	
B1-B6	圧力不足	
B1-B7	漏電	
B1-B8	呼水槽満水	
B1-B9	消火水槽満水	
B1-B10	補給水槽満水	
271-272	電源「断」信号出力端子 (無電圧) 接点容量: AC250V 0.8A (誘導負荷)	
M1-I1	消火ポンプ起動装置 (移報器) 用電源 (AC200V max.150VA)	

※1 消火水槽を使用する場合は、短絡線を外してください。

※2 補給水槽減水を使用する場合は、ダミープラグを外してレベルリレーを取り付け
パネルのマスクシールを剥がして使用してください。
補給水槽満水を使用する場合は、33W6にレベルリレーを取り付け
パネルのマスクシールを剥がして使用してください。(電極への配線は図1参照)

※3 消火ポンプ起動装置を使用する場合は、図2のように配線してください。



MCB適用一覧 (AF/AT)					
5.5 kW	63/50	18.5 kW	250/125	45 kW	250/250
7.5 kW	125/60	22 kW	250/150	55 kW	400/350
11 kW	125/75	30 kW	250/200	75 kW	400/400
15 kW	125/100	37 kW	250/250		

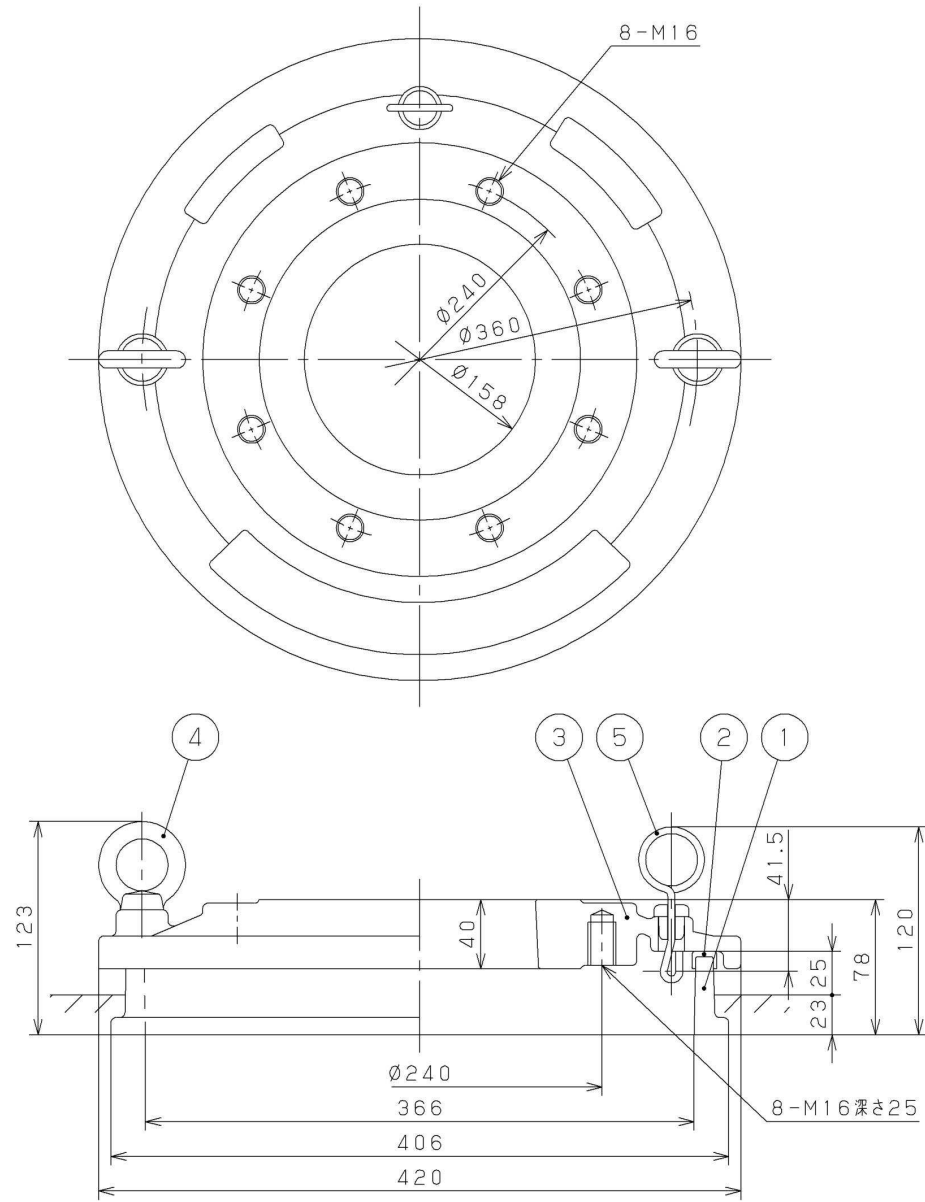
展開接続図

形式

ECKD-[]T-S

IE3

SSF-150形 吸込ユニット 据付・構造図



単位:mm

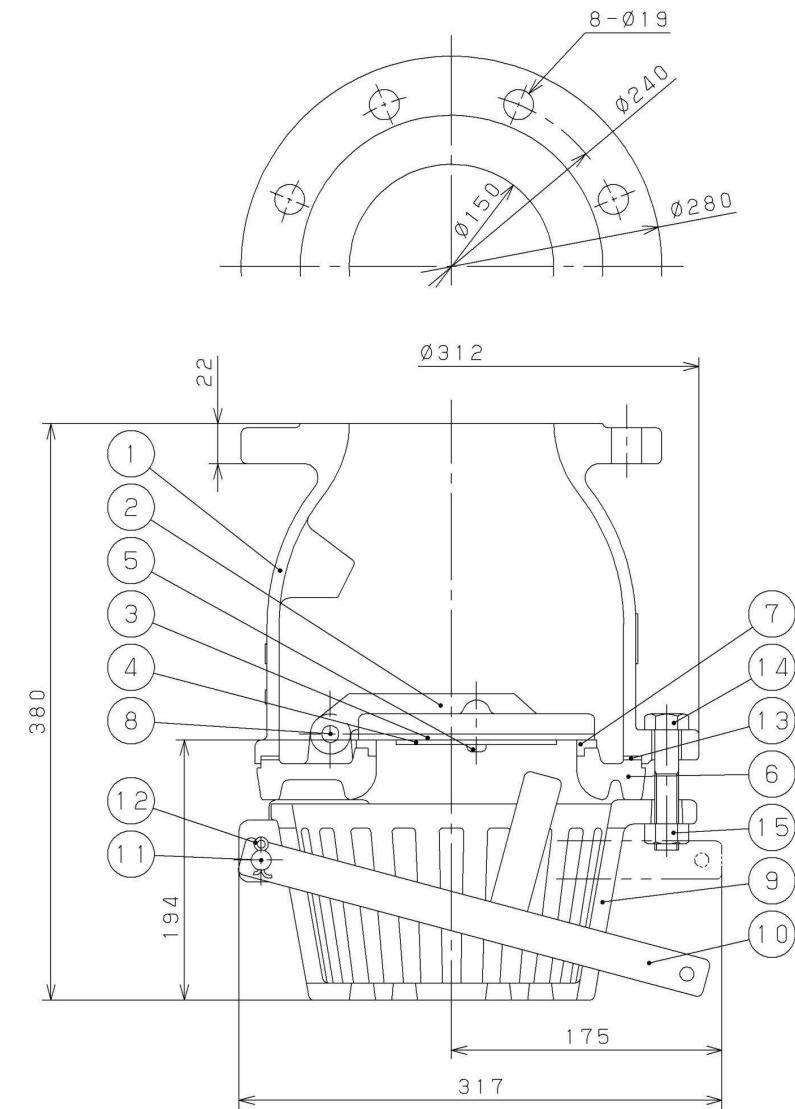
【仕様】

塗装色	ハ・ミリオン(マンセル7.5R4/14)
質量(kg)	22

No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考
1	ふた座	FC150		4	アイボルト	SS400	
2	Uリング	CR		5	フック	SUS304	
3	ふた	FC150					

※ 相フランジは付属しておりません。別途ご用意ください。(JIS10K 薄形)

VFF-150形 フート弁 据付・構造図



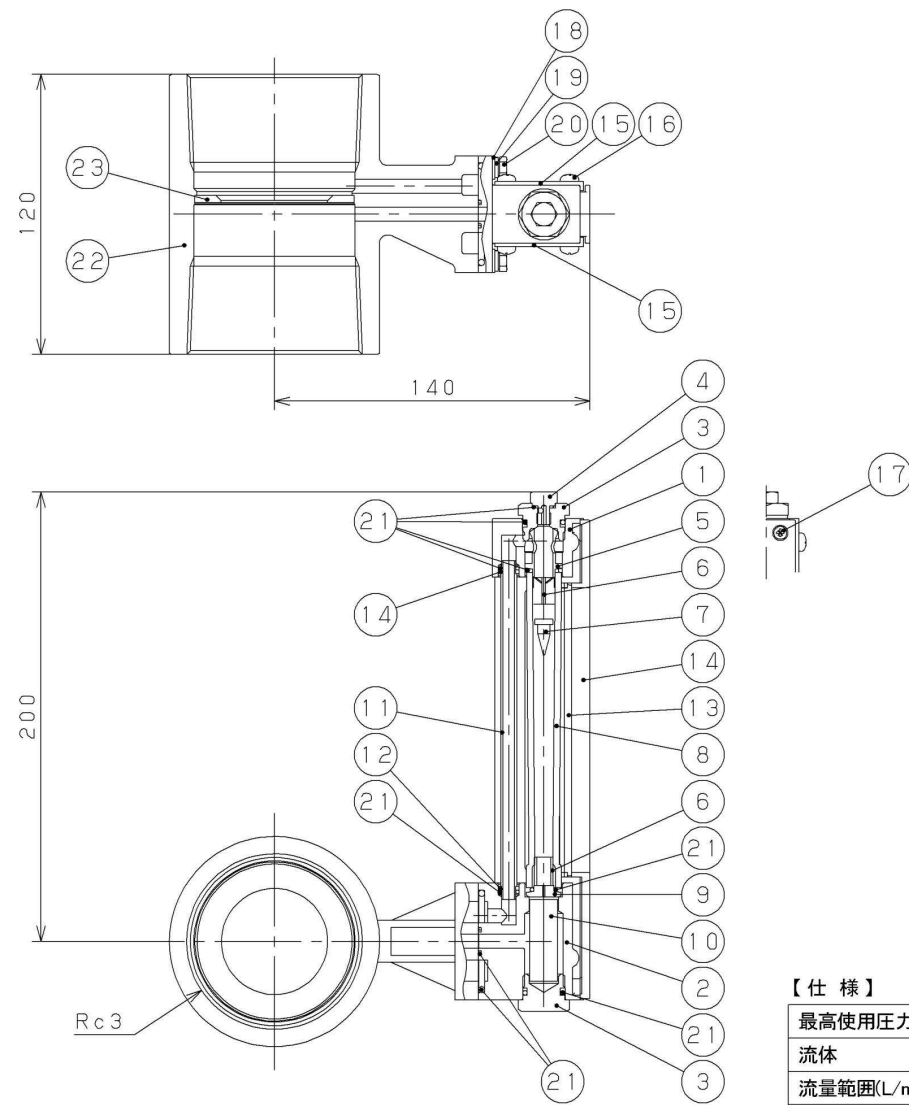
単位:mm

質量	42	kg
----	----	----

No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考
1	弁箱	FC150		10	レバー	SUS304	
2	弁体	FC200		11	ピン	SUS304	
3	パッキン	NBR		12	割りピン	SUS304	
4	座金	SUS304		13	リングパッキン	NBR	
5	なべ小ねじ	SUS305		14	ボルト	SUS304	
6	弁座	FC200		15	ナット	SUS304	
7	弁座リング	SCS13			ワイヤロープ	SUS304	付属品, 3m
8	平行ピン	SUS304			ジャックル	SUS304	付属品
9	ストレーナ	FC150					

流量計 口径80 据付・構造図

東京計装製



【仕様】

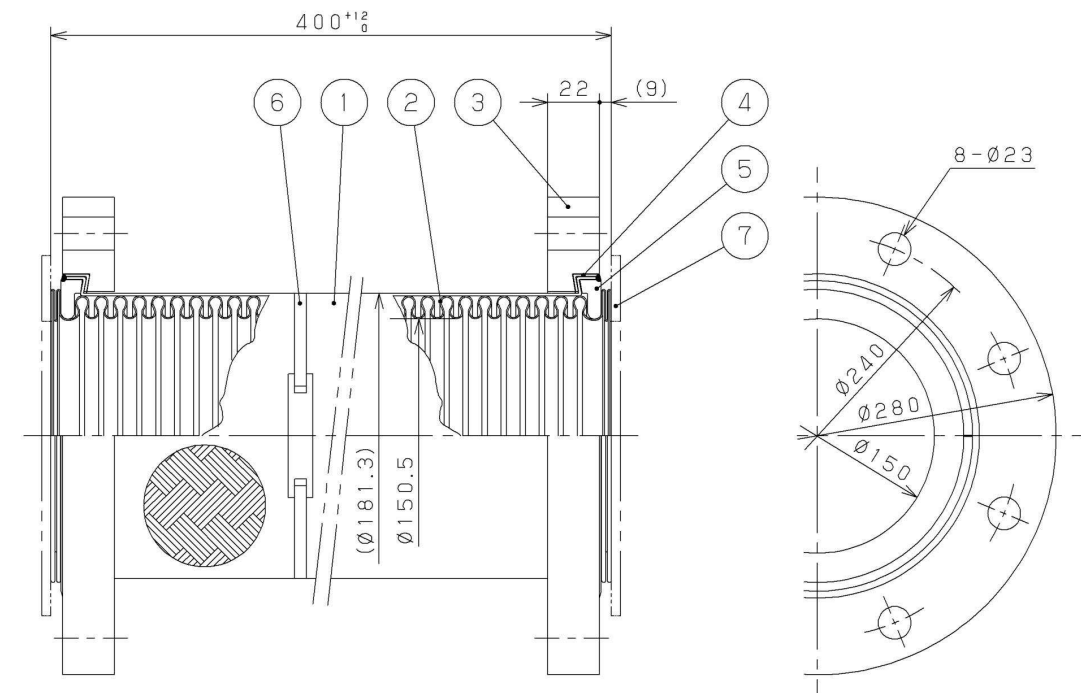
最高使用圧力(MPa)	2
流体	常温清水
流量範囲(L/min)	700~3300
精度(%)	±2
1目盛(L/min)	100
質量(kg)	3.1

単位:mm

No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考
1	上部本体	SCS14		9	分岐オリス	SUS316		17	十字穴付さら小ねじ	SS400	
2	下部本体	SCS14		10	ストレーナ	SUS316		18	平座金	SS400	
3	キャップ	SCS14		11	導管	SUS316		19	ばね座金	SS400	
4	ブラク	SUS316		12	導管カー	SUS316		20	十字穴付六角ボルト	SS400	
5	テーパ管押え	SUS316		13	目盛板	ABS		21	リング	FPM	
6	ストップ	PFA		14	カバー(前)	ABS		22	測定管	SCS14	
7	フロート	SUS316		15	カバー(横)	SUS304		23	オリスプレート	SUS304	
8	テーパ管	強化ガラス		16	十字穴付なべ小ねじ	SS400					

150X400-10K形 可とう管 据付・構造図

テクノフレックス製



【仕様】

フランジ規格	JIS10K
最高使用圧力(MPa)	1.4
質量(kg)	15.1
型式記号	P10-115Y
認定番号	PK-005号

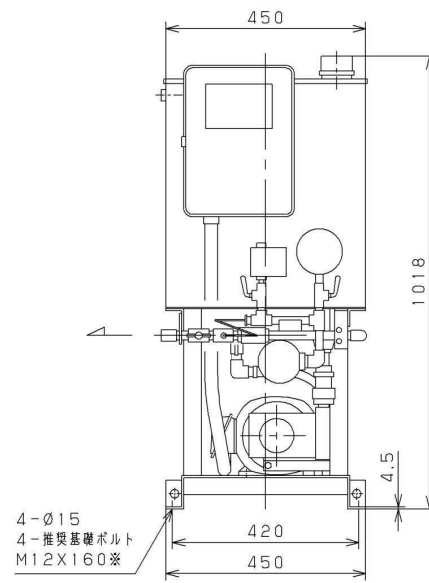
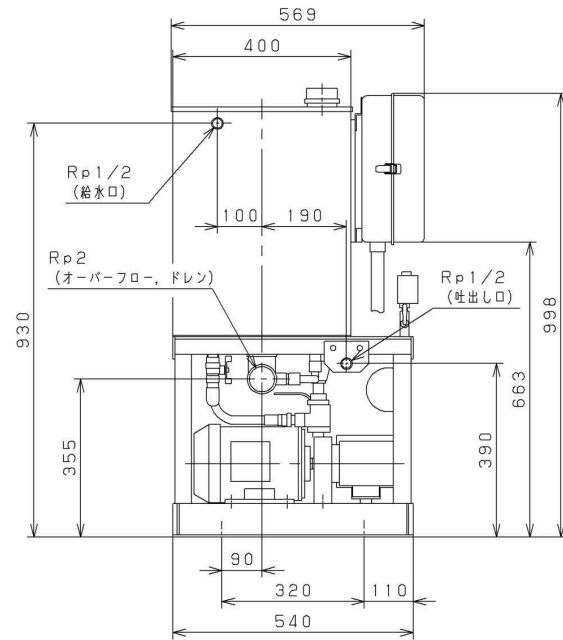
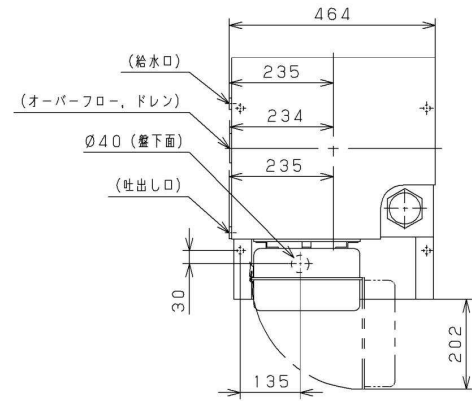
単位:mm

No	部品名	材料	備考	No	部品名	材料	備考
1	プレート	SUS304		5	割リング	SS400	
2	チューブ	SUS316		6	表示板	-	
3	フランジ	SS400		7	パッキン	ニアスベスト	t=3
4	プレート押え	SPCC					

<参考>

ジョッキーマス DPK2形 補助加圧用ポンプ 据付図

Serial NO. 機器番号		Use 用途		Quantity 数量	2
Model 形式	DPK2-15E10K				
VC		Contents VC内容			
Specification 仕様		Motor Specification 電動機仕様		Note / Notices 備考 / 特記事項	
Capacity 吐出量	m ³ /min	Suction Bore 吸込口径	15 mm	Output 出力	1.5 kW
Total Head 全揚程	m	Discharge Bore 吐出口径	15 mm	Poles 極数	4
S o u r c e 電 源	Phase/Voltage 相 / 電圧	Unit Bore ユニット口径	— mm	Type 種別	全閉屋内
	Frequency 周波数	Synchronous Speed 同期回転速度	1800 min ⁻¹		



4-Ø15
4-推奨基礎ボルト
M12X160※

Unit
単位: mm
Mass
質量 87 kg

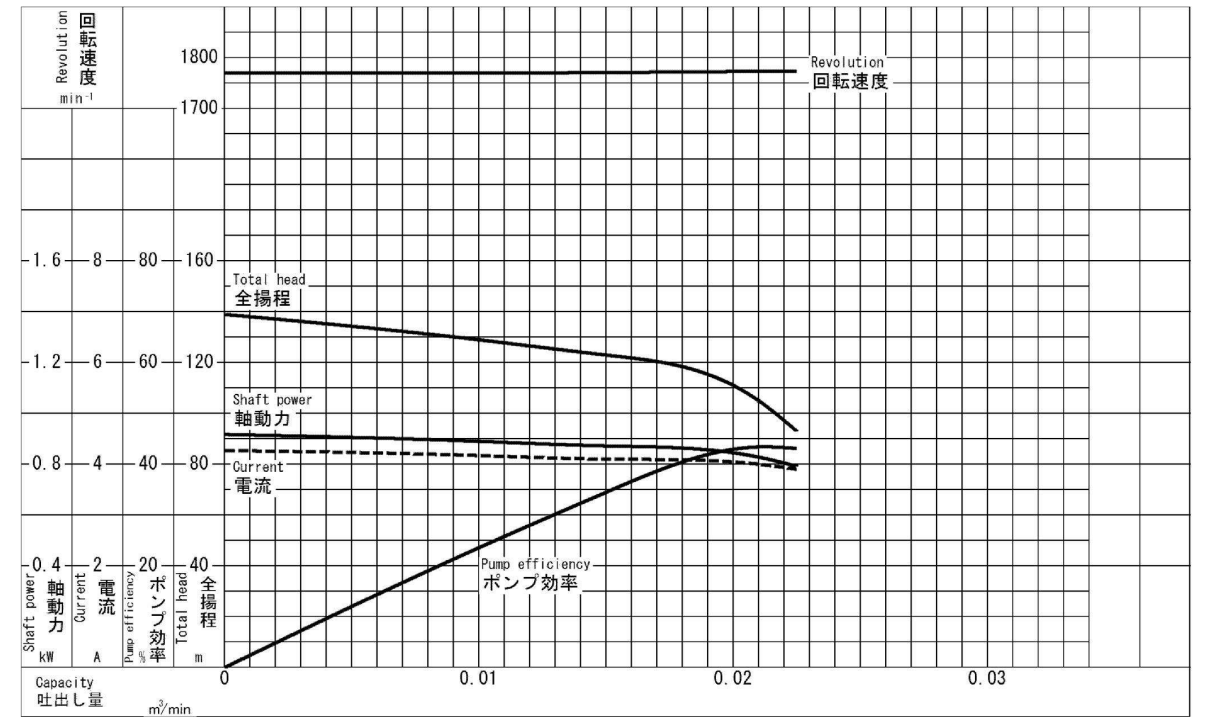
<参考>

ポンプ標準試験成績表

Model
形式: DPK2-15E10K

Rating 規定要目	Bore 口径	Capacity 吐出量	Total head 全揚程	Synchronous speed 同期回転速度	Motor output 電動機出力		
	15 × 15 mm	m ³ /min	m	1800 min ⁻¹	1.5 kW		
Motor 試験電動機 要目	Model 形式	Output 出力	Frequency 周波数	Voltage 電圧	Current 電流	Poles 極数	Revolution 回転速度
	TF0-LK	1.5 kW	60 Hz	200 V	6.4 A	4 極	1730 min ⁻¹

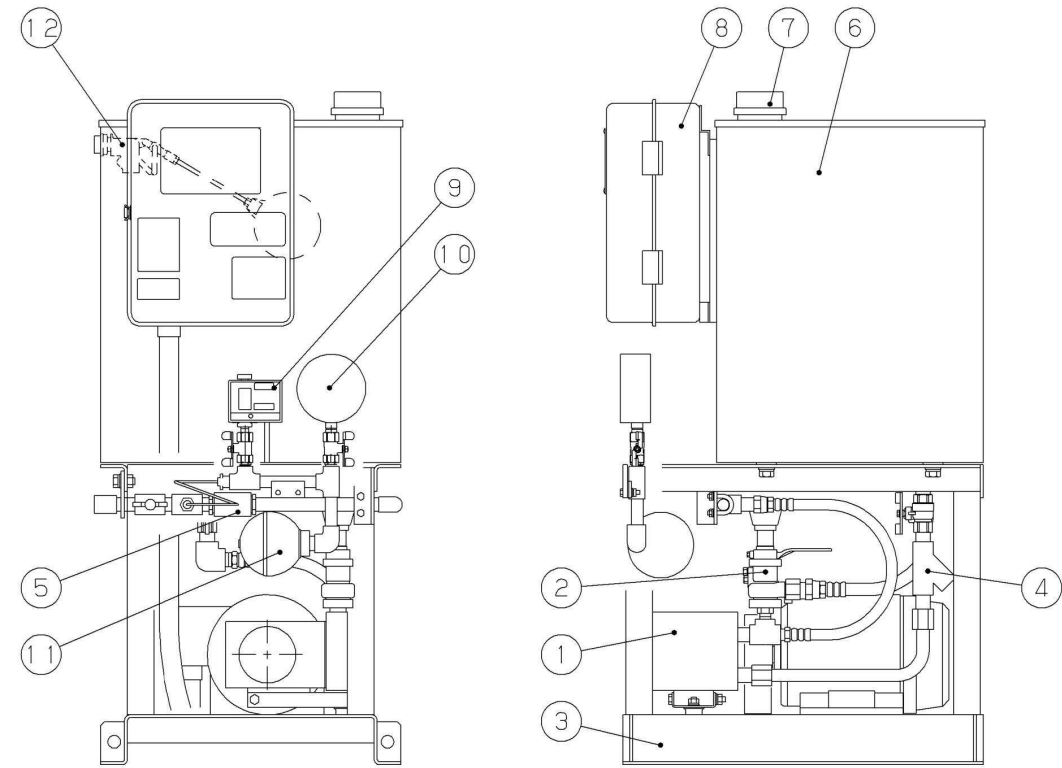
Item 計測項目	1	2	3	4	5		
Revolution 回転速度	min ⁻¹	1770	1770	1771	1773	1773	
Capacity 吐出量	m ³ /min	0	0.01	0.015	0.021	0.0225	
Total head 全揚程	m	139	129	123	105	93	
Water H.P 理論動力	kW	0	0.21	0.301	0.359	0.341	
Motor 電動機	Voltage 電圧	V	200	200	200	200	
	Current 電流	A	4.27	4.17	4.10	4.00	3.90
	Input 入力	kW	1.04	1.01	0.99	0.94	0.9
Efficiency 効率	%	88.2	88.1	88.1	88.1	88	
Shaft power 軸動力	kW	0.917	0.89	0.872	0.828	0.792	
Pump efficiency ポンプ効率	%	0	23.6	34.5	43.4	43.1	



<参考>

ジョッキーマス DPK2形 補助加圧用ポンプ 構造図

形式	DPK2-15E10K
VC	VC内容



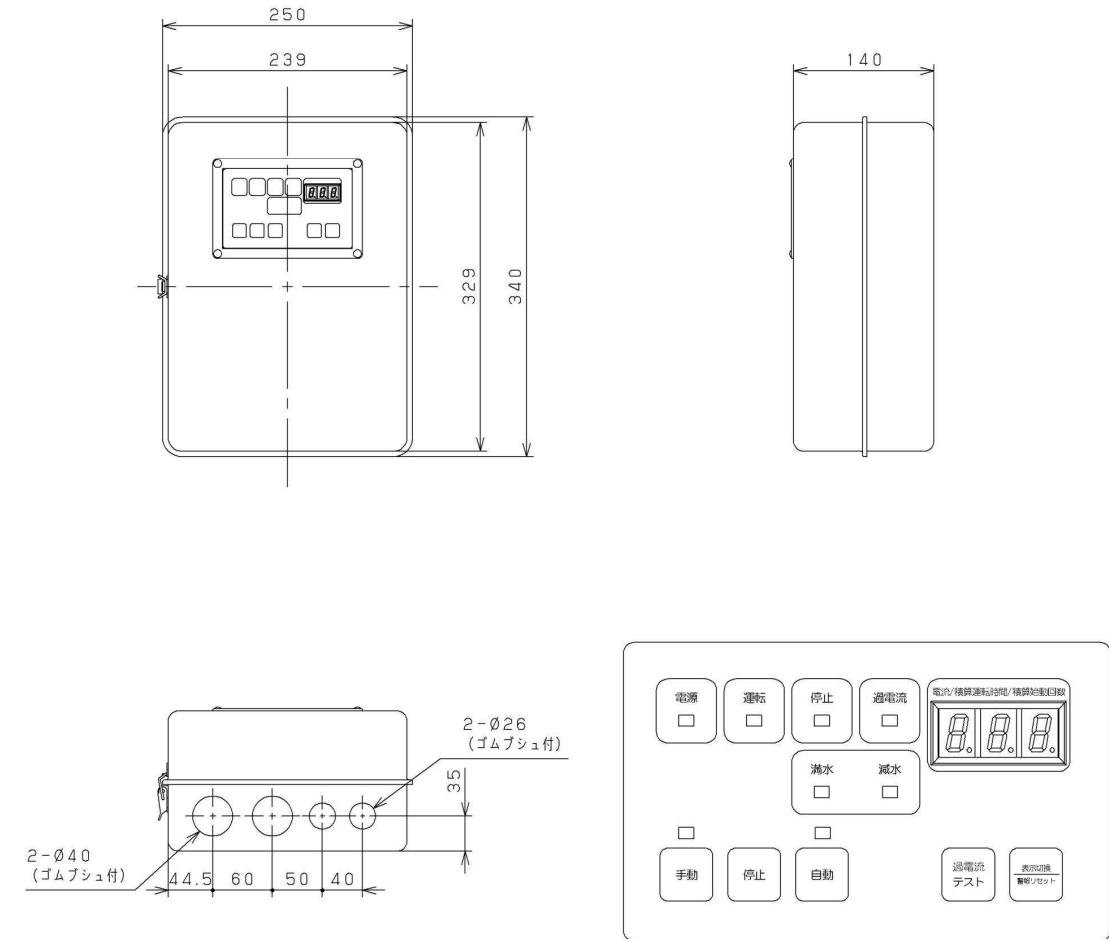
No	名称	材料	備考	No	名称	材料	備考
1	ポンプ	-		7	電極	-	
2	圧力調整弁	-		8	制御盤	-	
3	架台	SS400		9	圧カスイッチ	-	
4	ストレーナ	CAC406		10	圧力計	-	
5	チェック弁	SCS13		11	アキュムレータ	-	0.3L
6	受水槽	SPHC	50L	12	ホールタブ	-	

<参考>

ECKJ3形 制御盤 据付図

Spec NO.
特殊仕様

Model 形式	制御盤 ECKJ3-1.5		Control panel spec 制御盤仕様	
Phase/Voltage 相/電圧	-	V	Output 出力	-
			kW	
Coating 塗装	ホリエステル樹脂 マンセル5Y7/1			
Material/Thickness 材料/厚み	Box 箱	SPCC/1 mm	Door 扉	SPCC/1 mm
			Inner plate 中板	SPCC/1.6 mm
Mass 質量			5.2	kg
Operation system 運転方式	-			

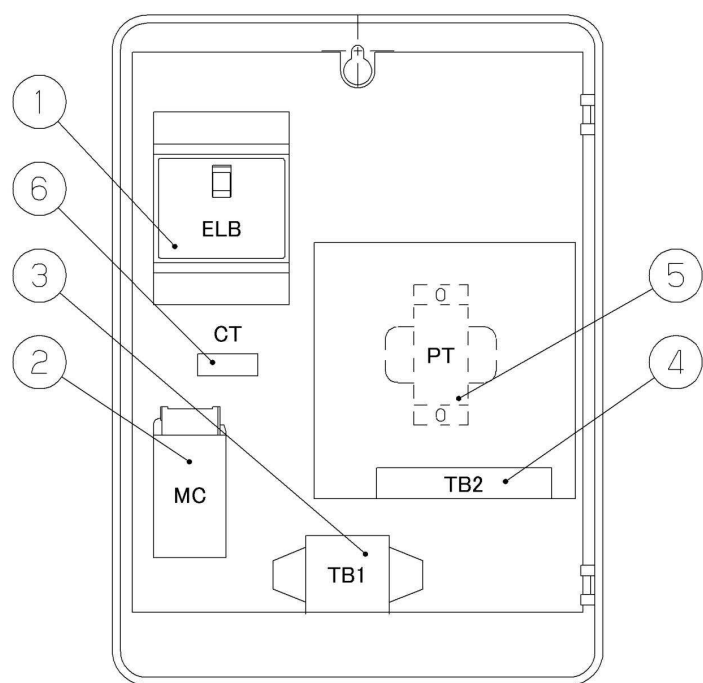


Unit
単位:mm

ECKJ3形 制御盤 構造図

Spec NO. 特殊仕様

Model 形式	制御盤 ECKJ3-1.5	Control panel spec 制御盤仕様	
-------------	---------------	-----------------------------	--



No.	部品名	記号	No.	部品名	記号	No.	部品名	記号
1	漏電遮断器	ELB	3	電源端子台	TB1	5	変圧器	PT
2	電磁接触器	MC	4	端子台	TB2	6	変流器	CT

ECKJ3形 制御盤 結線図

Spec NO. 特殊仕様

Model 形式	制御盤 ECKJ3-1.5	Control panel spec 制御盤仕様	
-------------	---------------	-----------------------------	--

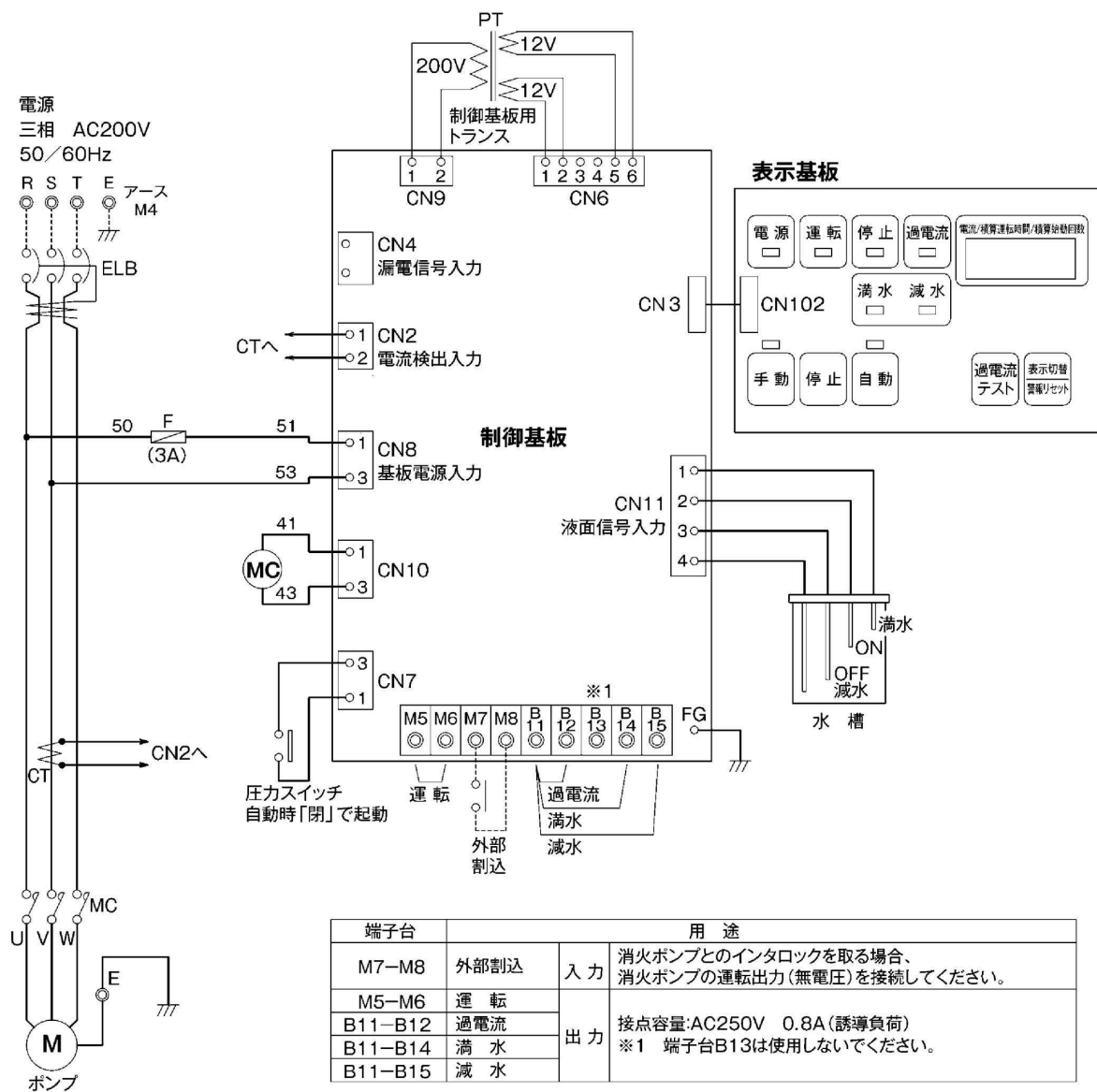
--- 破線は客先設置範囲を示します。機器等は別途お問い合わせください。

電源端子台

R S T	端子サイズ M4、幅10.2
-------	-------------------

漏電遮断器 (ELB)

フレーム/定格電流	感度電流
30A/15A	30mA

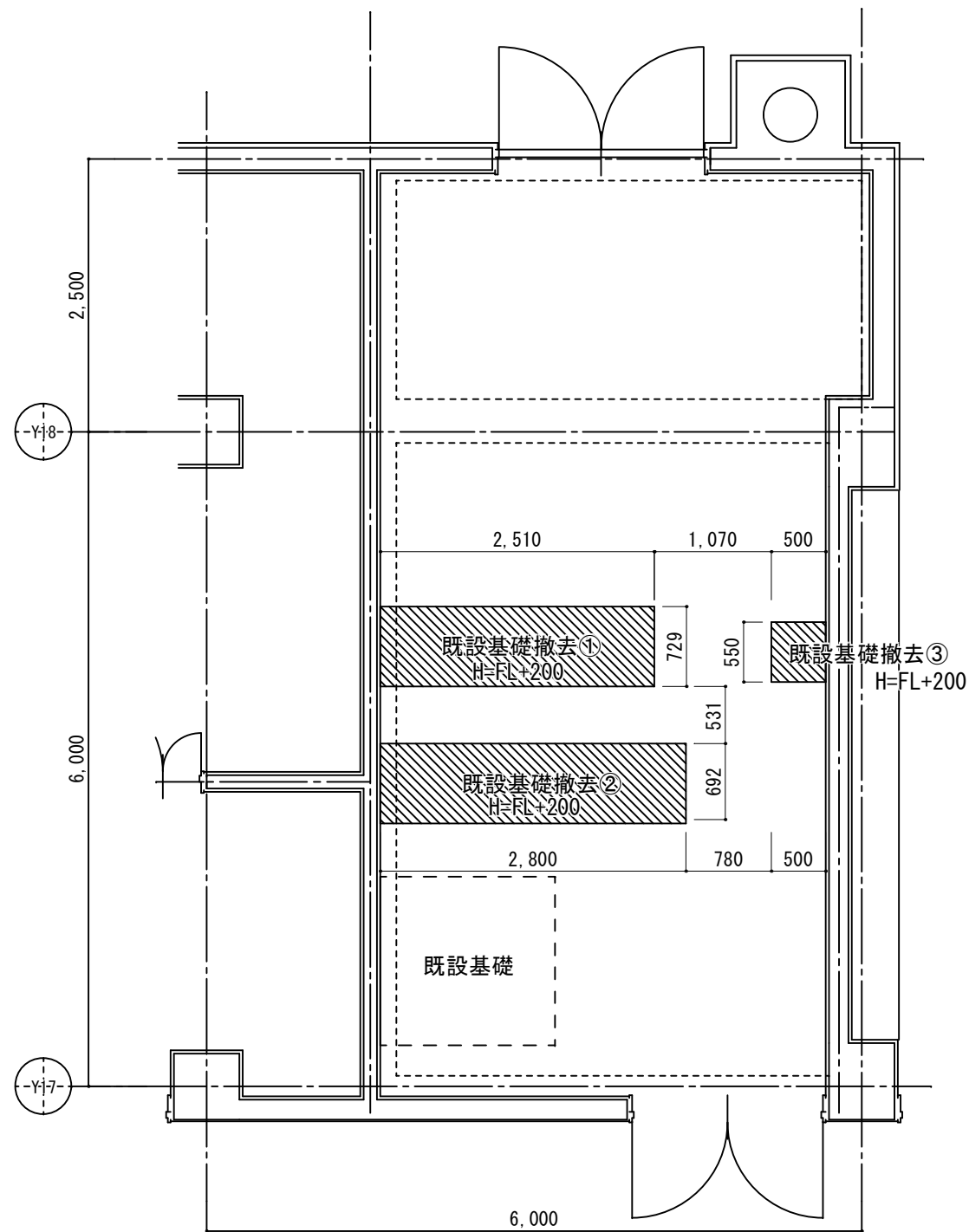


端子台	用途
M7-M8	外部割込
M5-M6	運転
B11-B12	過電流
B11-B14	満水
B11-B15	減水

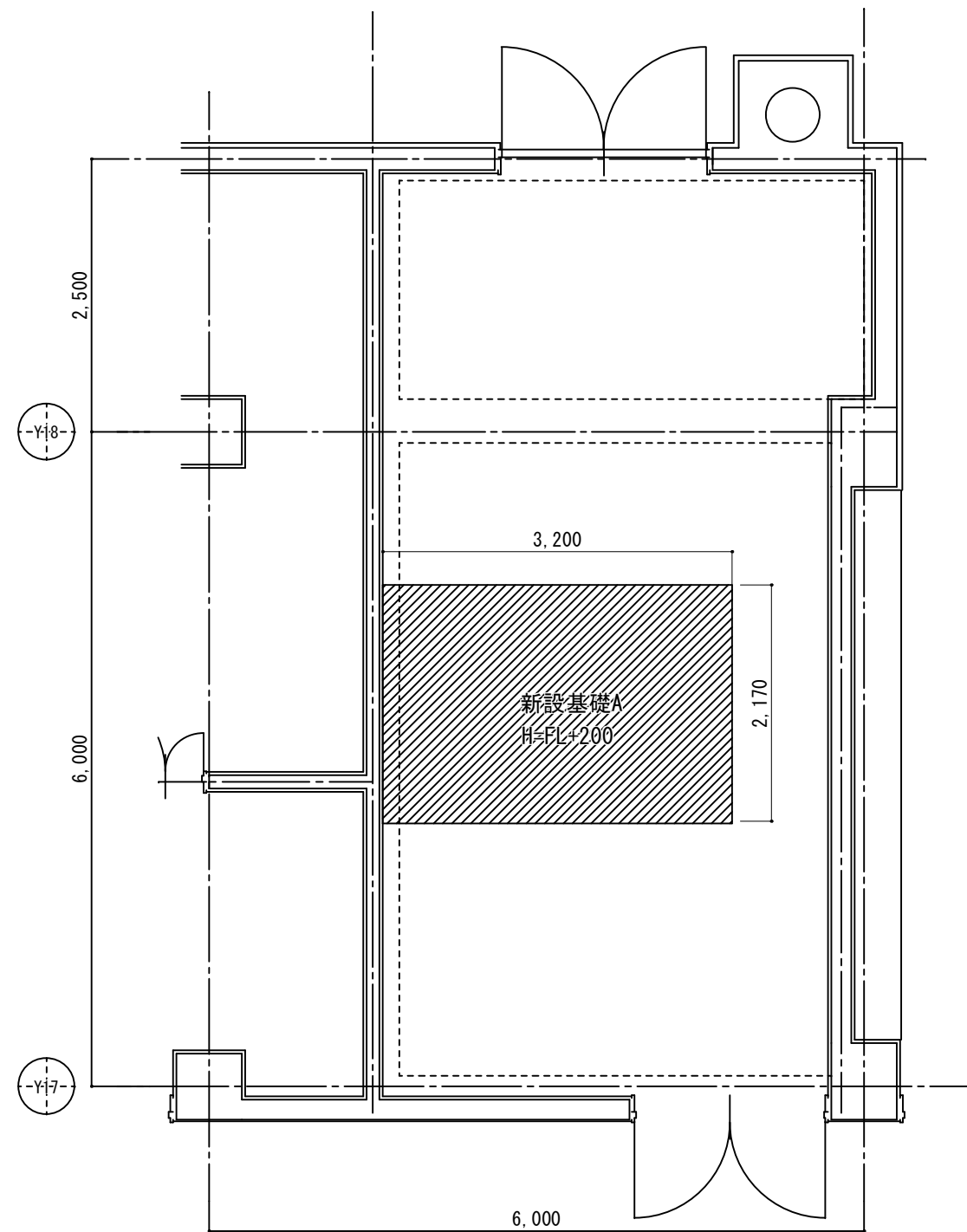
用途

入力: 消火ポンプとのインタロックを取る場合、消火ポンプの運転出力(無電圧)を接続してください。

出力: 接点容量:AC250V 0.8A(誘導負荷)
※1 端子台B13は使用しないでください。



消火ポンプ基礎撤去図 1/30



消火ポンプ基礎新設図 1/30